



取扱説明書

音声応答転送装置 IVR-24VoIPⅡ IVR-100VoIPⅡ

このたびは、「音声応答転送装置 IVR-24VoIPⅡ/IVR-100VoIPⅡ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）は、下記の株式会社タカコム（以下「当社」といいます）のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に関してお客様（個人、法人を問いません）と当社との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアをインストールまたは使用することにより、お客様は本契約書の条項に同意し、使用許諾契約が成立したものと見なします。

本ソフトウェアの名称：IVR-VoIP II 音声編集ソフト
ライセンス数：5

使用許諾の範囲

お客様は、本ソフトウェアを上記のライセンス数までのコンピュータにインストールして使用することができます。

禁止事項

お客様は本ソフトウェアを譲渡、販売、貸し出しをすることはできません。また、本ソフトウェアの「音声合成」により作成された音声データは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

保証

本ソフトウェアに、当社の責に帰すべき物理的な欠陥、たとえば DVD の破損・マニュアルの落丁など、があった場合、本ソフトウェアを受領した日から 30 日以内にかぎり、お客様は当社に交換を要求することができます。

上記の場合、お客様が本ソフトウェアの領収書または購入を証するものとともに、本ソフトウェアを販売店にご返却ください。

免責事項

お客様が本ソフトウェアを使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に対して、当社は一切責任を負いません。

もくじ

安全にお使いいただくために	2
ご使用前に	4
商品概要	8
第1章 装置編	11
各部の名前とはたらき	12
設置工事	14
1. 各機器との接続のしかた	14
2. 電源の「入／切」のしかた	16
3. 無停電電源装置（別売品）との接続について	16
4. IPアドレスの登録のしかた	17
5. 各機器との接続確認のしかた	19
6. 管理メニューについて	21
本体装置の操作	22
1. バージョンの確認	22
2. IPアドレスの確認	22
3. 本装置の再起動	23
4. 本装置のシャットダウン	23
第2章 データ編	25
データを登録する前に	26
1. 音声編集ソフトをセットアップする	26
2. 日付・時刻の確認	28
音声編集ソフトを起動・終了する	29
1. 起動のしかた	29
2. 終了のしかた	29
メッセージを編集する	30
1. 保存先フォルダの指定	30
2. メッセージの再生と削除	30
3. 音声合成	31
4. 音声録音	35
5. 音声取込	36
第3章 設定編	37
ログイン・ログアウト	38
1. ログイン	38
2. ログアウト	39
事前準備	40
1. ユーザー ID	40
2. グループ	42
3. 着信電話番号	50
4. 祝日	52
5. メッセージ	54
6. 呼出先電話番号	57
7. 外線転送先番号	59
システム関係	62
1. 状態表示	62
2. ネットワーク	62
3. 設定データ	63
4. ログとアラーム	64
5. バージョンアップ	66
6. ライセンス	66
7. 初期化	67
8. 再起動・停止	67
運用管理	68
1. 発着信の履歴	68
2. 用件録音	70
3. 通話録音	72
4. 着信規制	74
5. 発信規制	76
第4章 資料編	79
転送の流れ（フローチャート）	80
1. メッセージの種類	80
2. フローチャート	81
参考資料	88
主な仕様	90
保証とアフターサービス	裏表紙

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、「音声応答転送装置 IVR-24VoIP II/IVR-100VoIP II」(※)を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

※本書では、以下「本装置」または「IVR-24VoIP II」または「IVR-100VoIP II」と記します。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 警告	 めれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。感電や故障の原因となります。
	電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
	電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
	AC100V 商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。火災や感電・故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。落雷による感電の原因となります。
	本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源プラグをコンセントから抜いて、煙がでなくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販売店に点検を依頼してください。異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。火災や感電の原因となります。改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。
	床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

！ 警告	 アースは確実に取り付けてください。本装置は接地端子のついた3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を必ず接地してください。故障や漏電があった場合、感電の原因となります。
	保守員以外はキャビネットの分解、修理、改造などをしないでください。内部にさわると感電するおそれがあります。
	アース線は、絶対にガス管や水道管、電話や避雷針のアース線にはつながないでください。火災や感電の原因となります。
	風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

！ 注意	 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
	本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。
	長時間で使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となります。
	湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。火災や感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

STOP お願い	 ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
	落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
	テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。誤動作の原因となります。
	製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。
	温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。
	本装置の上に本やダンボール等、排気口を塞ぐものを置かないでください。また、本装置を2台以上重ねて置かないでください。熱が内部にこもり、故障の原因となります。

ご使用の前に

このたびは、「音声応答転送装置 IVR-24VoIP II / IVR-100VoIP II」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

■ 添付品の確認

次のものがそろっていることを確かめください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。

当社営業所については当社ホームページ（<https://www.takacom.co.jp>）の「営業拠点」をご覧ください。

● IVR-100VoIP II (4ch ～ 100ch)

品 名	数量	備 考
CD-ROM	1 枚	※ 1
DVD-ROM	1 枚	※ 2
筐体底面足用ゴムシート	1 式	
電源コード	1 本	※ 3
ラックマウント金具	2 個	※ 4
ラックマウント金具用ネジ	6 個	M3
取扱説明書	1 部	本書

- ※ 1 ライセンスファイルが含まれています。
- ※ 2 「IVR-VoIP II 音声編集ソフト」が含まれています。
- ※ 3 電源コードは本製品専用です。他の製品には使用しないでください。
- ※ 4 本装置を 19 インチラック（市販品）に取り付ける際に、使用します。

● IVR-24VoIP II (4ch ～ 24ch)

品 名	数量	備 考
CD-ROM	1 枚	※ 1
DVD-ROM	1 枚	※ 2
筐体底面足用ゴムシート	1 式	
電源コード	1 本	※ 3
電源コード結束ベルト	1 個	
電源アダプタ	1 個	
取扱説明書	1 部	本書

- ※ 1 ライセンスファイルが含まれています。
- ※ 2 「IVR-VoIP II 音声編集ソフト」が含まれています。
- ※ 3 電源コードは本製品専用です。他の製品には使用しないでください。

■ 取扱説明書の構成について

本取扱説明書は、「商品概要」および「装置編」「データ編」「設定編」「資料編」で構成しています。

- 「商品概要」は、システムの機能・動作などの概要について記載されています。
- 「装置編」は、本体装置の設定・操作のしかた、設置工事の方法などが記載されています。
- 「データ編」は、「IVR-VoIP II 音声編集ソフト」（以下、「音声編集ソフト」または「本ソフト」と記します）をインストールしたパソコン（以下、「クライアント PC」と記します）での各種メッセージの編集方法などが記載されています。
- 「設定編」は、クライアント PC からの WEB ブラウザでの機能・動作の設定登録のしかたや音声データの再生方法などが記載されています。
- 「資料編」は、転送の流れ（フローチャート）などが記載されています。

■ クライアント PC の仕様について

お客様からの電話着信時に案内する、挨拶用・転送用などの各種メッセージの作成・編集は、クライアント PC にインストールされた音声編集ソフトを使用します。また、本装置の応答転送動作などの動作設定は、クライアント PC の WEB ブラウザを使用します。お手持ちのパソコンが次の仕様に合っているかお確かめください。動作環境が違くと、正常にデータ作成ができない場合があります。

OS ※日本語版対応 ※1	(Microsoft) Windows 11 Home/Pro/Enterprise Windows 10 Home/Pro/Enterprise
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスク	1GB以上の空き容量
サウンド	Waveファイルが再生できること
ディスプレイ	1024×768以上 High Color(16bit)以上推奨
ネットワーク (LAN)	通信プロトコル : TCP/IP インターフェース: 100BASE-TX、1000BASE-T
DVDドライブ	インストール用 ※2
WEBブラウザ	Google Chrome / Microsoft Edge (chromium) ※3、※4

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

※1 : Windows 11/10 の S モードおよび ARM 版 Windows 11/10 は対象外となります。

※2 : 音声編集ソフトを使用して各種メッセージを作成する場合にインストールします。

※3 : 本装置にログインして動作条件等を設定する場合に、WEB ブラウザを使用します。

※4 : JavaScript が動作する環境で使用してください。

STOP お願い

- 音声編集ソフトの「音声合成」により作成された音声メッセージは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用はできません。

■ オープンソースソフトウェアライセンスについて

本装置には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。GPL/LGPL/その他に基づくライセンスについては、当社ホームページの「サポート情報」をご覧ください。

お客様は、本装置で使用されている当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL に従い、複製、頒布および改変することができます。ただし、本装置に含まれているソフトウェアに、独自の使用許諾契約書または使用条項が付属している場合は、その付属の使用許諾契約書または使用条項に準拠します。

GPL/LGPL が適用されるソフトウェアは、現状のソースコードのまま、かつ GPL/LGPL に基づき提供します。

媒体提供にあたり下記の点をあらかじめご了承ください。

- ・ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。
- ・提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。
- ・媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。
- ・当社が所有権をもつソフトウェアは、ソースコードの提供対象となりません。
- ・ソースコードの提供期間は本商品の購入後、少なくとも3年とさせていただきます。

媒体提供をご希望の場合は、当社ホームページの「お問い合わせフォーム」からお問い合わせください。

当社ホームページ：<https://www.takacom.co.jp>

■ 留意事項について

本装置を導入するにあたっての留意事項を以下に示します。

● 本装置のチャンネルライセンスについて

ひかり電話契約チャンネル数と本製品のチャンネルライセンス数が、以下の条件を満たすようチャンネルライセンス（別売品）を購入してください。

＜条件＞

ひかり電話契約チャンネル数 ≤ 本装置チャンネルライセンス数

本装置のチャンネルライセンス数を超えた発信や着信は自動切断されます。

● NTT 東日本「Bフレッツ」から「フレッツ光ネクスト」に移行したお客様

NTT 東日本の「B フレッツ」から「フレッツ光ネクスト」に移行した回線の場合、本装置が使用できないことがあります。本装置のご使用に際しては NTT 東日本へ、現行のフレッツ光ネクスト回線と同等の機能を提供する回線への変更（原則無償）をご依頼ください。詳しくは NTT 東日本へご相談ください。

● ONU一体型ホームゲートウェイをご利用の場合

本装置は光回線終端装置（ONU）とゲートウェイおよびビジネスホン等（以下、本書では「下位端末」と記します）の間に接続する必要があります。そのため、ONU一体型ホームゲートウェイでは本装置は使用できません。

ONU 分離型ホームゲートウェイへの交換工事を NTT へご依頼ください。

● 下位端末について

下位端末は NTT ひかり電話対応機器をご利用ください。本装置は NTT ひかり電話対応機器の通信方式に準拠した網側インタフェースを提供しますが、実網との完全互換動作を保証するものではありません。

● 音声通話以外の制限（テレビ電話 / IP-FAX 等）

本装置がサポートするひかり電話のメディアは、音声通信（audio）のみとなります。映像通信（video）やデータコネクト通信（application/image）には対応していないため、テレビ電話や T.38 IP-FAX はご利用できません。

ひかり電話で音声通信以外のサービスを利用したい場合は、別回線をご用意の上ご利用ください。

● ひかり電話オフィス A(エース) オプション「グループダイヤリング」サービスの制限

本装置は「グループダイヤリングサービス」をサポートしていません。

お客様番号（事業所番号＋内線番号）による発信はご利用できません。

● NTT 製端末ファームウェア更新

本装置に接続された下位端末にてファームウェアの更新を行う場合、実際のバージョンアップの実施は 2 度目のファームウェア更新チェック実行のタイミングとなります。

※ ファームウェアの更新は、本装置に接続された下位端末 1 台（1 ユニット）を対象とします。

● 呼出先が応答しない場合の自動切断について

本装置に着信したあとに下位端末を呼び出す場合、網側や下位端末の条件により一定時間経過すると呼び出しが中断（自動切断）されて、あらかじめ設定した「呼出時間」まで呼び出さないことがあります。

事前に下位端末との接続条件を確認して「呼出時間」を設定してください。

● NTT 製端末保守サービス等

本装置に接続された下位端末の保守サービス（遠隔設定や PBX データのバックアップ等）については動作保証外となります。

● 本装置メンテナンスおよび停止時

本装置の停止時、下位端末は回線から切り離されて通話できない状態になります。そのため、本装置の停止時に下位端末で通話を行うには、下位端末と ONU を直接接続する必要があります。その場合、下位端末の再起動などを行う必要があります。

※ 下位端末の再起動については交換機設置業者にお問い合わせください。

＜電源投入について＞

設置時および本装置の再起動時は下記の順序で電源を投入する必要があります。

【電源投入順序】

① ONU → ② 本装置 → ③ 下位端末（ゲートウェイおよびビジネスホン等）

※ 本装置の再起動時には、10 秒以上間隔を空けてから電源を再投入してください。

● 本装置障害時対策として

本装置が故障や停電などにより障害が発生した場合、下記の対策をすることで、継続して電話が利用できます。

- ・ 障害時端末側接続ポートに、障害時用端末（ゲートウェイ等）を接続し、電話の通話を継続をする。（※ 1）
- ・ 「故障・回復通知機能」（※ 2）、「一括転送機能」（※ 2）を利用し、転送先で電話の継続をする。

【障害時端末側接続ポートについて】

本装置が停電、または異常を検知した際に、障害時端末側接続ポートに切り替わることにより、通信経路が確保されるシステムになっています。障害時端末側接続ポートを使用する場合は、ゲートウェイ等のひかり電話対応端末の準備をお願いいたします。（※ 1）

【「故障・回復通知機能」、「一括転送機能」について】

下記手順を行わない場合「故障・回復通知機能」では障害と判断されず、「一括転送機能」が動作しません。

＜手順＞

メンテナンス等で本装置を停止する場合、ONU と接続している LAN ケーブルを外した上で、停止操作を行ってください。

※ 1：故障状態／異常状態によっては、継続して電話が利用できない場合があります。

※ 2：NTT ひかり電話オフィス A（エース）のオプションサービス。

● ひかり電話サービスの契約内容等が変更された場合

運用途中でダイヤルイン番号の追加などひかり電話サービスの契約内容等が変更された場合は、本装置の再起動が必要になる場合があります。

下位端末（ゲートウェイおよびビジネスホン等）が正常に動作しない場合は、本装置の再起動後に下位端末においても再起動を行ってください。

ご使用にあたってのお願い

■ 取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。

■ 本装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 V C C I - A

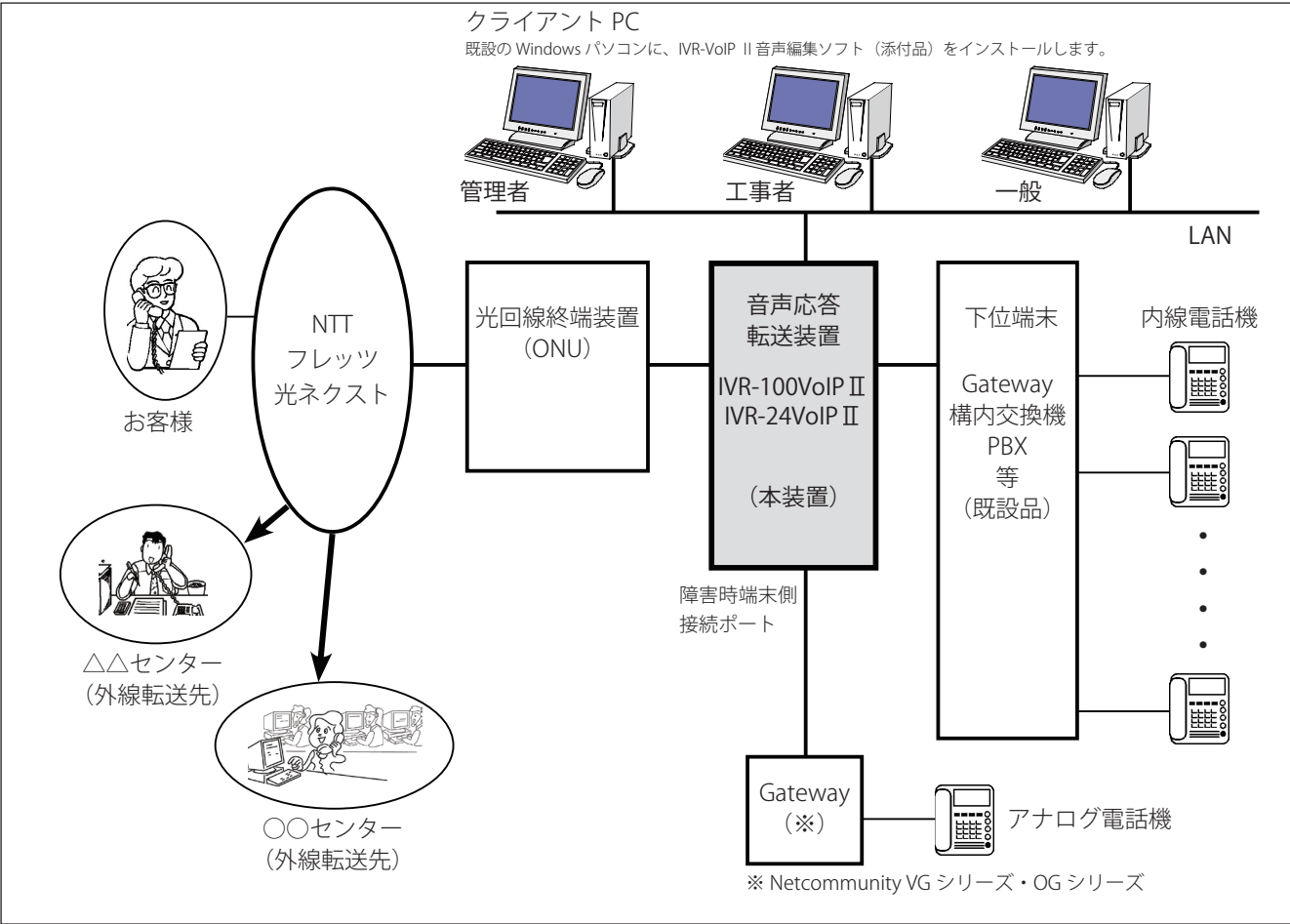
■ 本装置の仕様は、国内向けになっています。海外でご利用いただくことはできません。

This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

商品概要

本装置は東日本電信電話(株)・西日本電信電話(株)が提供するフレッツ光ネクスト回線に接続して、挨拶用・転送用などの各種メッセージを使用した音声案内機能や用件録音機能などを搭載した音声応答転送装置です。

■ システム概要図



■ 応答機能

本装置には、次の 10 の動作モードがあります。それぞれのモードを、スケジュールで自動切替して運用します。

動作モード	運用形態例
ツリー転送	応答・転送 (IVR) 動作など
ダイレクト転送	
外線転送	
端末呼出	
用件録音	留守番録音動作など
再生 & 切断	応答専用動作など
再生 & 呼出	録音告知動作など
透過呼出	通常着信動作など
切断	着信拒否動作など
保留 ※	お待たせ動作など

※ 保留モードのみでの利用はできません。ダイレクト転送、端末呼出と組み合わせてご利用ください。

● 応答・転送 (IVR) 動作

お客様からの電話着信があると、音声で自動応答して、お客様からの選択番号（プッシュ信号）により希望する部門に転送します。

選択番号の入力方法には、次の 2 種類があります。

- ① ツリー転送
ガイダンスにしたがい番号を入力し、呼出先を選択します。
最大 3 階層までの登録が可能です。
- ② ダイレクト転送
呼出先番号を直接入力します。

また、ツリー転送の場合、次の 2 種類の動作モードにより、内線 / 外線に転送することができます。

- ① 端末呼出
ダイヤルイン番号指定により、内線電話機を呼び出します。
- ② 外線転送
外部の電話番号を呼び出します。
外線転送時には、網側 2 チャネルを使用します。

● 留守番録音動作（用件録音）

お客様からの電話着信があると、音声で自動応答して、相手の方の用件を録音します。

● 応答専用動作（再生&切断）

お客様からの電話着信があると、音声で自動応答して、電話を切断します。

● 録音告知動作（再生&呼出）

お客様からの電話着信があると、録音告知メッセージをお流ししたあとに、電話機を呼び出します。

● 通常着信動作（透過呼出）

お客様からの電話着信があると、自動応答せずに、そのまま電話機を呼び出します。

● 着信拒否動作（切断）

お客様からの電話着信に応答せずに、電話を切断します。

● お待たせ動作（保留）

ダイレクト転送、端末呼出にて「保留」が動作設定されている場合に機能します。
電話機の呼び出し中に、保留音、音声ガイダンスを流します。

参考資料として、それぞれの動作モードのフローチャートを「第4章 資料編 転送の流れ（フローチャート）」(80ページ)に記載しています。各種の動作設定時にご参照ください。

■ スケジュール機能

スケジュールで、曜日・時間帯などを指定して各動作モードを自動的に切り替えて運用することができます。例えば、営業時間中は社内の各部署に電話を転送し、時間外は、外部の受付センターに外線転送するなどの切り替えが自動で行えます。

■ 着信チャンネル制限

電話番号グループごとに、曜日や時間帯を指定して、最大着信チャンネル数を指定することにより、着信数を制限することができます。

■ 通話録音（オプション）

通話内容を、録音することができます。

※最大約 1,200 時間録音できます。

■ 発着信の履歴管理

発着信の履歴管理ができます。

※最大 12 ヶ月の履歴が保存できます。

■ 着信規制

着信規制リストに登録された電話番号からの着信を、自動的に着信拒否することができます。

■ 発信規制（オプション）

発信規制リストに登録された電話番号への発信を、自動的に規制することができます。

■ 音声編集ソフトの機能

お手持ちのパソコンに、付属の音声編集ソフトをインストールすることにより、メッセージが作成できます。
作成したメッセージは、WEB ブラウザを利用して、本装置に登録します。

● メッセージの録音

パソコンに接続したマイクより、メッセージを録音することができます。

● 音声合成機能によるメッセージ作成

音声編集ソフトに搭載されている音声合成機能により、テキストファイルからメッセージに変換できます。

※「音声合成機能」により作成された各種メッセージは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

● 音声ファイル形式の変換

ご用意いただいた音声ファイルを、本装置の対応形式に変換することができます。

※音声ファイルは、下記形式の wav ファイルをご用意ください。

・ μ -law	8 ビット	8,000Hz	モノラル
・ PCM	16 ビット	22,050Hz	モノラル / ステレオ
・ PCM	16 ビット	44,100Hz	モノラル / ステレオ

■ WEB ブラウザからの操作

ネットワーク接続されたパソコンの WEB ブラウザから本装置にログインして、各種動作モードの動作方式やネットワーク、転送先、メッセージの登録などができます。

● データ登録

ネットワーク設定、自動応答動作設定、スケジュール設定、ユーザー ID、電話番号リストなどの各種データを、本装置に登録することができます。

● メッセージの登録

音声編集ソフトで用意したメッセージなどを、本装置に登録することができます。

● メッセージの再生

本装置に録音（用件録音・通話録音）されたメッセージの再生ができます。また、メッセージをパソコンに保存することもできます。

● 発着信の履歴確認

発着信の履歴を、画面上で確認することができます。また、履歴情報をパソコンに保存することもできます。

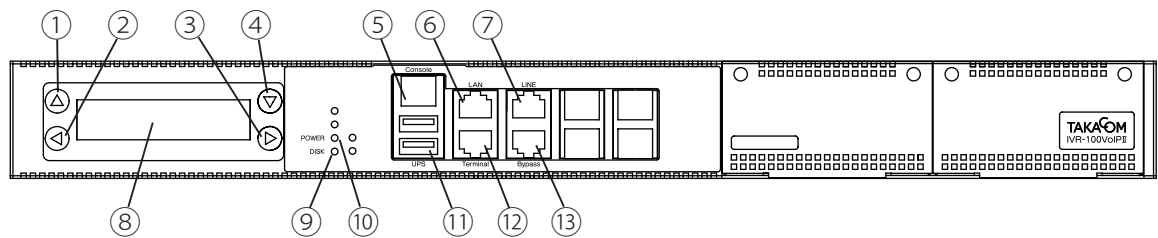
※ 20 件単位のページ切り替え表示となります。

第 1 章 装置編

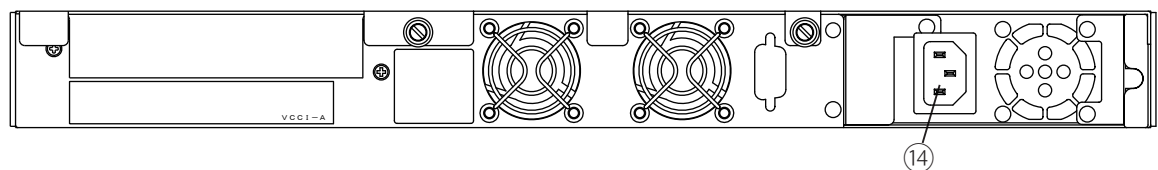
各部の名前とはたらき

IVR-100VoIP II

< 前面 >



< 後面 >



名 前		機 能（はたらき）
①	[操作] ボタン	Ⓐ 操作メニューを選択するときに押します。
②		Ⓔ メニュー画面に戻るときに押します。
③		Ⓕ 操作メニューを確定するときに押します。
④		ⓓ 操作メニューを選択するときに押します。
⑤	コンソールポート	保守接続用シリアルコンソールを接続します。
⑥	LAN ポート	クライアント PC からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。
⑦	網側接続ポート	ONU からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。
⑧	ディスプレイ画面	操作メニュー画面やアラーム画面などを表示します。※ 1
⑨	DISK ランプ	DISK アクセス時に点灯します。
⑩	電源ランプ	稼働時に点灯します。
⑪	UPS 用 USB ポート	無停電電源装置（別売品）を接続します。
⑫	端末側接続ポート	下位端末からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。
⑬	障害時端末側接続ポート	障害時に使用する下位端末からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。
⑭	電源コネクタ	付属の電源コードを接続します。※ 2

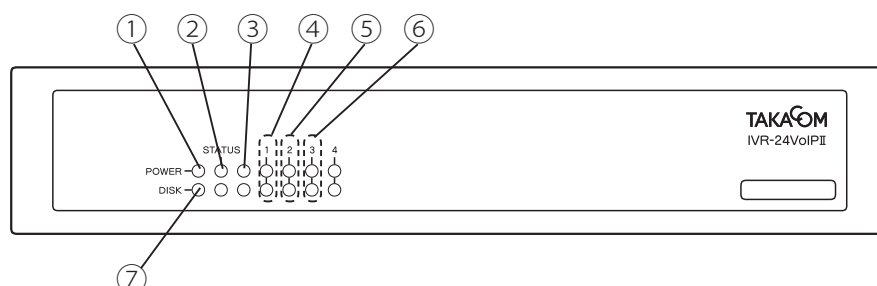
※ 1 アラーム発生時はトップ画面とアラーム画面が 3 秒ごとに切り替わります。（複数のアラーム発生時は、最初のアラーム番号のみ表示）

※ 2 本製品に付属の電源コード以外を接続しないでください。

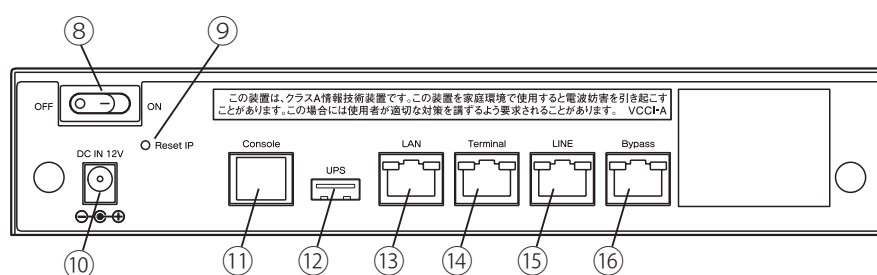
（注）操作ボタンは誤操作防止のため、若干長押しすることで操作できるようになります。

IVR-24VoIP II

< 前面 >



< 後面 >



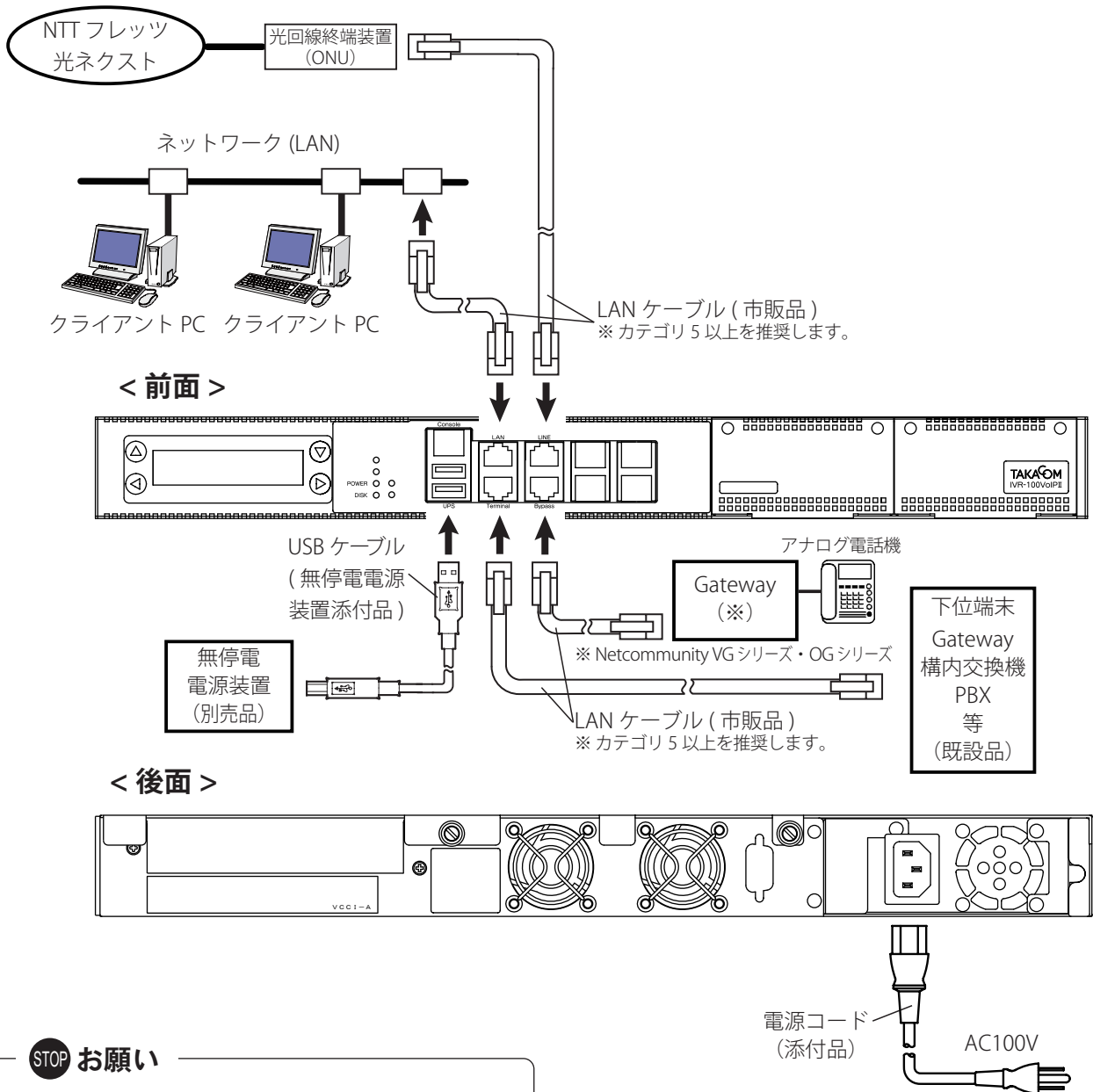
名 前		機 能 (はたらき)
①	電源ランプ	稼働時に点灯します。
②	ステータスランプ	起動後正常時：点灯 障害時：0.5 秒間隔で点滅（管理画面からアラームの削除を行うまで点滅したままとなります）
③	動作停止ランプ	本装置の通電時かつ電源スイッチが“入”の状態で本装置が停止しているときに点灯します。
④	LAN ポートランプ	上段：通信速度（1000BASE：赤、100BASE：緑、10BASE（動作保証外）：消灯） 下段：通信時（点灯）、アクセス時（点滅）
⑤	端末側接続ポートランプ	
⑥	網側接続ポートランプ	
⑦	DISK ランプ	DISK アクセス時に点灯します。
⑧	電源スイッチ	電源を入切します。必ず管理メニューからシャットダウン処理を行ってから電源を切断してください。
⑨	初期化スイッチ	10 秒以上の長押し後にスイッチを離すと、再起動後以下ようになります。 (1) メンテナンスポートの IP アドレスが初期値（192.168.0.101）に戻ります。 (2) GW アドレスが初期値（空欄）に戻ります（他ネットワークとの接続はできなくなります） 10 秒未満で離した場合は何も動作しません。
⑩	電源コネクタ	付属の電源コードを接続します。※
⑪	コンソールポート	保守接続用シリアルコンソールを接続します。
⑫	UPS 用 USB ポート	無停電電源装置（別売品）を接続します。
⑬	LAN ポート	クライアント PC（設定用）からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。
⑭	端末側接続ポート	下位端末からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。
⑮	網側接続ポート	ONU からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。
⑯	障害時端末側接続ポート	障害時に使用する下位端末からの LAN ケーブル（市販品）を接続します。

※ 本製品に付属の電源アダプタおよび電源コード以外を接続しないでください。

設置工事

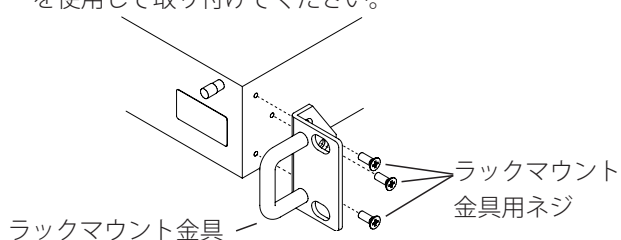
1. 各機器との接続のしかた

■ IVR-100VoIP II



STOP お願い

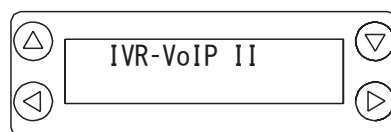
- IVR-100VoIP II は 19 インチ ラックマウント (市販品) に対応しています。本装置をラックマウントに取り付ける場合は、添付のラックマウント金具だけで設置しないでください。棚板などを使用し、その上に装置を設置して安定した状態でご使用ください。
- IVR-100VoIP II とラックマウント金具 (添付品) は、ラックマウント金具用ネジ (添付品) でドライバー (市販品) を使用して取り付けてください。



ワンポイント

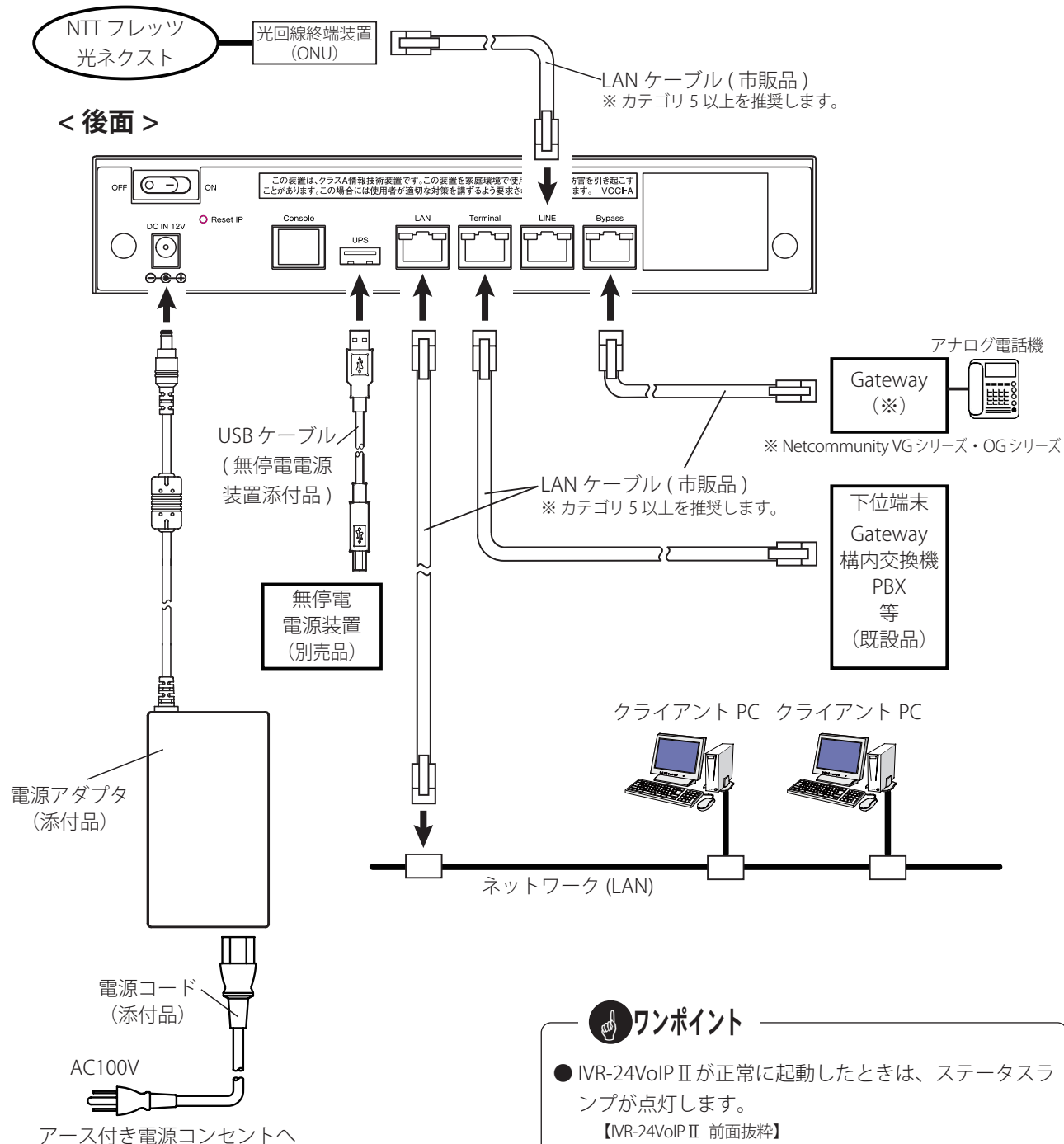
- IVR-100VoIP II が正常に起動したときは、ディスプレイ画面の表示がトップ画面になります。

【IVR-100VoIP II のトップ画面】



- 本装置障害時の通話用に、障害時端末側接続ポートに Gateway 等を接続することを推奨いたします。

■ IVR-24VoIP II



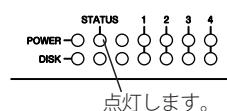
STOP お願い

- 本装置の運用中に電源コードと電源アダプタは抜かないでください。電源コード結束ベルトで固定してください。

ワンポイント

- IVR-24VoIP II が正常に起動したときは、ステータスランプが点灯します。

【IVR-24VoIP II 前面抜粋】



- 本装置障害時の通話用に、障害時端末側接続ポートに Gateway 等を接続することを推奨いたします。

2. 電源の「入／切」のしかた

■ IVR-100VoIP II

- 本装置への電源の投入は、ネットワークケーブルなどの接続が終了したあと電源プラグを電源コンセントへ差し込むことで行います。
- 電源が投入されると、電源ランプが点灯します。
- 電源を切るときは装置のシャットダウンを行います。**シャットダウンをせずに電源プラグを抜くと、機器の破損や故障の原因となります。**

<シャットダウンのしかた>

シャットダウンのしかたは、「本体装置の操作 4. 本装置のシャットダウン」（23 ページ）を参照してください。

<再度電源を入れるとき>

1. 本装置後部の電源コードのプラグを電源コンセントから抜きます。
2. 10 秒以上待ちます。
3. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
 - ・電源ランプが点灯します。

<再起動のしかた>

再起動のしかたは、「本体装置の操作 3. 本装置の再起動」（23 ページ）を参照してください。

■ IVR-24VoIP II

- 本装置への電源の投入は、ネットワークケーブルなどの接続が終了したあと電源アダプタを差し込み、電源スイッチを ON にすることで行います。
- 電源が投入されると電源ランプが点灯し、正常に起動するとステータスランプも点灯します。
- 電源を切るときは、WEB ブラウザからの操作で行います。**WEB ブラウザからの操作をせずに電源を切ると、機器の破損や故障の原因となります。**

<シャットダウンのしかた>

シャットダウンのしかたは、「第3章 設定編 システム関係 8. 再起動・停止」（67 ページ）を参照してください。

<再度電源を入れるとき>

1. 本装置後部の電源スイッチを OFF にします。
2. 10 秒以上待ちます。
3. 電源スイッチを ON にします。
 - ・電源ランプが点灯します。

<再起動のしかた>

再起動のしかたは、「第3章 設定編 システム関係 8. 再起動・停止」（67 ページ）を参照してください。

3. 無停電電源装置（別売品）との接続について

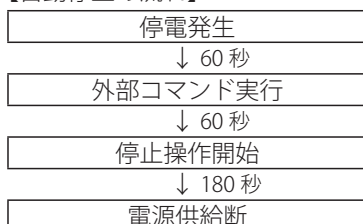
本装置は、正しい操作で停止させる必要があります。停電により本装置の電源が落ちた場合、通話が出来なくなる・起動不能の障害が発生します。必ず無停電電源装置をご用意、もしくは無停電環境でご利用ください。

上記が守られない環境で故障した場合、保証が受けられなくなりますのでご注意ください。

■ 無停電電源装置による停電時の自動停止機能

当社指定の無停電電源装置（IVR-24VoIP-UPS / IVR-100VoIP-UPS）（別売品）を USB 接続した場合、停電時は無停電電源装置からの停止操作指示により本装置が自動的に停止します。

【自動停止の流れ】



4. IPアドレスの登録のしかた

本装置の各種設定は、同じネットワーク（LAN）に接続したクライアント PC の WEB ブラウザで行います。そのため、本装置をネットワークに接続するための IP アドレスなどの登録が必要です。新規に設置する場合は、ご使用のクライアント PC に必ず管理者権限のユーザーでログインして、本装置と接続して次の手順で IP アドレスなどの設定を行ってください。（手順は Windows 10 の操作例）

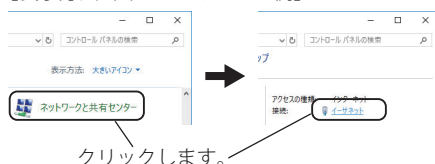
■ 事前準備

1. クライアント PC が既設のネットワークに接続されている場合は、一旦接続を外します。
2. 本装置とクライアント PC を LAN ケーブル（市販品）で直接接続します。
 - ・他のネットワークには接続しません。
3. 電源コード（添付品）を接続して本装置の電源を入れます。
 - ・電源ランプが点灯します。

■ クライアント PC の IP アドレスを変更する

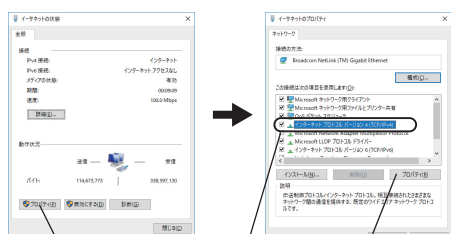
1. 「スタート」→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークと共有センター」→「イーサネット」をクリックします。

【表示方法：大きいアイコンの例】



クリックします。

2. 【イーサネットの状態】画面で、[プロパティ] をクリックし、表示される【イーサネットのプロパティ】画面で「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

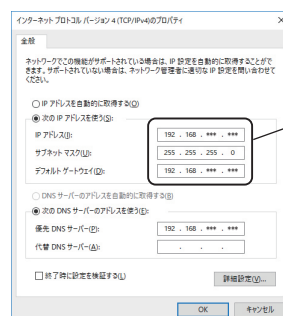


クリックします。

選択します。

クリックします。

3. 【インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4) のプロパティ】画面で、現在の「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」をメモします。



メモします。

- ・DNS サーバーを使用している場合は、「優先 DNS サーバー」および「代替 DNS サーバー」もメモします。

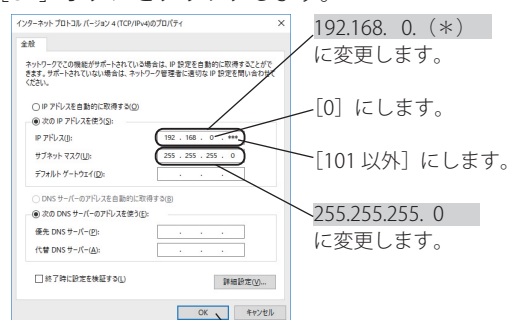
4. 本装置と初期接続するため、「IP アドレス」「サブネットマスク」を次の値に変更します。

仮 IP アドレス : 192.168.0. (*)

(*: 101 以外の、1 ~ 254 の数値)

仮サブネットマスク : 255.255.255.0

5. 「デフォルトゲートウェイ」が設定されていた場合は、ブランク（空白）にします。
6. [OK] ボタンをクリックします。



192.168.0. (*)
に変更します。

[0] にします。

[101 以外] にします。

255.255.255.0
に変更します。

クリックします。

7. [閉じる] ボタンを繰り返しクリックして、デスクトップ画面に戻ります。

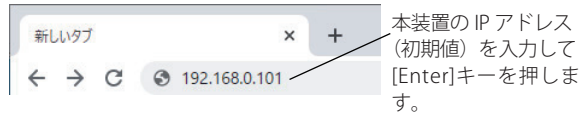
■ 本装置の IP アドレスを設定する

1. WEB ブラウザを起動します。
2. URL 入力欄に本装置の IP アドレス（初期値）を入力して、[Enter] キーを押します。

・ IP アドレス：192.168.0.101（初期値）

URL 入力（http://192.168.0.101）

WEB ブラウザ【Google Chrome】



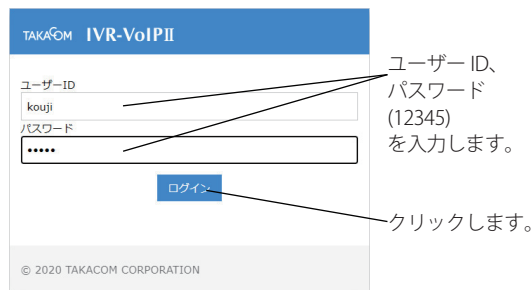
・ 本装置に接続して【ログイン】画面が表示されます。

3. 【ログイン】画面で次のユーザー ID とパスワード（初期値）を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

・ ユーザー ID：admin または kouji（初期値）

・ パスワード：12345（初期値）

【ログイン】画面

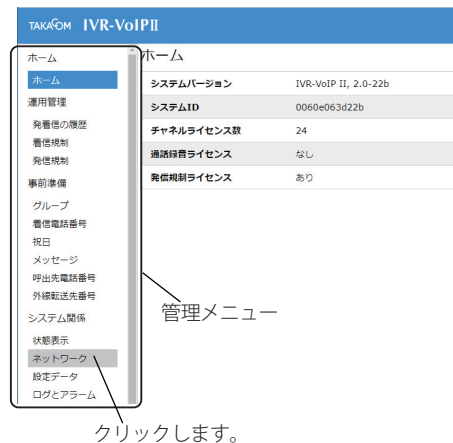


・ 本装置にログインして、【メニュー】画面が表示されます。

※ ユーザー ID・パスワードは、半角で大文字と小文字の区別がありますので注意してください。

4. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係ネットワーク」をクリックします。

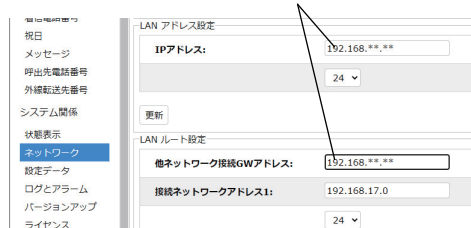
【メニュー】画面



・ 【ネットワーク】画面が表示されます。

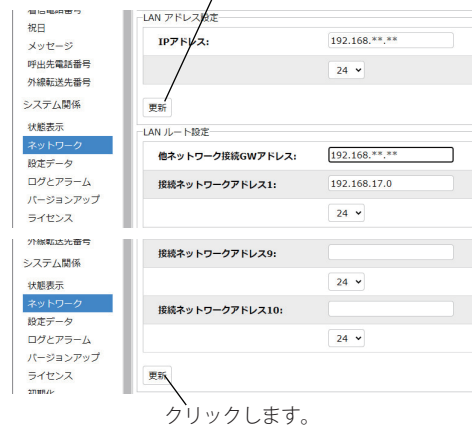
5. 【ネットワーク】画面において、「IP アドレス」、「他ネットワーク接続 GW アドレス」に、実際に運用するネットワーク上の IP アドレスを設定します。

運用上の IP アドレスを入力します。



6. [更新] ボタンをクリックします。

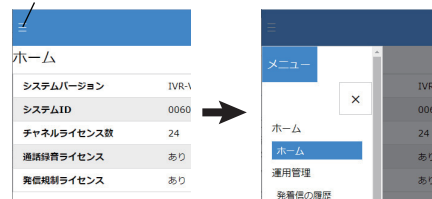
クリックします。



ワンポイント

- WEBブラウザの画面が小さい（狭い）場合は、メニューボタン（≡）をクリックすると、管理メニューが表示されます。

クリックします。



- 一定時間 WEBブラウザの画面操作がないと、画面アクセス時にログアウトされます。再度ログインしてください。

■ 本装置を再起動する

1. 「第 3 章 設定編 システム関係 8. 再起動・停止」（67 ページ）により、本装置を再起動します。

・ 変更内容が反映されます。

2. 本装置が再起動したことを確認します。

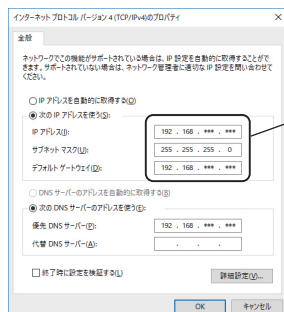
・ IVR-100VolP II では、トップ画面の表示を確認します。

・ IVR-24VolP II では、ステータスランプの点灯を確認します。

3. 下位端末（Gateway/ 構内交換機等）を再起動します。

■ クライアント PC の IP アドレスを元に戻す

1. 「クライアント PC の IP アドレスを変更する」(17 ページ)と同様の手順で、パソコンの「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を、変更時の手順 3 でメモしたアドレスに戻します。



- DNS サーバーを使用している場合は、「優先 DNS サーバー」および「代替 DNS サーバー」も戻します。
2. [閉じる] を繰り返しクリックして、デスクトップ画面に戻ります。

5. 各機器との接続確認のしかた

■ 本装置にログインする

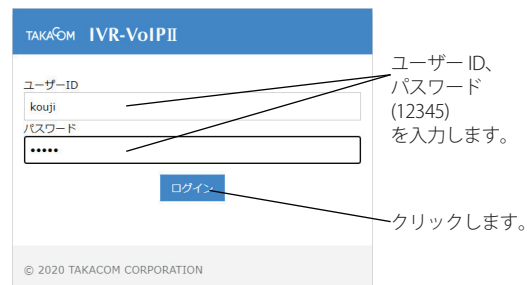
1. 本装置とクライアント PC を実際に運用するネットワークに接続します。
2. WEB ブラウザを起動して、URL 入力欄に本装置の IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

WEB ブラウザ【Google Chrome】



- 本装置に接続して【ログイン】画面が表示されることを確認します。
3. 【ログイン】画面で次のユーザー ID とパスワード(初期値)を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。
- ユーザー ID : admin または kouji (初期値)
 - パスワード : 12345 (初期値)

【ログイン】画面



- 【メニュー】画面が表示されることを確認します。
- ※ ユーザー ID・パスワードは、半角で大文字と小文字の区別がありますので注意してください。

【メニュー】画面



■ 本装置とクライアント PC の接続を確認する

ネットワーク状態の LAN リンク速度を確認します。

1. WEB ブラウザから本装置にログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係一状態表示」をクリックします。

システムの状態表示		
システム時刻 2020/10/05 21:58:15		
ストレージ使用状況		
ストレージ	容量	空き容量
システム用	34G	30G
通話録用	80G	80G
通話録用	3.0G	3.0G
ネットワーク状態		
LINE リンク状態 リンクアップ		
LINE リンク速度 1000Mb/s Full		
TERMINAL リンク状態 リンクアップ		
TERMINAL リンク速度 1000Mb/s Full		
LAN リンク状態 リンクアップ		
LAN リンク速度 1000Mb/s Full		

クリックします。「1000Mb/s Full」または「100Mb/s Full」であることを確認します。

- ・LAN リンク速度が「1000Mb/s Full」または「100Mb/s Full」であることを確認します。

■ 本装置と ONU の接続を確認する

ネットワーク状態の LINE リンク状態および LINE 接続状況の契約電話番号を確認します。

1. WEB ブラウザから本装置にログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係一状態表示」をクリックします。

「リンクアップ」であることを確認します。

システムの状態表示		
システム時刻 2020/10/05 21:58:15		
ストレージ使用状況		
ストレージ	容量	空き容量
システム用	34G	30G
通話録用	80G	80G
通話録用	3.0G	3.0G
ネットワーク状態		
LINE リンク状態 リンクアップ		
LINE リンク速度 1000Mb/s Full		
TERMINAL リンク状態 リンクアップ		
TERMINAL リンク速度 1000Mb/s Full		
LAN リンク状態 リンクアップ		
LAN リンク速度 1000Mb/s Full		
LINE 接続状況		
LINE レジスター状態		
LINE MACアドレス 00:60:e0:63:d2:2d		
LINE IPアドレス 111.80.102.2		
LINE GWアドレス 111.80.102.1		
LINE SIPサーバアドレス 111.80.200.2		
契約電話番号 0388882001		
追加電話番号 0388882002		
0388882003		
0388882004		

クリックします。正しく表示されていることを確認します。

- ・LINE リンク状態が「リンクアップ」であることを確認します。
- ・契約電話番号が正しく表示されていることを確認します。
(契約電話番号は、回線接続後 2～3 分経過後に表示されます)

ワンポイント

- ホームゲートウェイが ONU 一体型の場合は、ONU 分離型への交換工事を NTT へご相談してください。詳しくは、NTT 窓口へお問い合わせください。
- 本装置の正常接続が確認できない場合、本装置の再起動をお試しください。

■ 本装置と下位端末の接続を確認する

ネットワーク状態の TERMINAL リンク状態、Terminal 接続状況の Terminal 接続情報および下位端末のランプの点灯を確認します。

1. WEB ブラウザから本装置にログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係一状態表示」をクリックします。

「リンクアップ」であることを確認します。

システムの状態表示		
システム時刻 2020/10/05 21:58:15		
ストレージ使用状況		
ストレージ	容量	空き容量
システム用	34G	30G
通話録用	80G	80G
通話録用	3.0G	3.0G
ネットワーク状態		
LINE リンク状態 リンクアップ		
LINE リンク速度 1000Mb/s Full		
TERMINAL リンク状態 リンクアップ		
TERMINAL リンク速度 1000Mb/s Full		
LAN リンク状態 リンクアップ		
LAN リンク速度 1000Mb/s Full		
LINE 接続状況		
LINE レジスター状態		
LINE MACアドレス 00:60:e0:63:d2:2d		
LINE IPアドレス 111.80.102.2		
LINE GWアドレス 111.80.102.1		
LINE SIPサーバアドレス 111.80.200.2		
契約電話番号 0388882001		
追加電話番号 0388882002		
0388882003		
0388882004		
Terminal 接続情報		
sip:a232c3ce9f@111.80.100.102:5060		

クリックします。「sip:xxxxxxxxx～」で表示されていることを確認します。

- ・TERMINAL リンク状態が「リンクアップ」であることを確認します。
- ・下位端末がホームゲートウェイ (HGW) の場合、「ひかり電話」ランプが点灯していることを確認します。
- ・下位端末がオフィスゲートウェイ (OGW) の場合、「VoIP」ランプが点灯していることを確認します。
- ・TERMINAL 接続情報が「sip:xxxxxxxxx～」で表示されていることを確認します。

ワンポイント

- 下位端末の正常接続が確認できない場合、下位端末の再起動をお試しください。

■ 通話状態を確認する

1. 当該フレッツ光ネクスト回線の契約電話番号に電話をかけて、正常に通話できることを確認します。

6. 管理メニューについて

WEB ブラウザでログインした際の【メニュー】画面において、管理メニューはログインアカウント毎に権限が異なります。権限毎の管理メニューを「管理メニュー権限一覧」に記載します。

また、本書では以降管理者権限での画面を例として説明します。

【メニュー】画面

TAKAOM IVR-VoIP II	
ホーム	ホーム
ホーム	システムバージョン IVR-VoIP II, 2.0-22b
運用管理	システムID 0060e063d22b
発着信の履歴	チャネルライセンス数 24
用件録音	通話録音ライセンス なし
着信規制	発信規制ライセンス あり
発信規制	
事前準備	
ユーザーID	
グループ	
着信電話番号	
祝日	
メッセージ	
呼出先電話番号	
外線転送先番号	
システム関係	
状態表示	
ネットワーク	
設定データ	
ログとアラーム	
バージョンアップ	
ライセンス	

管理メニュー

【管理メニュー権限一覧】

管理者権限	工事者権限	一般権限
ホーム	ホーム	ホーム
ホーム	ホーム	ホーム
運用管理	運用管理	運用管理
発着信の履歴	発着信の履歴	発着信の履歴
用件録音	用件録音	用件録音
通話録音	通話録音	通話録音
着信規制	着信規制	着信規制
発信規制	発信規制	発信規制
事前準備	事前準備	
ユーザー ID	グループ	
グループ	着信電話番号	
着信電話番号	祝日	
祝日	メッセージ	
メッセージ	呼出先電話番号	
呼出先電話番号	外線転送先番号	
外線転送先番号		
システム関係	システム関係	
状態表示	状態表示	
ネットワーク	ネットワーク	
設定データ	設定データ	
ログとアラーム	ログとアラーム	
バージョンアップ	バージョンアップ	
ライセンス	ライセンス	
初期化	初期化	
再起動・停止	再起動・停止	

※ 登録しているライセンスや設定内容により表示される項目は異なります。

本体装置の操作

IVR-100VoIP IIにおいては、本体装置の操作ボタンにより本体装置のバージョンやIPアドレスの確認、本体装置の再起動やシャットダウンが操作できます。また、操作ボタンは誤操作防止のため、若干長押しすることで操作できるようになります。

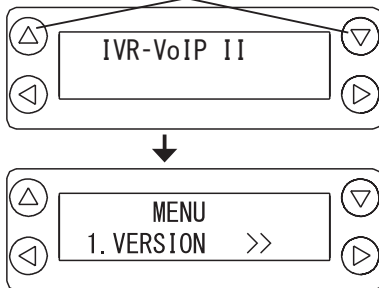
1. バージョンの確認

トップ画面やメニュー画面で、△ や ▽ を数回押しします。

1 * 【1.VERSION】の画面が表示されます。

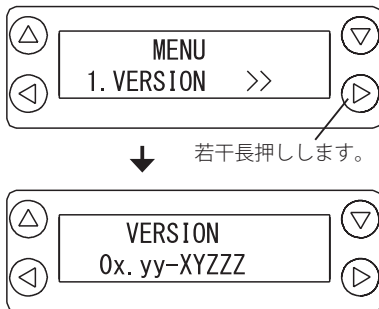
【操作の開始がトップ画面の例】

若干長押しします。



Ⓚ を押します。

2 * 本体装置のバージョンとライセンス情報が表示されます。

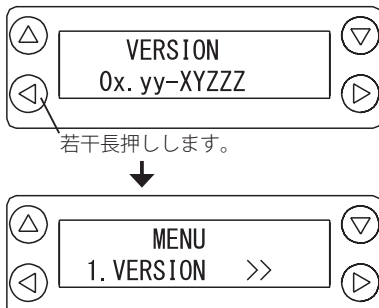


【表示内容】

VERSION
0x.yy-XYZZZ
システムバージョン
x : メジャーバージョン
yy : マイナーバージョン
X : 通話録音ライセンス有無
(0 : 無し、1 : 有り)
Y : 発信規制ライセンス有無
(0 : 無し、1 : 有り)
ZZZ : チャンネルライセンス数
(001 ~ 100)

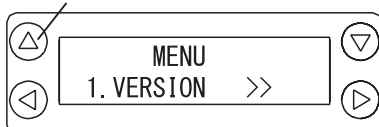
Ⓛ を押します。

3 * 【1.VERSION】の画面が表示されます。



△ を押して、トップ画面を表示します。
若干長押しします。

4



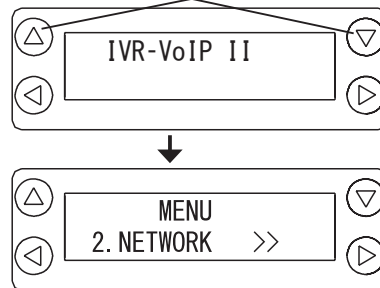
2. IPアドレスの確認

トップ画面やメニュー画面で、△ や ▽ を数回押しします。

1 * 【2.NETWORK】の画面が表示されます。

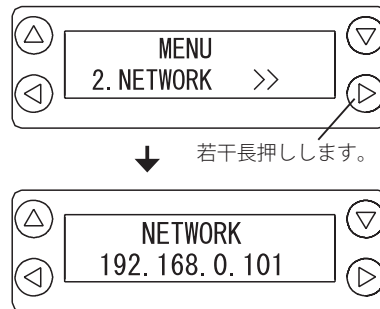
【操作の開始がトップ画面の例】

複数回若干長押しします。



Ⓚ を押します。

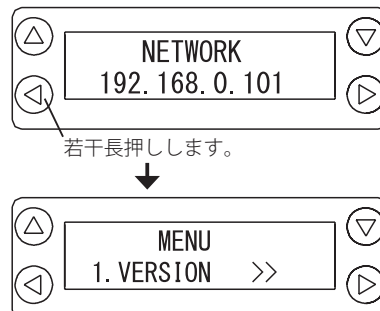
2 * 本体装置のIPアドレスが表示されます。



※ IPアドレスが「192.168.0.101」の場合の例

Ⓛ を押します。

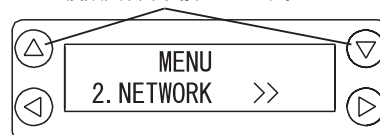
3 * 【1.VERSION】の画面が表示されます。



△ や ▽ を数回押して、トップ画面を表示します。

4

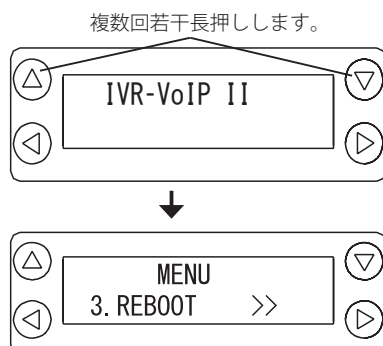
複数回若干長押しします。



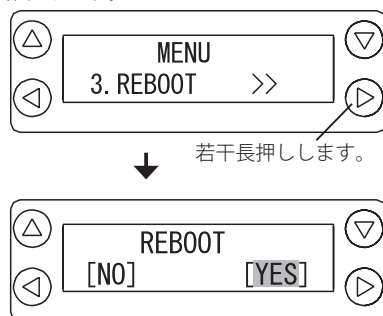
3. 本装置の再起動

トップ画面で、△ や ▽ を数回押します。

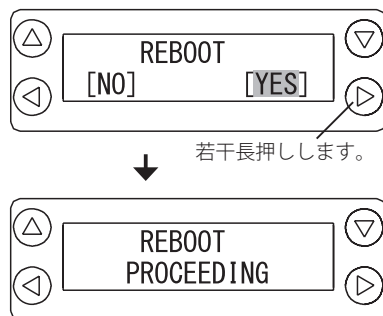
- 1** * 【3.REBOOT】の画面が表示されます。
【操作の開始がトップ画面の例】



- 2** ◂ を押します。
* "YES" が反転されます。

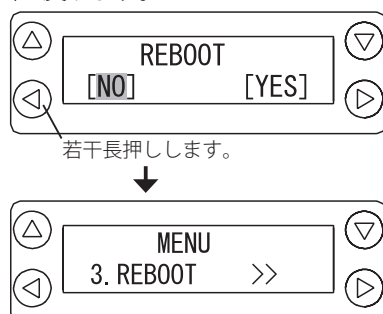


- 3** ◂ を押します。
* 本体装置が再起動されます。



ワンポイント

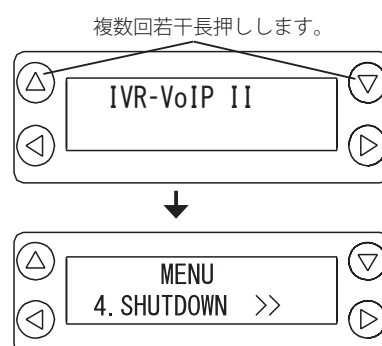
- 再起動しない場合は、手順2で ◂ を2回押すとメニュー画面に戻ります。



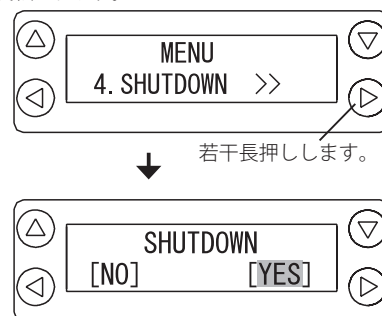
4. 本装置のシャットダウン

トップ画面で、△ や ▽ を数回押します。

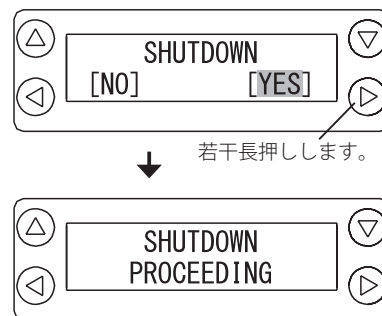
- 1** * 【4.SHUTDOWN】の画面が表示されます。
【操作の開始がトップ画面の例】



- 2** ◂ を押します。
* "YES" が反転されます。

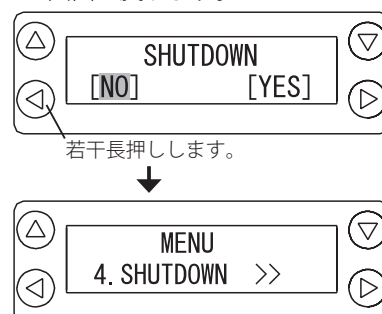


- 3** ◂ を押します。
* 本体装置がシャットダウンされます。



ワンポイント

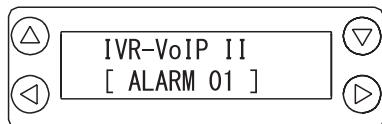
- シャットダウンしない場合は、手順2で ◂ を2回押すとメニュー画面に戻ります。



ワンポイント

- 本体装置にアラームが発生すると、直前に表示していた画面とアラーム画面が3秒ごとに交互に表示されます。

【アラーム画面（アラーム番号：01）】



- 複数のアラームが発生している場合は、若番のアラーム番号が表示されます。
- アラームが発生した場合は、「第3章 設定編 システム関係 4. ログとアラーム」(64 ページ) を参照してください。

第2章 データ編

データを登録する前に

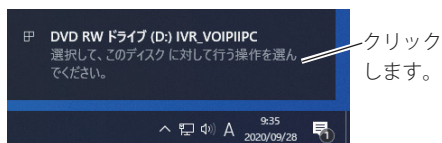
お客様からの電話着信時に案内する、挨拶用・転送用などの各種メッセージの作成・編集は、専用の音声編集ソフトをインストールしたパソコンで行います。ご使用になるパソコンの動作環境や、電話着信時の動作内容などを理解した上でデータ登録を行ってください。

1. 音声編集ソフトをセットアップする

1-1 音声編集ソフトをインストールする

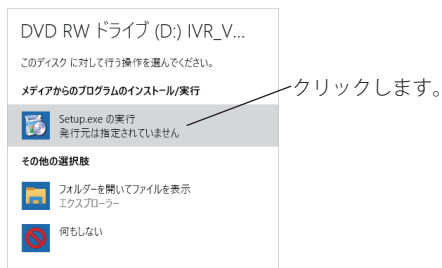
(Windows 10 の操作例)

1. 他のソフトをすべて終了します。
2. 添付の音声編集ソフトの DVD をパソコンの DVD ドライブに入れます。
3. 操作選択画面をクリックします。



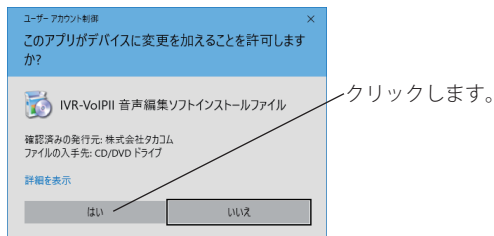
・【自動再生】画面が表示されます。

4. 「Setup.exe の実行」をクリックします。



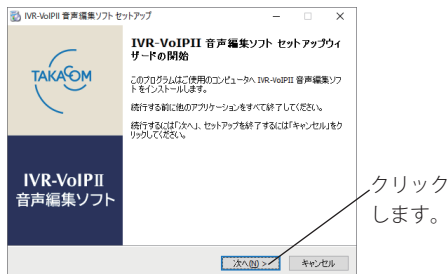
・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

5. [はい] ボタンをクリックします。



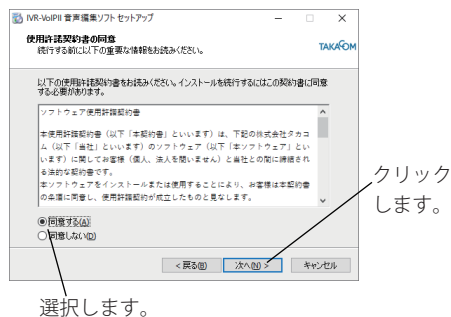
・インストールウィザードが起動します。

6. [次へ] ボタンをクリックします。



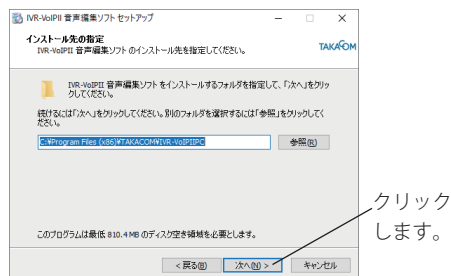
・使用許諾契約書が表示されます。

7. 「使用許諾契約書」をお読みいただき、ご同意いただける場合は「同意する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



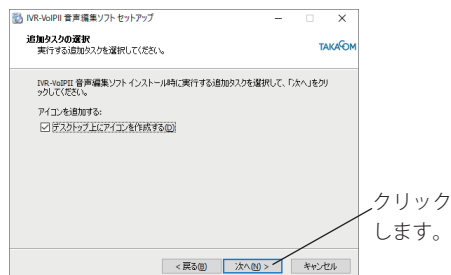
・インストール先の指定画面になります。

8. インストール先の指定画面で、そのままであれば「次へ」ボタンをクリックします。変更が必要であれば、[参照] ボタンをクリックしてインストール先を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。



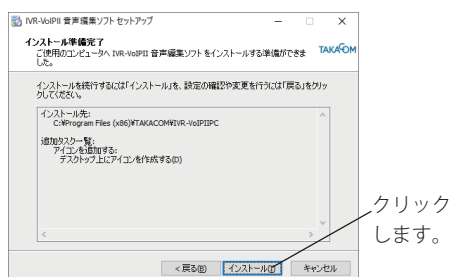
・追加タスクの選択画面になります。

9. デスクトップにアイコンを作成する場合はチェックを付けて、「次へ」ボタンをクリックします。



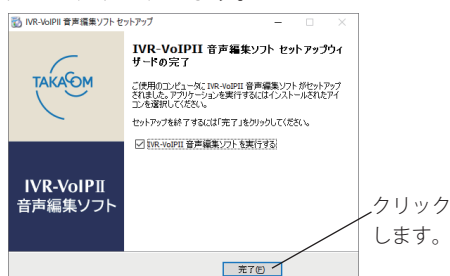
・インストール準備完了画面になります。

10. 内容を確認して、[インストール] ボタンをクリックします。



- ・インストールが始まります。
- ・インストールが終了するとセットアップウィザード完了の画面が表示されます。

11. 音声編集ソフトをすぐに実行する場合は、「IVR-VolPII 音声編集ソフトを実行する」にチェックを付けて、[完了] ボタンをクリックします。



● インストールプログラムが自動的に起動しないとき (Windows 10 の操作例)

1. デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックして表示されるメニュー画面から「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
2. 「名前」欄に、キーボードから「《DVD ドライブ名》: ¥ setup.exe」と入力して [OK] ボタンをクリックします。

- ・インストールプログラムが起動します。

STOP お願い

- インストールまたはアンインストールする際は、必ず、管理者権限を持ったユーザー（例えば Administrator）が行ってください。
- インストールするフォルダは、必ずフルコントロール（読み書き、削除等）ができるフォルダにしてください。

1-2 音声編集ソフトをアンインストールする

音声編集ソフトを削除（アンインストール）するときは、次の手順で行います。

1. 音声編集ソフトを終了します。
2. デスクトップ画面におけるタスクバーから、[con] と入力して検索される「コントロールパネル」をクリックします。
3. 【表示方法：カテゴリーの場合】
「プログラムのアンインストール」を開きます。
【表示方法：大きいアイコン／小さいアイコンの場合】
「プログラムと機能」を開きます。
4. 「IVR-VolPII 音声編集ソフト」を選んで削除します。

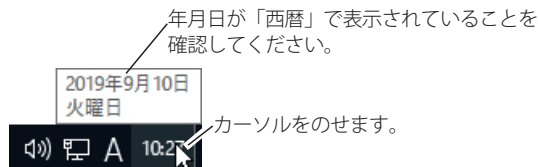
2. 日付・時刻の確認

ご使用のパソコンの年月日・時刻の形式で、カレンダーの種類が「西暦」であることを確認してください。

(Windows 10 の操作例)

1. タスクバーの時刻にカーソルをのせます。

- ・年月日が表示されます。

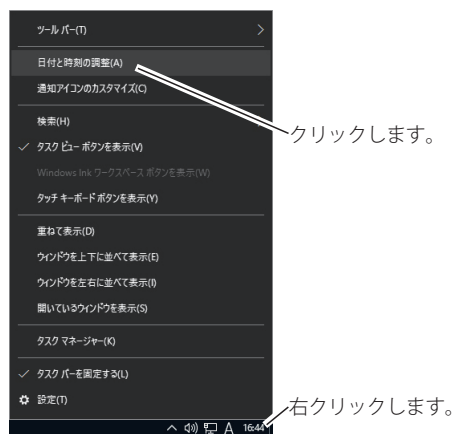


● 年月日が「和暦」で表示されている場合

カレンダーの種類が「和暦」で表示されている場合は、以下の手順で「西暦」に変更してください。

(Windows 10 の操作例)

- ① タスクバーの時刻を右クリックして表示される右クリックメニューで、「日付と時刻の調整」をクリックします。



- ・設定画面が表示されます。

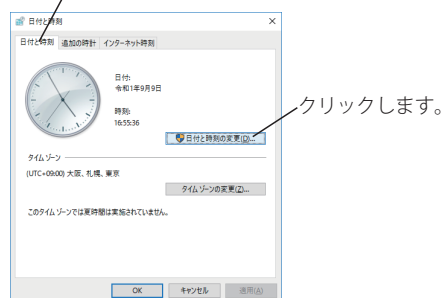
- ② [別のタイムゾーンの時計を追加する] をクリックします。



- ・日付と時刻画面が表示されます。

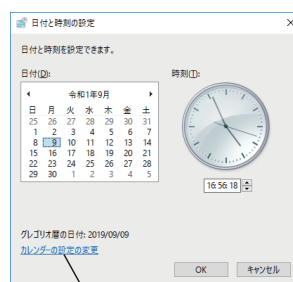
- ③ [日付と時刻] タブをクリックして[日付と時刻の変更] ボタンをクリックします。

クリックします。



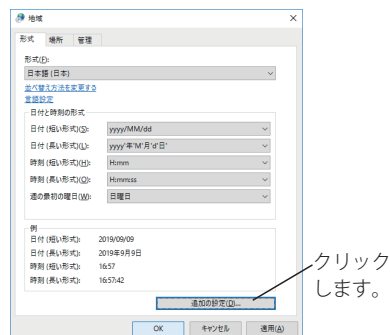
- ・日付と時刻の設定画面が表示されます。

- ④ [カレンダーの設定の変更] をクリックします。



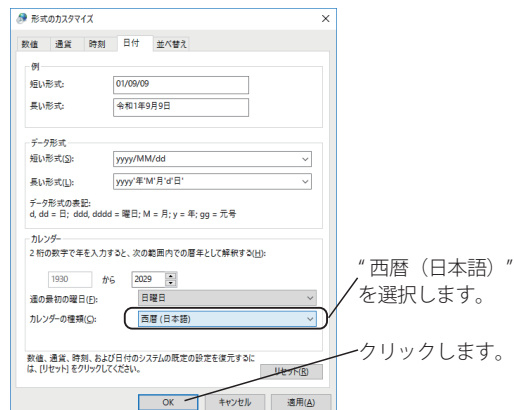
- ・地域画面が表示されます。

- ⑤ [追加の設定] ボタンをクリックします。



- ・形式のカスタマイズ画面が表示されます。

- ⑥ [日付] タブをクリックして、「カレンダーの種類」を「西暦（日本語）」で選択して、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑦ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。

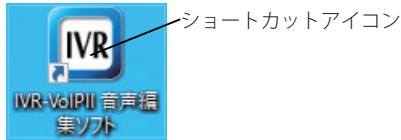
音声編集ソフトを起動・終了する

音声編集ソフトを起動すると、起動画面が表示されたあとにメイン画面が表示されます。

1. 起動のしかた

■ デスクトップ画面にショートカットアイコンがある場合 ■ 起動画面とメイン画面

1. ショートカットアイコンをダブルクリックします。

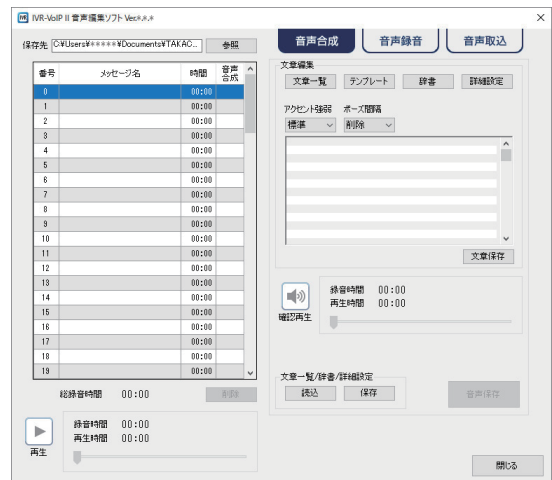


- ・ 起動画面の表示後にメイン画面が表示されます。

【起動画面】



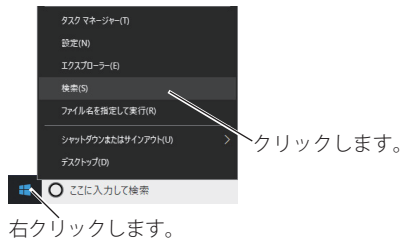
【メイン画面】



■ デスクトップ画面にショートカットアイコンがない場合

(Windows 10 の手順例)

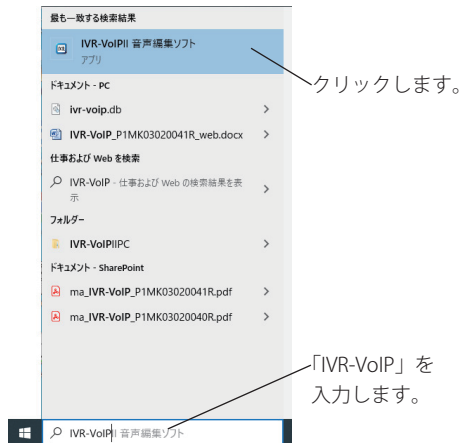
1. デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックして表示されるメニュー画面から、「検索」をクリックします。



右クリックします。

- ・ キーワード入力欄が表示されます。

2. キーワード入力欄に「IVR-VolPII」を入力して検索された「IVR-VolPII 音声編集ソフト」をクリックします。



- ・ 起動画面の表示後にメイン画面が表示されます。

2. 終了のしかた

1. 音声編集ソフトを終わるときは、[閉じる] ボタンをクリックします。



クリックします。

メッセージを編集する

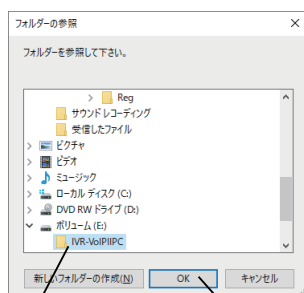
挨拶用メッセージや転送用メッセージを作成・編集します。メッセージの作成・編集は、メイン画面の[音声合成][音声録音][音声取込]タブで行います。



1. 保存先フォルダの指定

各種メッセージを保存するフォルダを指定します。

- ① [参照] ボタンをクリックします。
 - ・フォルダの参照画面が表示されます。
- ② 保存先のフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

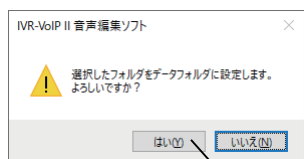


選択します。

クリックします。

・確認画面が表示されます。

- ③ [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

2. メッセージの再生と削除

■ メッセージの再生

メッセージリストに保存されているメッセージを再生して、メッセージの内容が確認できます。

- ① 再生するメッセージを選択します。



- ② [再生] ボタンをクリックします。



クリックします。

※ 再生ツマミをドラッグして再生位置が変更できます。

・メッセージが再生されます。



[停止] ボタン

※ 再生中は[再生] ボタンは[停止] ボタンに変更されます。

■ メッセージの削除

メッセージリストに保存されているメッセージが削除できます。

- ① 削除するメッセージを選択します。

番号	メッセージ名	時間	音声合成
0	用件録音・応答メッセージ	00:12	○
1	用件録音・終了メッセージ	00:06	○
2	用件録音・満杯メッセージ	00:15	○

クリック
します。

- ② [削除] ボタンをクリックします。

18		00:00	
19		00:00	

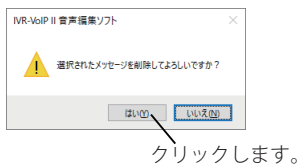
総録音時間 00:33

削除

クリックします。

- ・削除確認メッセージが表示されます。

- ③ [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・メッセージが削除されます。

3. 音声合成

テキストファイルなどから読み込んだ文章や、キーボードから入力した文章を音声メッセージに変換します。

【メイン画面（音声合成）】



[読込] ボタン

[保存] ボタン

- ① [音声合成] タブをクリックします。

※ 本ソフトを起動したときの初期画面になっています。

- ② メッセージリストから対象のメッセージを選択します。

番号	メッセージ名	時間	音声合成
0	用件録音・応答メッセージ	00:12	○
1	用件録音・終了メッセージ	00:06	○
2	用件録音・満杯メッセージ	00:15	○
3		00:00	
4		00:00	
5		00:00	

クリックします。

- ・対象のメッセージ行が反転されます。

- ③ [メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

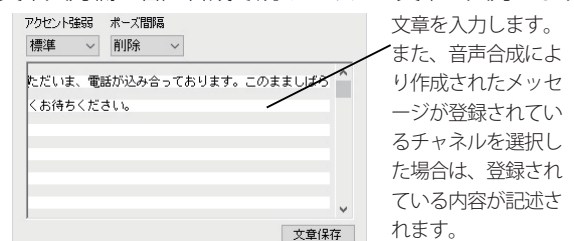
- ・最大 20 文字まで入力できます。

番号	メッセージ名	時間	音声合成
0	用件録音・応答メッセージ	00:12	○
1	用件録音・終了メッセージ	00:06	○
2	用件録音・満杯メッセージ	00:15	○
3	保留お待たせ第1メッセージ	00:00	
4		00:00	
5		00:00	

〔メッセージ名〕
入力欄

- ・メッセージ名は音声保存後でも変更できます。

- ④ 文章入力欄に音声合成で読み上げたい文章を入力します。

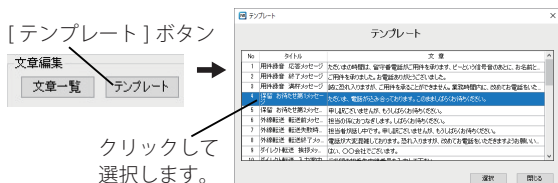


文章を入力します。
また、音声合成により作成されたメッセージが登録されているチャンネルを選択した場合は、登録されている内容が記述されます。

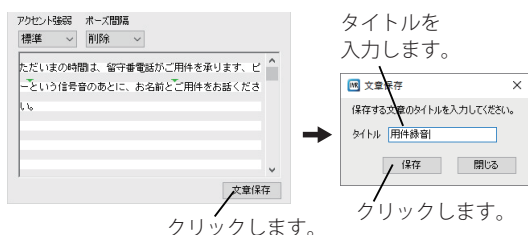
- ・テキストファイルからのコピー＆ペーストができます。このとき、半角文字は全角文字に変換されます。
- ・1メッセージは最大 3 分、特殊文字を除く全角文字で最大 2500 文字まで入力できます。

ワンポイント

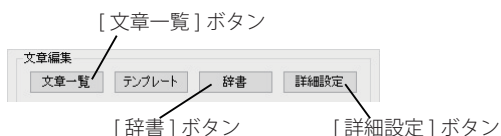
- メッセージ名やメッセージなどに環境依存文字や特殊文字は使用できません。
- [テンプレート] ボタンをクリックすると、文章例が表示されるため、該当の文章例を選択した後に、内容をアレンジすることができます。



- テンプレートや文章一覧から文章を選択した場合、すでに入力されているメッセージは消去されます。
- 編集された文章を保持しておくことができます。[文章保存] ボタンをクリックして表示される文書保存画面で、タイトルを入力してください。
 - ・文章は最大 100 件保存できます。
 - ・タイトルは最大 10 文字まで入力できます。



また保存された文章は、[文章一覧] ボタンをクリックして表示される一覧画面から確認できます。



- ⑤ 音声を確認するため、[確認再生] ボタンをクリックしてメッセージを再生します。



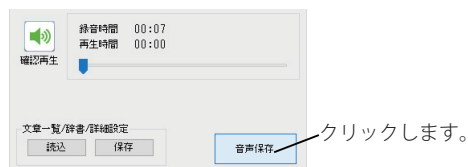
- ・音声合成されたメッセージが再生されます。
- ・文章を範囲選択すると、選択されている文章のみ再生します。
- ・再生中は[確認再生] ボタンが[停止] ボタンに変わります。



アクセントの強弱や文字列の間のポーズ時間の調節をする場合は、「アクセント強弱やポーズ間隔の調節」(33 ページ) を参照してください。

※作成したメッセージは必ず再生して確認してください。このとき音声合成機能の仕様により、意図した再生にならないことがありますが、あらかじめご了承ください。

- ⑥ [音声保存] ボタンをクリックして、メッセージを保存します。

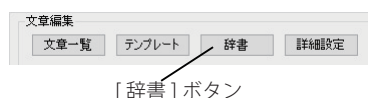


ワンポイント

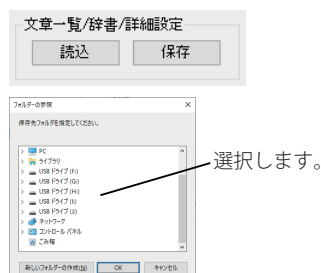
- [詳細設定] ボタンをクリックすると、文章を読み上げる速度や声の大きさなどが変更できます。「音声合成詳細設定」(33 ページ) を参照してください。



- [辞書] ボタンをクリックすると、単語の読み方などをあらかじめ登録しておくことができます。「辞書登録」(34 ページ) を参照してください。



- お客様で任意に作成された文章一覧や辞書の登録内容および、音声合成詳細設定の各設定値を、外部メモリなどに保存したり、外部メモリなどから読み込んだりすることができます。[読込] ボタンや[保存] ボタンをクリックして表示される、【フォルダーの参照】画面からフォルダーを選択してください。

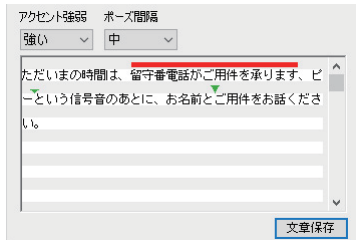


アクセント強弱やポーズ間隔の調節

文章入力欄で選択された文字列のアクセントの強弱やポーズ間隔の調節ができます。

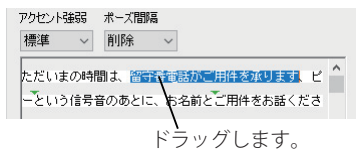
- ・アクセント強弱は5段階で調節できます。
- ・ポーズ間隔は3段階で調節できます。

【表示例】



● アクセント強弱のつけかた

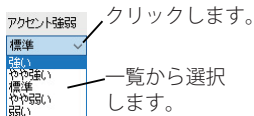
1. アクセントの強弱をつけたい文字列をドラッグします。



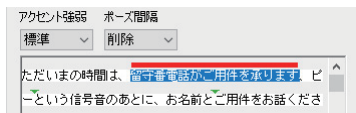
ドラッグします。

2. アクセント強弱の [v] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。

- ・アクセントの強弱をつけない場合は、「標準」を選択します。



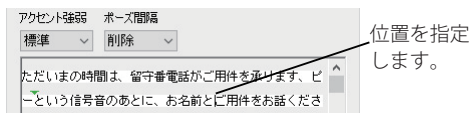
- ・強弱に応じて文字列の上に赤いバーが表示されます。



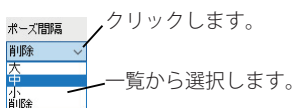
※ 熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発言にならない場合は、単語を辞書登録して読みにアクセントを付けてください。辞書登録については次ページを参照してください。

● ポーズ間隔のつけかた

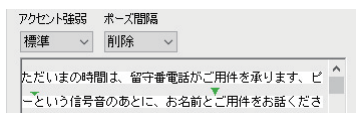
1. 空白時間を挿入したい箇所をマウスで指定します。



2. ポーズ間隔の [v] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。



- ・間隔に応じて指定位置に緑の逆三角形が表示されます。



音声合成詳細設定

アクセント強弱やポーズ間隔の他に、文章を読み上げる速度や声の大きさなど、各種の設定項目に詳細な設定ができます。



[初期値に戻す] ボタン [登録] ボタン [閉じる] ボタン

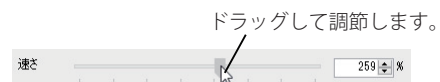
※ 設定値を工場出荷状態 (初期値) に戻します。

No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	速さ	文章を読むスピード	50 ~ 400%	90%
2	大きさ	声の大きさ	50 ~ 500% (※)	100%
3	ピッチ	声の高さ	50 ~ 200%	100%
4	ポーズ小	ポーズ小を選択した場合の間隔	10 ~ 10000ms	300ms
5	ポーズ中	ポーズ中を選択した場合の間隔	10 ~ 10000ms	800ms
6	ポーズ大	ポーズ大を選択した場合の間隔	10 ~ 10000ms	1000ms

※ 「大きさ」については本ソフトで再生する音量になります。本装置から再生されるメッセージの音量は一定レベルに自動的に変換されます。

(「大きさ」以外の設定項目は、設定した値で本装置から再生されるメッセージに反映されます)

1. スライダーをドラッグして指定の位置でドロップします。



- ・数値が連動して変更されます。

※ 数値を入力したり、[▲ / ▼] で設定することもできます。



数値を入力したり、[▲ / ▼] をクリックして調節できます。

2. [登録] ボタンをクリックします。
3. [閉じる] ボタンをクリックします。

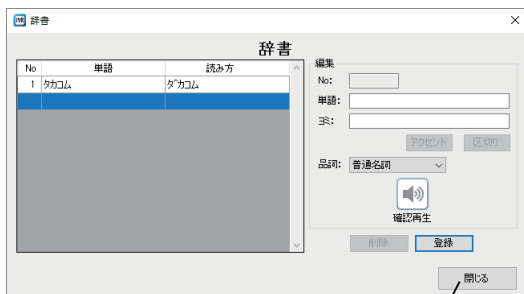
ご注意

- 音声合成詳細設定により変更された内容は、すでに登録されている音声合成メッセージには反映されません。登録後に音声合成により作成されたメッセージに反映されるため、ご注意ください。

辞書登録

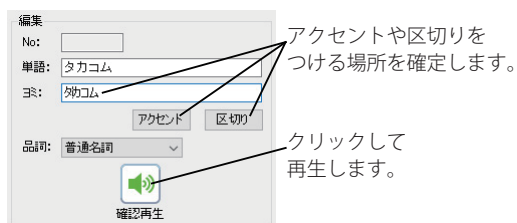
よく使う単語や、あまり一般的ではない言葉を辞書登録することができます。あらかじめアクセントをつけて調整を行い、辞書登録しておくことで、メッセージ編集が便利になります。

【辞書画面】

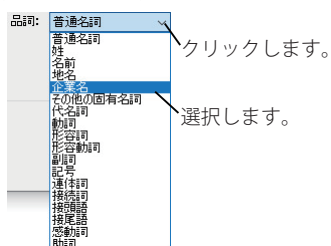


[閉じる] ボタン

1. 単語と読みを入力して、[確認再生] ボタンで音声を聞きながら、アクセントや区切りの位置を確認します。



2. 品詞の [v] をクリックして表示される一覧から、単語の品詞を選択します。



3. [登録] ボタンをクリックします。



[削除] ボタン [登録] ボタン

- ・最大 300 件登録できます。
- ・辞書画面に反映されます。
- ・辞書画面で単語を選択して、[削除] ボタンをクリックすると登録されている単語が削除されます。

ご注意

- 辞書登録した単語は、登録後に保存したメッセージから反映されます。同じ単語でも辞書登録前に保存したメッセージには反映されませんので、ご注意ください。
- 文章の前後のテキストによって、意図した発音にならない場合がありますので、ご注意ください。

ワンポイント

- 文章入力欄で熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発音にならない場合があります。このときは熟語を辞書登録して読みアクセントを付けることで、意図した発音にできます。

STOP お願い

- アクセントや区切りの位置を調節した単語を辞書登録するときは、必ず [確認再生] ボタンで再生して調節した内容を確認してから辞書登録をしてください。調節内容によっては、辞書が上手く登録できないことがあります。

4. 音声録音

録音デバイスからの再生音を録音してメッセージとして保存します。

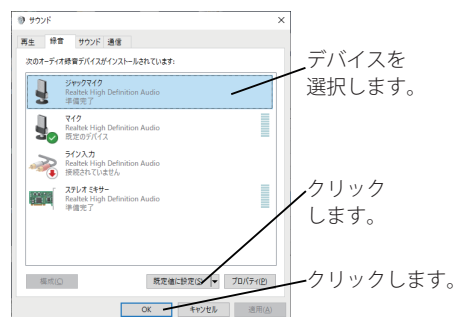
【メイン画面（音声録音）】



① [音声録音] タブをクリックします。

② [録音デバイス設定] ボタンをクリックして、音源を入力するデバイスが選択されていることを確認します。

※ 録音デバイスを変更する場合は、[録音デバイス設定] ボタンをクリックして、デバイスが選択できます。また音源の音量も変更できます。詳細は「資料編 参考資料 録音デバイスの設定」(88 ページ)を参照してください。



③ 録音するメッセージを選択します。

番号	メッセージ名	時間	音声合成
0	用件録音・応答メッセージ	00:13	○
1	用件録音・終了メッセージ	00:06	○
2	用件録音・満杯メッセージ	00:15	○
3	保留お待たせ第1メッセージ	00:07	○
4	保留お待たせ第2メッセージ	00:00	○
5		00:00	

・対象のメッセージ行が反転されます。

④ [メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

・最大 20 文字まで入力できます。

番号	メッセージ名	時間	音声合成
0	用件録音・応答メッセージ	00:13	○
1	用件録音・終了メッセージ	00:06	○
2	用件録音・満杯メッセージ	00:15	○
3	保留お待たせ第1メッセージ	00:07	○
4	保留お待たせ第2メッセージ	00:00	○
5		00:00	

・メッセージ名は音声保存後でも変更できます。

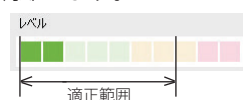
⑤ メッセージを録音します。

1) 録音デバイスから再生音を入力して、[モニター] ボタンをクリックします。



・[モニター] ボタンが [停止] ボタンに変わります。

2) 録音レベルが適正範囲となるように、音源のボリュームを調節します。



3) [停止] ボタンをクリックします。

・[停止] ボタンが [モニター] ボタンに変わります。

4) 再度再生音を入力して、[録音] ボタンをクリックします。



・[録音] ボタンが [停止] ボタンに変わり、録音が始まります。

5) 録音を終了する場合は、[停止] ボタンをクリックします。

・録音が終了します。

6) 録音されたメッセージを確認する場合は、[確認再生] ボタンをクリックします。



・[確認再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。

・再生を停止させる場合は、[停止] ボタンをクリックします。

⑥ [音声保存] ボタンをクリックして、メッセージを保存します。

5. 音声取込

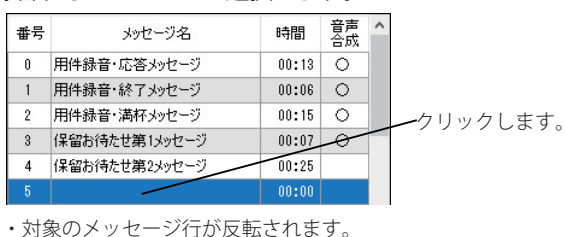
パソコンや USB メモリなどから wave ファイルを読み込んでメッセージとして保存します。

【メイン画面（音声取込）】



① [音声取込] タブをクリックします。

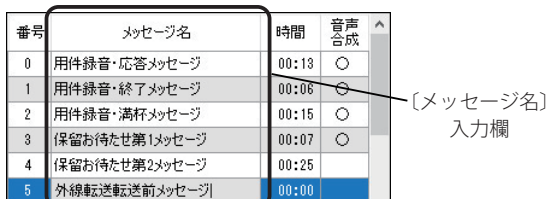
② 録音するメッセージを選択します。



・対象のメッセージ行が反転されます。

③ [メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

・最大 20 文字まで入力できます。



・メッセージ名は音声保存後でも変更できます。

④ 取り込むファイルを選択します。

1) [参照] ボタンをクリックします。

・音声ファイル選択画面が表示されます。

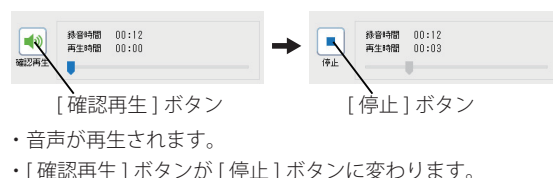
2) ファイルの場所とファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

ファイルの場所を指定します。



・3 分以内の音声ファイルが選択できます。

3) [確認再生] ボタンをクリックして音声を確認します。

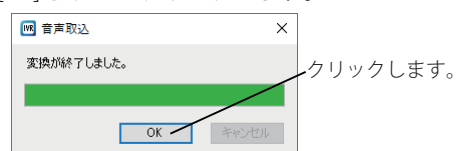


・音声が再生されます。
・[確認再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。

⑤ [音声保存] ボタンをクリックします。

・音声に変換されて保存されます。
・変換終了画面が表示されます。

⑥ [OK] ボタンをクリックします。



ワンポイント

● 本ソフトで取込可能な音声ファイルのファイル形式は以下になります。

No.	規格名	仕様
1	リニア PCM	22.05kHz/16bit ステレオ、モノラル
		44.1kHz/16bit ステレオ、モノラル
2	μ-law	8kHz/8bit モノラル

● 取込後の音声ファイルは、先頭に 500ミリ秒の無音を挿入します。また、1 秒未満の音声については、最後に無音を挿入して 1 秒単位のメッセージが作成されます。

(例) 40 秒 121ミリ秒の音声の場合

500ミリ秒(無音) + 40 秒 121ミリ秒(音声)
+ 379ミリ秒(無音) ⇒ 41秒

※ 先頭に 500 ミリ秒 (無音) を挿入して 3 分を超えた音声については、3 分を超えた箇所を切り捨てて 3 分で作成されます。

第 3 章 設定編

ログイン・ログアウト

1. ログイン

WEB ブラウザから本装置へのログインは次のように行います。

1. WEB ブラウザを起動します。
2. URL 入力欄に本装置の IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

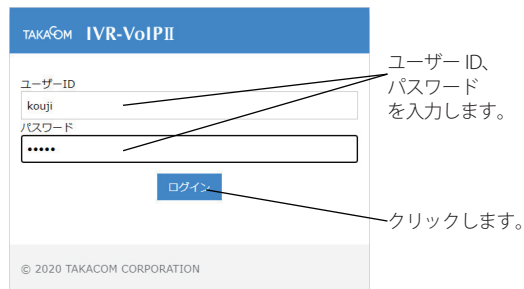
WEB ブラウザ【Google Chrome】



・【ログイン】画面が表示されます。

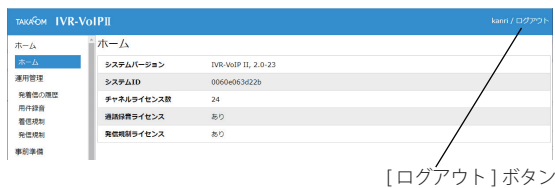
3. 【ログイン】画面でユーザー ID とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

【ログイン】画面



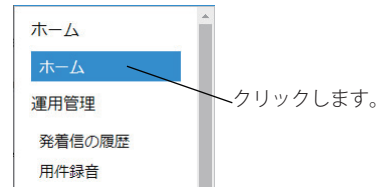
・【メニュー】画面が表示されます。

【メニュー】画面



■【ホーム】画面

WEB ブラウザから本装置へのログインしたときに最初に表示される画面です。また【メニュー】画面の管理メニューから、「ホーム→ホーム」をクリックして表示できます。



【ホーム】画面

ホーム	
システムバージョン	IVR-VolPII II, 2.0-23
システムID	0060e063d22b
チャネルライセンス数	24
通話録音ライセンス	あり
発信規制ライセンス	あり

●システムバージョン

システム名とシステムバージョンを表示します。

●システム ID

ライセンスの発行時に必要な番号です。

●チャネルライセンス数

購入しているチャネルライセンス数を表示します。

●通話録音ライセンス

録音ありの通話録音ライセンスを購入している場合、「あり」が表示されます。

●発信規制ライセンス

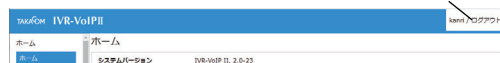
発信規制ライセンスを購入している場合、「あり」が表示されます。

2. ログアウト

本装置からのログアウトは次のように行います。

1. 各種の画面において、[ログアウト] ボタンをクリックします。

クリックします。



- ・【ログイン】画面が表示されます。



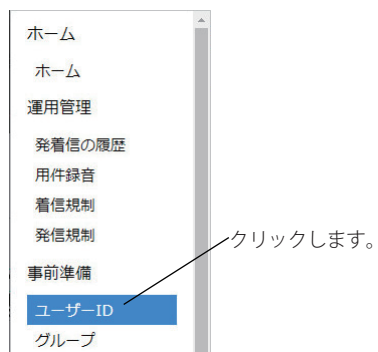
事前準備

1. ユーザー ID

管理者権限のアカウントで本装置にログインした場合、ユーザー ID の追加や編集ができます。登録できるユーザー ID は、最大 121 件（管理者：最大 20 件、工事者：1 件、一般：最大 100 件）です。

■【ユーザー ID】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限のユーザー ID でログインします。
 - ・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「事前準備—ユーザー ID」をクリックします。



- ・【ユーザー ID】画面が表示されます。
- 【ユーザー ID】画面



【ユーザー ID】画面（通話録音ライセンスあり）



■管理者権限ユーザーの追加

1. 【ユーザー ID】画面で「管理者追加」ボタンをクリックします。



- ・【管理者追加】画面が表示されます。
2. 「ユーザー ID」と「パスワード」を入力して「登録」ボタンをクリックします。



各情報を入力します。

※ ユーザー ID / パスワードは、半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。

- ・管理者権限のユーザー ID が追加されます。

ワンポイント

- 工場出荷時に管理者権限のユーザー ID として “admin” が存在します。（パスワード：“12345”）このユーザー ID は管理者権限のユーザー ID が追加されると自動的に削除されます。

※ 初めて管理者権限のユーザー ID が追加されたときだけ、自動で Web ブラウザからログアウトされます。

※ 一度削除された “admin” を再度設定することはできませんが、再設定したユーザー ID がログアウトしたときに、“admin” は削除されます。

■ 一般権限ユーザーの追加

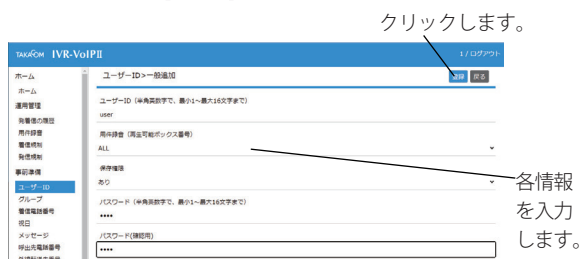
1. 【ユーザー ID】画面で[一般追加] ボタンをクリックします。



No.	ユーザーID	種別	利用権限	保存権限
☐	1	管理者	ALL	あり
☐	2	kouji	メンテナンス	あり
☐	3	12	一般	なし

- ・【一般追加】画面が表示されます。

2. 「ユーザー ID」、「利用権限」、「保存権限」および「パスワード」を入力して[登録] ボタンをクリックします。



ユーザーID (半角英数字で、最小1～最大16文字まで)
 user

パスワード (半角英数字で、最小1～最大16文字まで)

確認パスワード (確認用)

利用権限: ALL

保存権限: あり

電話番号 (任意で入力可能)

※ ユーザー ID / パスワードは、半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。

- ・一般権限のユーザー ID が追加されます。

■ ユーザー ID の編集

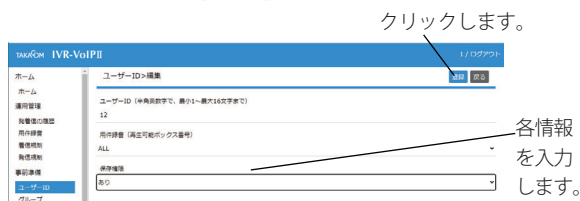
1. 編集対象のユーザー ID をクリックして、[編集] ボタンをクリックします。



No.	ユーザーID	種別	利用権限	保存権限
☐	1	管理者	ALL	あり
☐	2	admin	管理者	あり
☐	3	kouji	メンテナンス	あり
☐	4	12	一般	なし

- ・【編集】画面が表示されます。

2. 各項目を編集して、[登録] ボタンをクリックします。



ユーザーID (半角英数字で、最小1～最大16文字まで)
 12

パスワード (半角英数字で、最小1～最大16文字まで)

確認パスワード (確認用)

利用権限: ALL

保存権限: あり

電話番号 (任意で入力可能)

- ・ユーザー ID が変更されます。

ワンポイント

- 通話録音ライセンスがある場合、一般ユーザーの追加や編集において、電話番号が設定できます。すべての電話番号を対象にする場合は、“ALL” を指定します。

【一般追加】画面の例



ユーザーID (半角英数字で、最小1～最大16文字まで)
 user

パスワード (半角英数字で、最小1～最大16文字まで)

確認パスワード (確認用)

利用権限: ALL

保存権限: あり

電話番号 (任意で入力可能)
 ALL

■ ユーザー ID のパスワード変更

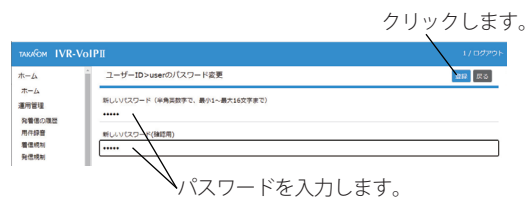
1. 編集対象のユーザー ID をクリックして、[パスワード変更] ボタンをクリックします。



No.	ユーザーID	種別	利用権限	保存権限
☐	1	管理者	ALL	あり
☐	2	admin	管理者	あり
☐	3	kouji	メンテナンス	あり
☐	4	12	一般	なし

- ・【パスワード変更】画面が表示されます。

2. パスワードを修正して、[登録] ボタンをクリックします。



新しいパスワード (半角英数字で、最小1～最大16文字まで)

確認パスワード (確認用)

- ・パスワードが変更されます。

■ ユーザー ID の削除

1. 削除対象のユーザー ID のチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



No.	ユーザーID	種別	利用権限	保存権限
☐	1	管理者	ALL	あり
☐	2	kouji	メンテナンス	あり
☐	3	12	一般	なし
☒	4	user	一般	あり

※ 複数のユーザー ID のチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



192.168.xx.xx の内容
 削除しますか?

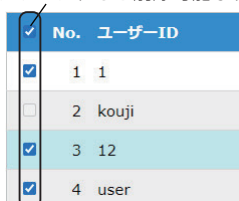
OK キャンセル

- ・対象のユーザー ID が削除されます。

ワンポイント

- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、削除可能なユーザー ID すべてのチェックボックスにチェックが付きます。

クリックすると削除可能なすべてのユーザー ID が対象になります。



No.	ユーザーID
☒	1
☒	2
☒	3
☒	4

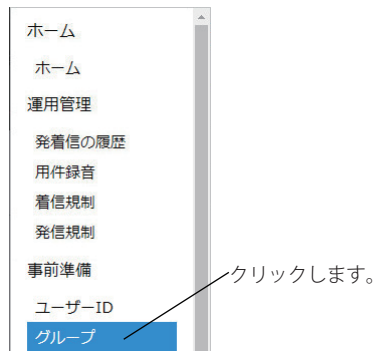
※ 工事者権限ユーザーは対象になりません。

2. グループ

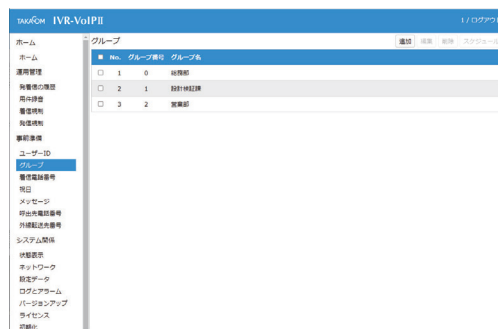
同一の動作をさせたい複数の着信電話番号を、1つのグループに登録する事によりグループ毎に共通の着信動作を指定することができます。最大 100 グループまで登録できます。

■【グループ】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「事前準備-グループ」をクリックします。

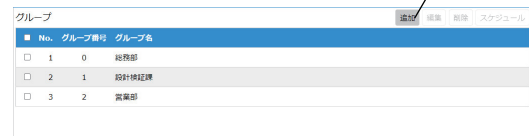


- ・【グループ】画面が表示されます。

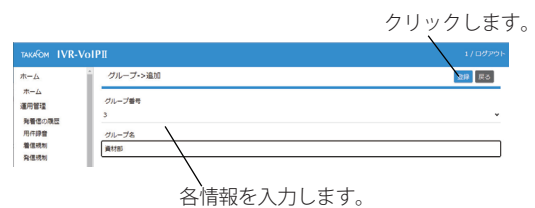


■グループの追加

1. 【グループ】画面で [追加] ボタンをクリックします。
クリックします。



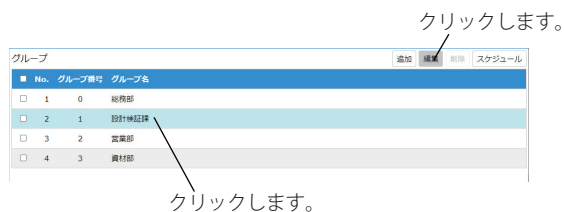
- ・【グループ追加】画面が表示されます。
2. 「グループ番号」と「グループ名」を入力して [登録] ボタンをクリックします。



- ※ グループ名は、最大 30 文字まで入力できます。
- ・グループが追加されます。

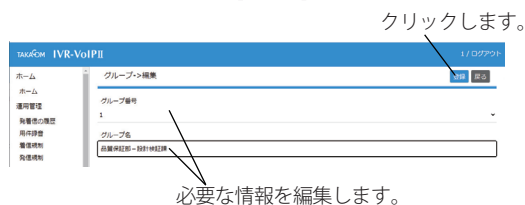
■ グループの編集

1. 【グループ】画面で編集対象のグループをクリックして、[編集] ボタンをクリックします。



- ・【グループ編集】画面が表示されます。

2. 必要な情報を編集して [登録] ボタンをクリックします。



必要な情報を編集します。

- ・グループが編集されます。

ワンポイント

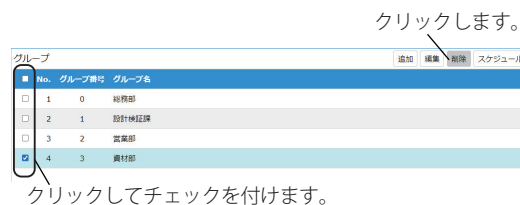
- グループに登録されていない電話番号は、グループ番号「0」のグループと同様の動作を行います。

STOP お願い

- グループに登録されていない電話番号からの着信ができなくなるため、グループを編集する場合、グループ番号「0」のグループを必ず設定してください。

■ グループの削除

1. 削除対象のグループのチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

- ※ 複数のグループのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・対象のグループが削除されます。

STOP お願い

- グループ番号「0」のグループは削除しないでください。グループに登録されていない電話番号からの着信ができなくなります。

ワンポイント

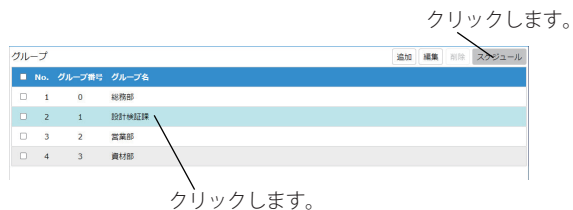
- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべてのグループのチェックボックスにチェックが付きます。

クリックするとすべてのグループが対象になります。

	No.	グループ番号	グループ名
☒	1	0	総務部
☒	2	1	設計検証課
☒	3	2	営業部
☒	4	3	資材部

■スケジュールの登録

- 対象のグループを選択して、[スケジュール] ボタンをクリックします。



- ・【スケジュール】画面が表示されます。



- 必要となる動作モードを登録します。「動作モードの登録」(本ページ)を参照してください。
- 動作条件となるスケジュールを登録します。「スケジュールの追加」(49 ページ)を参照してください。

ワンポイント

- 1年間のスケジュールを CSV 形式で保存し、動作の確認ができます。



[v] をクリックして、確認したい年を選択して、[保存] ボタンをクリックします。

- 【グループ】画面に戻るときは、[戻る] ボタンをクリックします。

クリックすると【グループ】画面が表示されます。



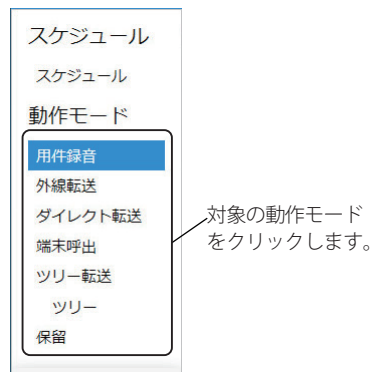
- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべての項目のチェックボックスにチェックが付きます。



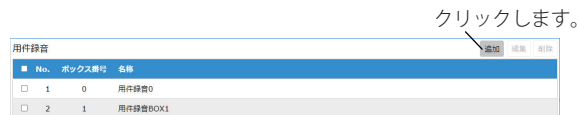
●動作モードの登録

対象となる動作モードは「用件録音」、「外線転送」、「ダイレクト転送」、「端末呼出」、「ツリー転送」、「保留」です。
※ **スケジュールを追加する前に動作モードを登録してください。**
(「用件録音」の画面例)

- 【スケジュール】画面から、対象の動作モードをクリックします。



- [追加] ボタンをクリックします。



- ・【用件録音追加】画面が表示されます。

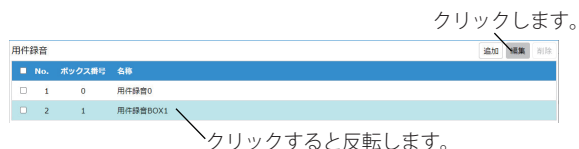
- 動作モードに必要な各種パラメータを入力して [登録] ボタンをクリックします。



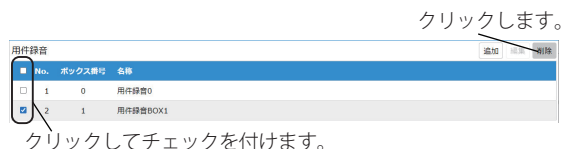
- ・動作モードが追加されます。

ワンポイント

- 動作モードを編集する場合は、対象の動作モードを選択して [編集] ボタンをクリックします。



- 動作モードを削除する場合は、対象の動作モードのチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



◆ 用件録音

項目	内容
ボックス番号	用件録音を保存するボックス番号です。0～99の値が設定できます。
名称	任意の名称を登録します。
最小録音時間	録音に必要な最小時間(秒)を設定します。最小録音時間に満たない用件録音は保存されません。0～10の値が設定できます。
最大録音時間	録音できる最大時間(秒)を、「30/60/120/180」から選択します。※
応答メッセージ	録音開始前に再生する音声メッセージを設定します。
終了メッセージ	録音終了後に再生する音声メッセージを設定します。
満杯メッセージ	ディスクの空き容量が1GBを下回っている場合に再生する音声メッセージを設定します。

※ 最大録音時間を経過すると、「終了メッセージ」を送出後に、通話は切断されます。

◆ 外線転送

項目	内容
番号	通し番号として0～99の値が設定できます。
名称	任意の名称を登録します。
転送前メッセージ	転送前にメッセージを再生する音声メッセージを選択します(メッセージ再生完了後に転送先に発信します)。※
発信者番号通知	発信者番号を通知しない場合(184)、強制通知する場合(186)に設定します。
転送先電話番号	転送先の電話番号を登録します。転送先番号が発信規制対象の場合でも転送します。
転送時発信者番号指定	空欄時は転送先に通知される発信者番号が、本装置に着信時の着信番号となります。「呼出先電話番号」から番号を選択することにより、発信者番号を固定することができます。
転送失敗時メッセージ	転送先の呼び出しが失敗した場合に再生する音声メッセージを設定します。
転送動作回数	転送が成功するまで転送動作を行う回数を設定します。指定された回数だけ転送動作を実施して転送できなかった場合は、転送終了メッセージを再生し、転送動作を中止後に切断します。回数は、1～5で設定します。
転送終了メッセージ	転送動作回数オーバー時に発信者に対して再生する音声メッセージを設定します。

※ 転送前メッセージは必ず設定して使用してください。

◆ ダイレクト転送

項目	内容
番号	通し番号として 0 ～ 99 の値が設定できます。
名称	任意の名称を登録します。
挨拶メッセージ	応答後に最初に再生する音声メッセージを設定します。
プレフィックス電話番号	プッシュボタンにより入力された番号の前に付加する番号を設定します。
入力案内メッセージ	プッシュボタンによる電話番号の入力を発信者に促すために再生する音声メッセージを設定します。
入力待ち時間	入力案内メッセージの送出後、1 回目のプッシュボタンが入力されるまでの待ち時間 (秒) を設定します。 0 ～ 10 の値が設定できます。(※ 1)
入力桁数	プッシュボタンによる電話番号の入力桁数を設定します。 桁数は、1 ～ 20 で設定します。
入力確定番号	電話番号の入力確定を示す、プッシュボタンで入力可能な記号を設定します。
入力動作回数	以下の場合での入力の動作を何回まで行うことができるかを設定します (1 回目の入力も含んだ回数です)。 ・ プッシュボタンによる入力が入力待ち時間の間になかった場合 ・ 桁数不一致の場合 ・ 入力された番号が呼出先電話番号として登録されていない場合 この場合、入力案内メッセージの再生から繰り返します。 回数は、1 ～ 9 で設定します。
未入力時転送先	プッシュボタンによる入力がなく、リトライオーバーした場合の呼出先を設定します (実際の呼び出し先は、この設定の前に「プレフィックス電話番号」が付加されたものになります)。
呼出案内メッセージ	下位端末を呼び出している間に発信者に対して再生する音声メッセージを設定します。
呼出時間	下位端末が応答するまで待つ時間 (秒) を設定します。 0 ～ 1500 の値が設定できます。(※ 2, 3)
未応答時保留設定	呼出時間を経過しても下位端末が応答しなかった場合の保留動作を選択します。(※ 2, 3)
繰り返し回数 (注)	下位端末が話中の場合に呼出動作を行う回数を設定します。回数をオーバーした場合は透過呼出します。(※ 4) 回数は、1 ～ 5 で設定します。(※ 5)
繰り返しメッセージ	呼出を繰り返す場合に発信者に対して再生する音声メッセージを設定します。
繰り返し終了メッセージ	繰り返しリトライオーバー時に発信者に対して再生する音声メッセージを設定します。

- ※ 1 2 回目以降のプッシュボタンは 5 秒以内に入力してください。
(2 回目以降のプッシュボタンの入力待ち時間は 5 秒固定です)
- ※ 2 下位端末の条件により一定時間経過すると呼び出しが中断され、設定した時間まで呼び出さないことがあります。
- ※ 3 未応答時保留設定をしていても、呼出時間が「0」の場合は呼び出し先が応答するまで呼び続けます。ただし、条件により※ 2 の動作になる場合があります。
- ※ 4 繰り返し終了メッセージが設定されている場合は、回数をオーバーした際にメッセージが再生されて透過呼出されます。
- ※ 5 繰り返し回数は、初回の呼出動作の回数が含まれます。設定値が「1」の場合、転送先が話中等で呼び出しに失敗した際に繰り返すことなく透過呼出 (繰り返し終了) となります。
- (注) 実際に呼出動作を繰り返す回数は、「(繰り返し回数) - 1」回になります。

ダイレクト転送時の注意点

- “入力案内メッセージ” は必ず設定してください。
- “入力案内メッセージ” の送出後に電話番号 (内線番号) が入力されない場合、“未入力時転送先” に設定した番号に“プレフィックス電話番号 (付加する電話番号)” を付与して転送先を呼び出します。
“プレフィックス電話番号 (付加する電話番号)” を考慮した電話番号を登録してください。

【ダイレクト転送編集】画面例

ダイレクト転送>編集	
番号	0
名称	ダイレクト転送0
挨拶メッセージ	9 009.DAT 初報メッセージ
プレフィックス電話番号(付加する電話番号)	038888
入力案内メッセージ	10 010.DAT 入力案内メッセージ
入力待ち時間 (秒)	5
入力桁数	4
入力確定番号	*
入力動作回数 (入力応答動作繰り返し)	2
未入力時転送先	7 2001 代表番号 (4桁)
呼出案内メッセージ	11 011.DAT 呼出案内メッセージ
呼出時間 (秒)	1500

必ず設定してください。

◆ 端末呼出

項目	内容
番号	通し番号として 0 ～ 99 の値が設定できます。
名称	任意の名称を登録します。
呼出前メッセージ	下位端末呼出前に再生する音声メッセージを設定します。設定しない場合はメッセージを送出せずに下位端末を呼び出します。
呼出先電話番号	下位端末呼出に着信電話番号として使用する呼出先電話番号を設定します。設定しない場合はひかり電話からの着信電話番号を使用します。
呼出時間	下位端末が応答するまでの待ち時間（秒）を設定します。※ 1 ～ 1500 の値が設定できます。
未応答時動作	呼出時間を経過しても下位端末が応答しなかった場合の動作を選択します。 選択肢は「保留」「再生 & 切断」「用件録音」「外線転送」「切断」です。 「保留」「外線転送」「用件録音」を選択した場合はパラメータとしてそれぞれの動作モードの番号を設定します。 「再生 & 切断」を選択した場合は再生する音声メッセージを設定します。
通話不可時動作	接続障害などで下位端末が通話不可時の動作を選択します。 選択肢は「再生 & 切断」「用件録音」「外線転送」「切断」です。 「外線転送」「用件録音」を選択した場合はパラメータとしてそれぞれの動作モードの番号を設定します。 「再生 & 切断」を選択した場合は再生する音声メッセージを設定します。

※ 下位端末の条件により一定時間経過すると呼び出しが中断され、設定した時間まで呼び出さないことがあります。

◆ ツリー転送

項目	内容
番号	通し番号として 0 ～ 99 の値が設定できます。
名称	任意の名称を登録します。
ベル中呼出	転送動作前に下位端末を呼び出す場合に、チェックを付けます。呼び出した下位端末が応答した場合、発信者と下位端末を接続します。 呼び出し時間内に下位端末が応答しなかった場合には本装置が応答してプッシュボタンの受付を開始します。（※ 1）
ベル中呼出先	ベル中呼出で呼び出す電話番号を呼出先電話番号から設定します。
挨拶メッセージ	応答後に最初に再生する音声メッセージを設定します。
総合案内メッセージ	挨拶メッセージの後に再生する音声メッセージを設定します。
入力待ち時間	プッシュボタン入力待ち時間（秒）を設定します。 0 ～ 10 の値が設定できます。
メッセージ繰り返し信号	階層案内メッセージの繰り返しを指示する信号を「0/ # / *」で指定します。
階層戻し信号	一つ前の階層へ戻ることを指示する信号を「0/ # / *」で指定します。
入力動作回数	プッシュボタンによる入力が入力待ち時間の間になかった場合に、入力の動作を何回まで行うことができるかを設定します（1 回目の入力も含みます）。 階層案内メッセージの再生から繰り返します。 回数は、1 ～ 9 で設定します。
未選択時の端末呼出番号	プッシュボタンによる入力がなく、リトライオーバーした場合の呼出先を設定します。 未設定の場合、透過呼出になります。
階層 1	応答してから最初に実行する階層の指定です。 後続で記述するツリー階層設定のうち、階層番号 1 の設定から選択します。

※ 1 呼び出し時間は「スケジュールの追加」（49 ページ）における設定項目「待機時間」になります。

事前準備

ツリー階層設定の各種パラメータを次の項目で設定します。

項目	内容
階層番号	ツリーの階層番号です。1～3の値が設定できます。
名称	任意の名称を登録します。
案内メッセージ	階層を移った場合に再生する音声メッセージを設定します。各プッシュボタンに対応する呼出先などを案内します。
案内メッセージ 繰り返し回数 (注)	案内メッセージの再生回数を設定します。 回数は1～8の値が設定できます。(※2)
選択信号	各プッシュボタン1～9に対応する動作として、「動作モード」と「パラメータ」を設定します。
動作モード	有効にしたい選択信号のみ、対応する動作モードを設定します。無効とする選択信号には、設定の必要はありません。 また、階層番号が3の場合は「階層」は選択できません。
パラメータ	動作モードで「再生&切断」「再生&呼出」を選択した場合は再生する音声メッセージを設定します。 「外線転送」「端末呼出」「用件録音」を選択した場合はパラメータとしてそれぞれの動作モードの番号を設定します。 「階層」を選択した場合は次の階層のツリー設定を設定します。

※2 回数は、初回の案内メッセージの再生回数が含まれます。設定値が“1”の場合、案内メッセージを繰り返すことなく1回再生されます。
(注) 実際に案内メッセージを繰り返す回数は、「(設定値) - 1」回になります。

◆ 保留

項目	内容
番号	通し番号として0～99の値が設定できます。
名称	任意の名称を登録します。
お待たせ第1 メッセージ	保留開始時に最初に再生する音声メッセージを設定します。
保留音	保留音として再生する音声メッセージまたはシステム保留音(※)を設定します。
お待たせ第2 メッセージ	保留音の間に再生する音声メッセージを設定します。
保留音再生回数	お待たせ第2メッセージ間の保留音再生回数を設定します。 回数は、1～10で設定します。 (例) “3”を指定すると、「保留音を3回再生し、お待たせ第2メッセージを1回再生」を繰り返します。
最大保留時間	最大保留時間(分)を「5/10/15/20/25」から選択します。

※ あらかじめ本装置に登録してある保留音(8秒)

ツリー転送時の注意点

- “案内メッセージ”は必ず設定してください。
- “案内メッセージ繰り返し回数”は1～8で設定してください。

【ツリー転送ツリー編集】画面例



- ツリー転送で階層を設定するときは、下位の階層から設定するとスムーズに設定できます。
(第1階層の設定で第2階層が必要になるため)

ツリー転送>ツリー

No.	階層番号	名称
☐	1	1 階層なし
☐	2	1 階層1
☐	3	2 階層2
☐	4	3 階層3

「階層3→階層2→階層1」の順に登録

● スケジュールの追加

指定したグループに対して動作条件を追加します。

1. [追加] ボタンをクリックします。

・【グループ追加】画面が表示されます。

2. 各種情報を入力して [登録] ボタンをクリックします。

各情報を入力します。

・スケジュールが追加されます。

◆ 設定項目

項目	内容
非通知	「全ての非通知 / 公衆電話以外」から指定します。
種別 (※ 1)	日付の種別を「曜日 / 祝日 / 特定日」から指定します。
特定日	種別が「特定日」の場合、このスケジュール設定の対象となる年月日を指定します。
曜日	種別が「曜日」の場合、このスケジュール設定の対象となる曜日を指定します。
開始時刻	対象となる開始時刻を設定します。
終了時刻	対象となる終了時刻を設定します。
チャンネル制限	同時接続数の上限を設定します。
待機時間	本装置が応答するまでの待機時間を設定します。1～60/なし(ブランク)の値が設定できます。(※ 2) 動作モードが「ツリー転送」でベル中呼出の設定にチェックが入っている場合は、ベル中呼出時間となります。
動作モード	スケジュール設定が選択された場合の動作モードを設定します。
パラメータ	動作モードで「再生&切断」「再生&呼出」の場合は再生する音声メッセージを設定します。「外線転送」「端末呼出」「ダイレクト転送」「ツリー転送」「用件録音」を選択した場合はそれぞれの動作モードの番号を設定します。

※ 1 優先順位は「特定日>祝日>曜日」です。

※ 2 待機中は発信者に対してリングバックトーンが送出されます。

ワンポイント

- スケジュールの曜日は重複して登録できます。このときの優先順位は、「期間が短い>期間が長い」です。
(例)「種別：曜日、曜日：月>種別：曜日、曜日：月～金」

● スケジュールの編集

1. 【スケジュール】画面で編集対象のスケジュールをクリックして、[編集] ボタンをクリックします。

スケジュールをクリックして選択します。

・【スケジュール編集】画面が表示されます。

2. 必要な情報を編集して [登録] ボタンをクリックします。

必要な情報を編集します。

・スケジュールが編集されます。

● スケジュールの削除

1. 削除対象のスケジュールのチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。

クリックしてチェックを付けます。

※ 複数のグループのチェックボックスにチェックをつけることができます。

・削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

クリックします。

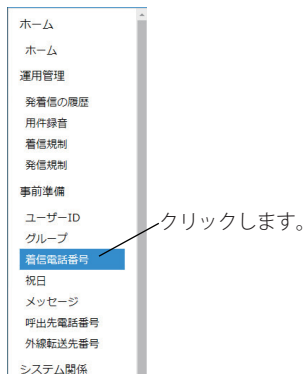
・対象のスケジュールが削除されます。

3. 着信電話番号

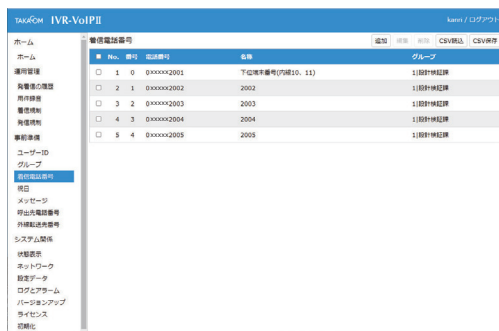
お客様から着信ができる電話番号を、着信電話番号として最大 100 件まで登録できます。電話番号は半角数字で入力してください。

■【着信電話番号】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「事前準備－着信電話番号」をクリックします。



- ・【着信電話番号】画面が表示されます。
- 【着信電話番号】画面

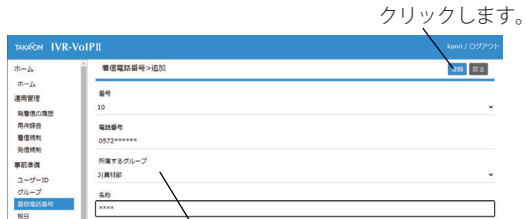


■ 着信電話番号の追加

1. 【着信電話番号】画面で [追加] ボタンをクリックします。
クリックします。



- ・【着信電話番号追加】画面が表示されます。
2. 各種の情報を入力して [登録] ボタンをクリックします。
クリックします。



各情報を入力します。

- ※ 電話番号は、半角数字で 10 ～ 20 文字まで入力できます。
- ※ 名称は、最大 30 文字まで入力できます。
- ・着信電話番号が追加されます。

■ 着信電話番号の編集

1. 【着信電話番号】画面で編集対象の電話番号をクリックして、[編集] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・【着信電話番号編集】画面が表示されます。
2. 必要な情報を編集して [登録] ボタンをクリックします。



必要な情報を編集します。

- ・着信電話番号が編集されます。

ワンポイント

- 通話録音ライセンスを購入している場合は、【着信電話番号編集】画面および【着信電話番号追加】画面において、通話録音項目が表示され、「する／しない」が選択できます。



- 発信、および着信時の自番号が対象となります。

■ 着信電話番号の削除

1. 削除対象の着信電話番号のチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



- ※ 複数の着信電話番号のチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・削除確認画面が表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。



- ・対象の着信電話番号が削除されます。

ワンポイント

- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべての着信電話番号のチェックボックスにチェックが付きます。

クリックするとすべての着信電話番号が対象になります。

✓	No.	番号	電話番号
☒	1	0	0xxxxx2001
☒	2	1	0xxxxx2002
☒	3	2	0xxxxx2003
☒	4	3	0xxxxx2004
☒	5	4	0xxxxx2005

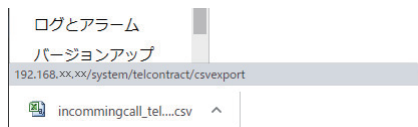
■ 着信電話番号のエクスポート

登録済みの着信電話番号をクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに CSV ファイル形式でエクスポートすることができます。

1. 【着信電話番号】画面で [CSV 保存] ボタンをクリックします。

発信電話番号					追加	編集	CSV出力	CSV保存
☐	No.	番号	通話番号	通話設定	名称	グループ		
☐	1	0	0xxxxxx2001	する	下位端末番号(内線10、11)	1)設計検証課		
☐	2	1	0xxxxxx2002	する	2002	1)設計検証課		
☐	3	2	0xxxxxx2003	しない	2003	1)設計検証課		
☐	4	3	0xxxxxx2004	する	2004	1)設計検証課		
☐	5	4	0xxxxxx2005	する	2005	1)設計検証課		
☐	6	6	0xxxxxx0200	する	代表	5)未設定番号		
☐	7	7	0xxxxxx0354	する	商品企画部	6)商品企画部		
☐	8	10	0xxxxxx0011111	しない	き1	6)商品企画部		

- ・ファイルが保存されます。



2. メモ帳などでファイルが編集できます。

incomingcall_telnumbers_20201020.csv - メモ帳

ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```

1,0,0xxxxx2001,下位端末番号(内線10、11),1
1,1,0xxxxx2002,2002,1
1,2,0xxxxx2003,2003,0
1,3,0xxxxx2004,2004,1
1,4,0xxxxx2005,2005,1
5,6,0xxxxx0200,代表,1
6,7,0xxxxx0354,商品企画,1
6,10,0xxxxx001111,き1,0
  
```

グループ 番号 電話番号 名称 通話録音 (0: しない、1: する)

※ 編集したファイルを保存する場合は Shift_JIS で保存してください。
保存方法については「6. 呼出先電話番号 ファイルを編集する場合」(58 ページ) を参考にしてください。

STOP お願い

- エクスポートした CSV ファイルを編集する場合は、次のことにご注意ください。
 - ① 文字コードは Shift_JIS を使用してください。
 - ② 電話番号・名称に以下の文字は使用できません。
「,」(カンマ)、「|」(シングルクォーテーション)、「"」(ダブルクォーテーション)、「¥」(円マーク)

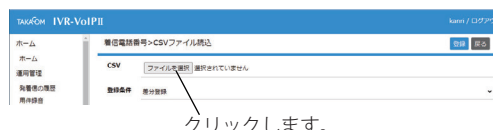
■ 着信電話番号のインポート

エクスポートされた着信電話番号に追加や変更を行った CSV ファイルをインポートすることができます。

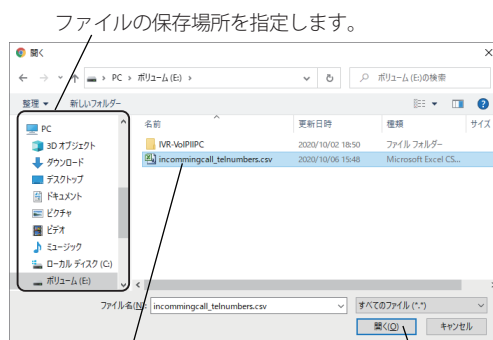
1. 【着信電話番号】画面で [CSV 読み込み] ボタンをクリックします。

番号電話番号				追加	削除	印刷	CSV出力	CSV入力
■	No.	内線	電話番号	名称	グループ			
☐	1	0	0xxxxx2001	下位端末番号(内線10、11)	1)設計検証課			
☐	2	1	0xxxxx2002	2002	1)設計検証課			
☐	3	2	0xxxxx2003	2003	1)設計検証課			
☐	4	3	0xxxxx2004	2004	1)設計検証課			
☐	5	4	0xxxxx2005	2005	1)設計検証課			

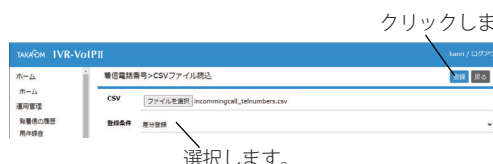
- ・【着信電話番号 CSV ファイル読み込み】画面が表示されます。
2. [ファイルを選択] ボタンをクリックします。



- ・ファイル選択画面が表示されます。
3. インポートするファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。



- ・ファイルを選択します。
4. 登録条件を「差分登録 / 全件登録」から選択して、[登録] ボタンをクリックします。



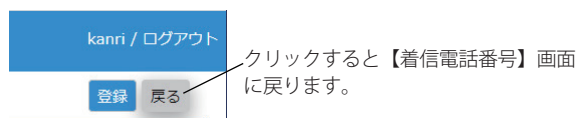
- ・【着信電話番号】画面が表示されます。

STOP お願い

- 環境依存文字を使用した CSV ファイルをインポートしないでください。本装置が認識する文字は Shift_JIS です。

ワンポイント

- 【着信電話番号】画面における [追加] ボタンなどをクリックした際の各種画面において、[戻る] ボタンをクリックすると、【着信電話番号】画面に戻ります。

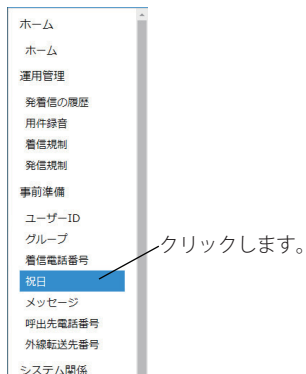


4. 祝日

国民の祝日に専用のスケジュールで運用するときは、「祝日」を設定します。祝日は年月日を指定して登録してください。

■【祝日】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「事前準備→祝日」をクリックします。



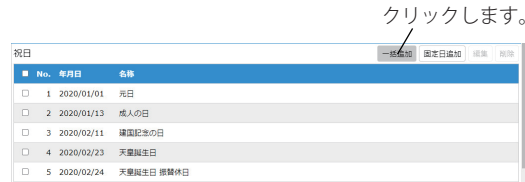
- ・【祝日】画面が表示されます。



■祝日の一括追加

【一括追加】画面において、3 年分の祝日データが登録できます。作業日を含む年からの 3 年分のデータを修正して登録してください。

1. 【祝日】画面で [一括追加] ボタンをクリックします。



- ・【祝日一括追加】画面が表示されます。

2. 「年月日」や「名称」を編集して [登録] ボタンをクリックします。



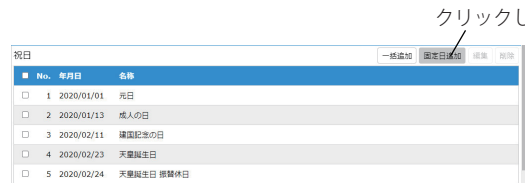
各情報を入力します。

- ・祝日が登録されます。

■祝日の固定日追加

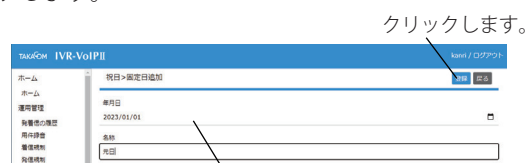
会社の創立記念日など、通年で独自の祝日が登録できます。

1. 【祝日】画面で [固定日追加] ボタンをクリックします。



- ・【祝日固定日追加】画面が表示されます。

2. 「年月日」や「名称」を入力して [登録] ボタンをクリックします。



各情報を入力します。

- ※ 名称は、最大 30 文字まで入力できます。

- ・祝日が登録されます。

ワンポイント

- 年月日を修正する場合、カレンダーアイコン（📅）をクリックして表示されるカレンダーから指定することもできます。

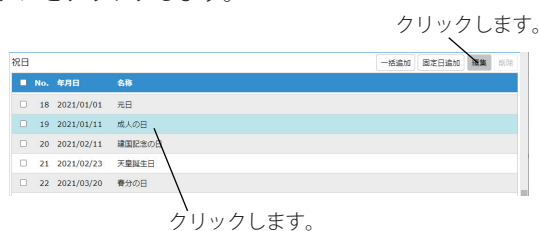


日付をクリックして指定します。

■ 祝日の編集

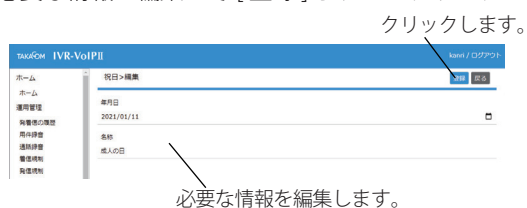
法改正により祝日が変わる場合は、個別に修正します。

1. 【祝日】画面で編集対象の祝日をクリックして、[編集] ボタンをクリックします。



- ・【祝日編集】画面が表示されます。

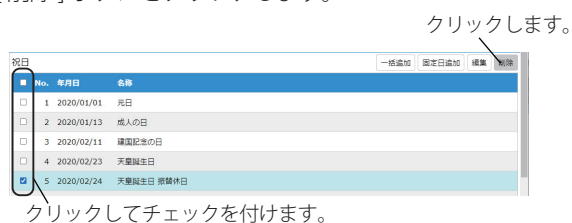
2. 必要な情報を編集して [登録] ボタンをクリックします。



- ・祝日が編集されます。

■ 祝日の削除

1. 削除対象の祝日のチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



- ※ 複数の祝日のチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



- ・対象の祝日が削除されます。

ワンポイント

- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべての祝日のチェックボックスにチェックが付き、クリックするとすべての祝日が対象になります。



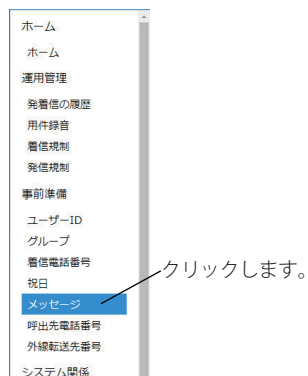
5. メッセージ

お客様からの電話着信時に案内する挨拶用・転送用などの各種メッセージを最大 100 件まで登録できます。各種メッセージについては音声編集ソフトで作成します。事前に各種メッセージ（※）を作成してください。作成方法については「第 2 章 データ編 メッセージを編集する」（30 ページ）を参照してください。

※ 音声編集ソフトで作成したメッセージの大きさ（音量）だけは、作成された値ではなく本装置で一定レベルに自動的に変換されて送出されます。

■【メッセージ】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「事前準備－メッセージ」をクリックします。



・【メッセージ】画面が表示されます。

【メッセージ】画面



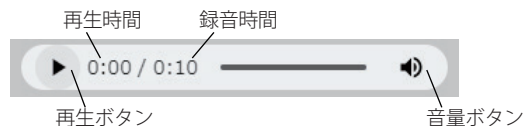
■再生ボックスについて

【メッセージ】画面において、メッセージをクリックして選択するとメッセージの再生ボックスが有効になります。

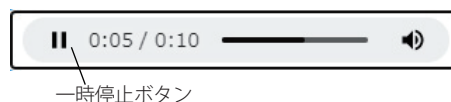


クリックして選択します。

【停止中の再生ボックス】

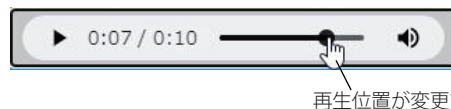


【再生中の再生ボックス】



ワンポイント

- 再生ボックスにカーソルをのせると、再生位置が表示されます。この再生位置をドラッグして任意の場所から再生できます。



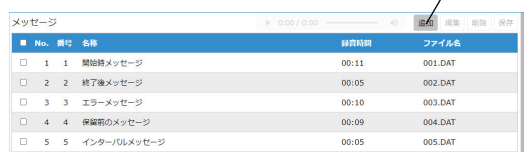
- 音量ボタンにカーソルをのせると、音量バーが表示され、音量バーにカーソルを乗せると音量レベルが表示されます。



■メッセージの追加

1. 【メッセージ】画面で[追加] ボタンをクリックします。

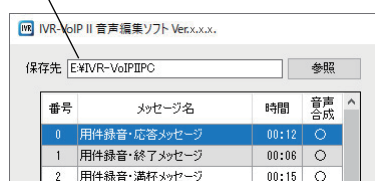
クリックします。



・【メッセージ追加】画面が表示されます。

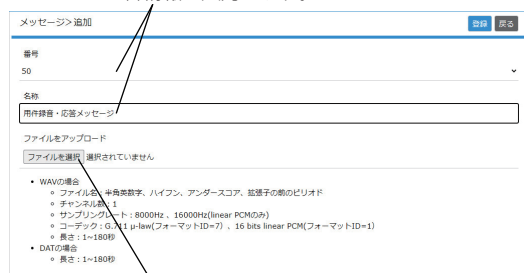
2. 事前にクライアント PC にインストールされた音声編集ソフトで作成されたメッセージの保存フォルダを確認します。

確認します。



3. 「番号」や「名称」を入力して、[ファイルを選択] ボタンをクリックします。

各情報を入力します。

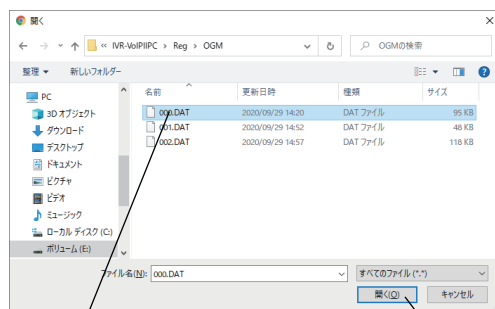


クリックします。

※ 名称は、最大 30 文字まで入力できます。

・ファイルの選択画面が表示されます。

4. 手順 2 で確認したフォルダ配下の「¥Reg¥OGM」フォルダ内に格納されている対象の「xxx.DAT」ファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。



対象のメッセージを選択します。

クリックします。

※ ファイル名に使用できる文字は、英数字・ハイフン・ピリオド・アンダースコアです。

・【メッセージ追加】画面が表示されます。

5. [登録] ボタンをクリックします。

クリックします。



・【メッセージ】画面が表示されます。

6. 【メッセージ】画面で追加したメッセージをクリックします。

再生ボックスが有効になります。



クリックします。

・再生ボックスが有効になります。

7. [再生] ボタンをクリックして音声を確認します。



クリックして確認します。

ワンポイント

- [ファイルを選択] ボタンをクリックして直接 wav ファイルが指定できます。ファイル名やサンプリングレートなどに注意してください。

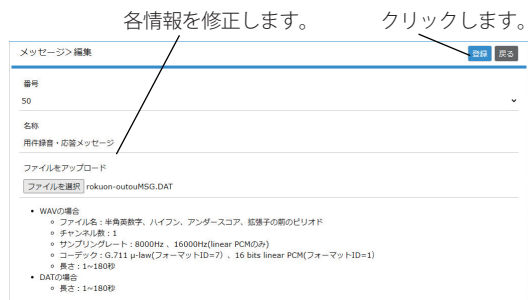
事前準備

■ メッセージの編集

1. 【メッセージ】画面で編集対象のメッセージを選択して、[編集] ボタンをクリックします。



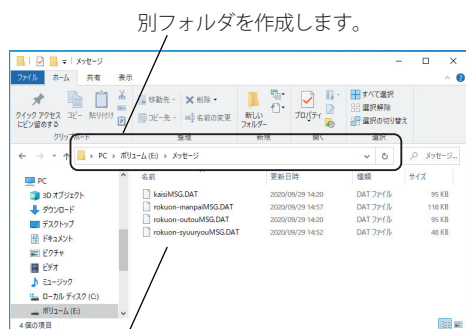
- ・【メッセージ編集】画面が表示されます。
2. 内容を修正して、[登録] ボタンをクリックします。
- ※ ファイル名に使用できる文字は、英数字・ハイフン・ピリオド・アンダースコアです。



- ・【メッセージ】画面が表示されます。
- ※ メッセージの録音時間が長い別ファイルに変更した場合、メッセージボックスの録音時間が即時に更新されない場合があります。このときは、一度ログアウトした後に再度ログインすることで、録音時間が更新される場合があります。

STOP お願い

- 音声編集ソフトで作成されたメッセージのファイル名は変更しないでください。メッセージのファイル名を変更する必要がある場合は、エクスプローラー等でメッセージファイルを別のフォルダにコピーしたあとに、コピー後のファイルのファイル名を変更してください。



ファイルをコピーしてメッセージ名を変更します。

■ メッセージの削除

1. 削除対象のメッセージのチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

- ※ 複数のメッセージのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



- ・対象のメッセージが削除されます。

■ メッセージの保存

本装置にアップロードしているメッセージをクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに保存することができます。

1. 保存対象のメッセージのチェックボックスにチェックを付けて、[保存] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

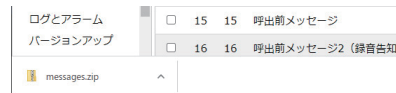
- ※ 複数のメッセージのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・保存確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



- ・ファイルが圧縮形式で保存されます。



ワンポイント

- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべてのメッセージのチェックボックスにチェックが付きます。

クリックするとすべてのメッセージが対象になります。

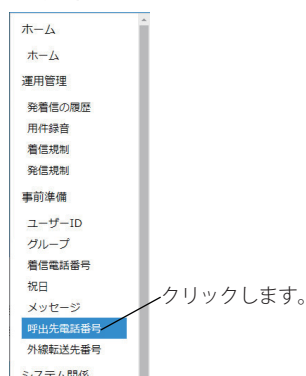


6. 呼出先電話番号

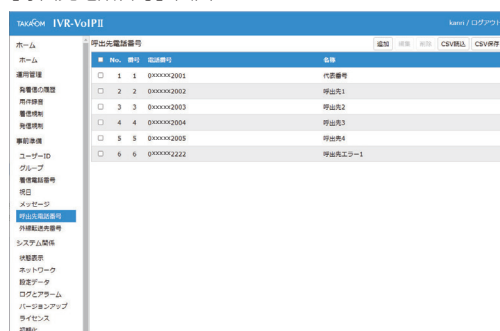
呼出先の電話番号を、呼出先電話番号として最大 100 件まで登録できます。電話番号は半角数字で入力してください。

■【呼出先電話番号】画面の表示

- WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
- 【メニュー】画面の管理メニューから、「事前準備→呼出先電話番号」をクリックします。



- ・【呼出先電話番号】画面が表示されます。
- 【呼出先電話番号】画面

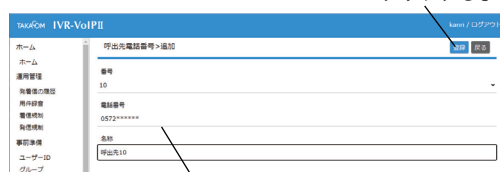


■呼出先電話番号の追加

- 【呼出先電話番号】画面で [追加] ボタンをクリックします。



- ・【呼出先電話番号追加】画面が表示されます。
- 各種の情報を入力して [登録] ボタンをクリックします。



- ・各情報を入力します。
- ・呼出先電話番号が追加されます。

■呼出先電話番号の編集

- 【呼出先電話番号】画面で編集対象の電話番号をクリックして、[編集] ボタンをクリックします。



- ・【呼出先電話番号編集】画面が表示されます。
- 必要な情報を編集して [登録] ボタンをクリックします。



- ・呼出先電話番号が編集されます。

■呼出先電話番号の削除

- 削除対象の呼出先電話番号のチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



- ※ 複数の呼出先電話番号のチェックボックスにチェックをつけることができます。
 - ・削除確認画面が表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。



- ・対象の呼出先電話番号が削除されます。

ワンポイント

- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべての呼出先電話番号のチェックボックスにチェックが付きます。
クリックするとすべての呼出先電話番号が対象になります。



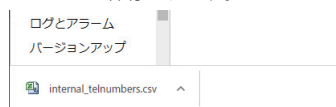
■ 呼出先電話番号のエクスポート

登録済みの呼出先電話番号をクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに CSV ファイル形式でエクスポートすることができます。

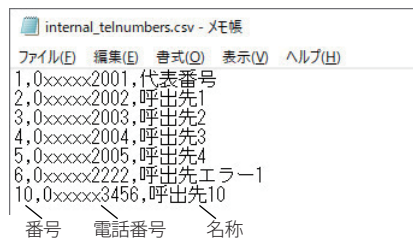
1. 【呼出先電話番号】画面で [CSV 保存] ボタンをクリックします。



- ・ファイルが保存されます。



2. メモ帳などでファイルが編集できます。



STOP お願い

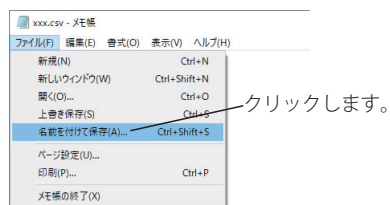
- エクスポートした CSV ファイルを編集する場合は、次のことにご注意ください。

- ① 文字コードは Shift_JIS を使用してください。
- ② 電話番号・名称に以下の文字は使用できません。
「,」(カンマ)、「'」(シングルクォーテーション)、「"」(ダブルクォーテーション)、「¥」(円マーク)

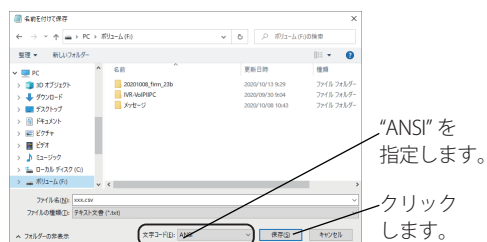
● ファイルを編集する場合

文字コードを Shift_JIS で保存するため次のように保存してください。

- ① メモ帳のツールバーから「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックします。



- ② 文字コードに「ANSI」を指定して [保存] ボタンをクリックします。



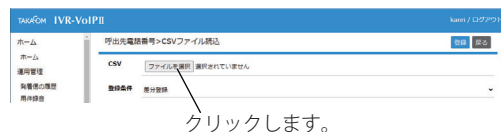
■ 呼出先電話番号のインポート

エクスポートされた呼出先電話番号に追加や変更を行った CSV ファイルをインポートすることができます。

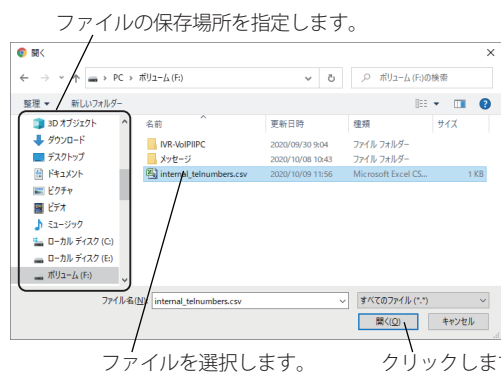
1. 【呼出先電話番号】画面で [CSV 読込] ボタンをクリックします。



- ・【呼出先電話番号 CSV ファイル読込】画面が表示されます。
2. [ファイルを選択] ボタンをクリックします。



- ・ファイル選択画面が表示されます。
3. インポートするファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。



- ・ファイルを選択します。
4. 登録条件を「差分登録 / 全件登録」から選択して、[登録] ボタンをクリックします。



- ・【呼出先電話番号】画面が表示されます。

STOP お願い

- 環境依存文字を使用した CSV ファイルをインポートしないでください。本装置が認識する文字は Shift_JIS です。

ワンポイント

- 【呼出先電話番号】画面における [追加] ボタンなどをクリックした際の各種画面において、[戻る] ボタンをクリックすると、【呼出先電話番号】画面に戻ります。

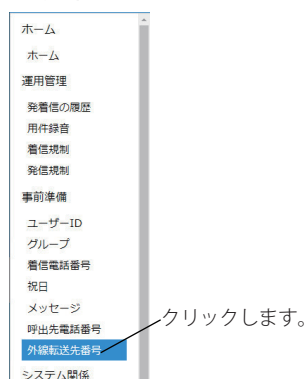


7. 外線転送先番号

外線転送先の電話番号を最大 100 件まで登録できます。電話番号は半角数字で入力してください。

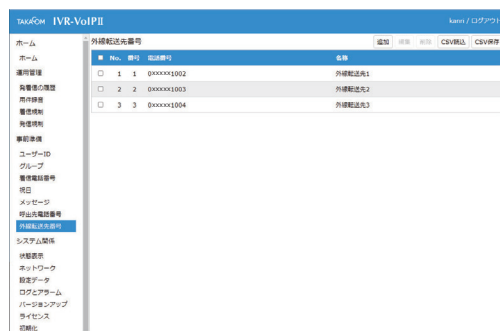
■【外線転送先番号】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「事前準備→外線転送先番号」をクリックします。



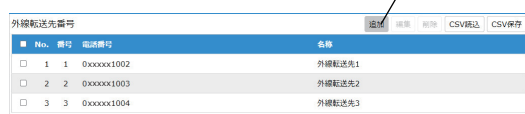
- ・【外線転送先番号】画面が表示されます。

【外線転送先番号】画面



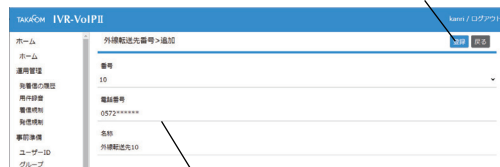
■外線転送先番号の追加

1. 【外線転送先番号】画面で [追加] ボタンをクリックします。
クリックします。



- ・【外線転送先番号追加】画面が表示されます。

2. 各種の情報を入力して [登録] ボタンをクリックします。
クリックします。



- ・外線転送先番号が追加されます。

■外線転送先番号の編集

1. 【外線転送先番号】画面で編集対象の電話番号をクリックして、[編集] ボタンをクリックします。



- ・【外線転送先番号編集】画面が表示されます。
2. 必要な情報を編集して [登録] ボタンをクリックします。
クリックします。



- ・外線転送先番号が編集されます。

■外線転送先番号の削除

1. 削除対象の外線転送先番号のチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



- ※ 複数の外線転送先番号のチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・削除確認画面が表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。



- ・対象の外線転送先番号が削除されます。

ワンポイント

- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべての外線転送先番号のチェックボックスにチェックが付きます。
クリックするとすべての外線転送先番号が対象になります。



■ 外線転送先番号のエクスポート

登録済みの外線転送先番号をクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに CSV ファイル形式でエクスポートすることができます。

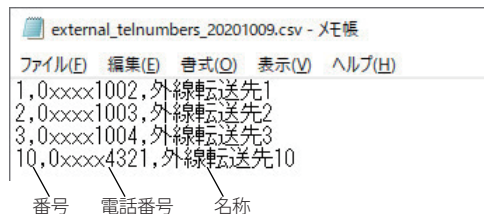
1. 【外線転送先番号】画面で [CSV 保存] ボタンをクリックします。



- ・ファイルが保存されます。



2. メモ帳などでファイルが編集できます。



STOP お願い

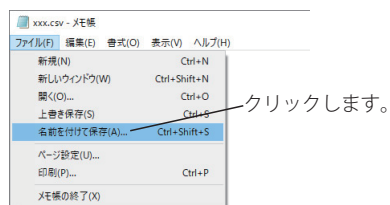
- エクスポートした CSV ファイルを編集する場合は、次のことにご注意ください。

- ① 文字コードは Shift_JIS を使用してください。
- ② 電話番号・名称に以下の文字は使用できません。
「,」(カンマ)、「'」(シングルクォーテーション)、「"」(ダブルクォーテーション)、「¥」(円マーク)

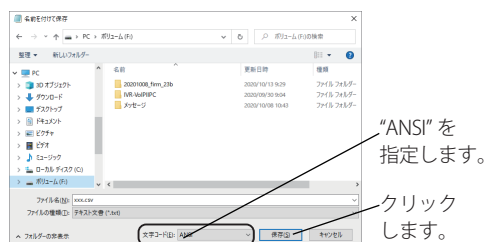
● ファイルを編集する場合

文字コードを Shift_JIS で保存するため次のように保存してください。

- ① メモ帳のツールバーから「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックします。



- ② 文字コードに「ANSI」を指定して [保存] ボタンをクリックします。



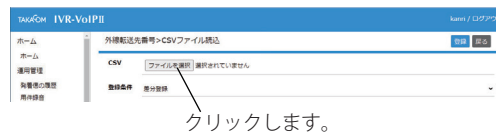
■ 外線転送先番号のインポート

エクスポートされた外線転送先番号に追加や変更を行った CSV ファイルをインポートすることができます。

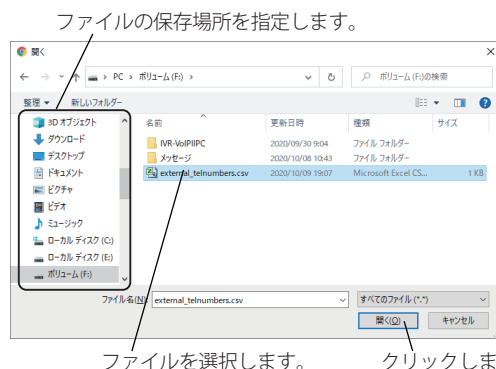
1. 【外線転送先番号】画面で [CSV 読み込み] ボタンをクリックします。



- ・【外線転送先番号 CSV ファイル読み込み】画面が表示されます。
2. [ファイルを選択] ボタンをクリックします。



- ・ファイル選択画面が表示されます。
3. インポートするファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。



- ・登録条件を「差分登録 / 全件登録」から選択して、[登録] ボタンをクリックします。



- ・【外線転送先番号】画面が表示されます。

STOP お願い

- 環境依存文字を使用した CSV ファイルをインポートしないでください。本装置が認識する文字は Shift_JIS です。

ワンポイント

- 【外線転送先番号】画面における [追加] ボタンなどをクリックした際の各種画面において、[戻る] ボタンをクリックすると、【外線転送先番号】画面に戻ります。



× 毛

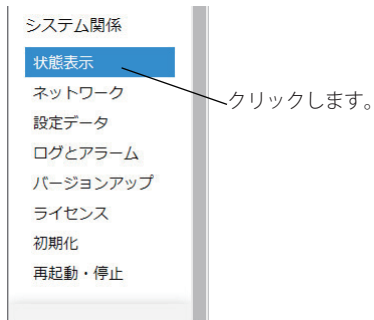
システム関係

1. 状態表示

本装置の回線状態およびシステムの状態が確認できます。

■【状態表示】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
 - ・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係状態表示」をクリックします。



- ・【状態表示】画面が表示されます。

【状態表示】画面



■【状態表示】画面

●システム時刻

本装置（システム）の時刻です。ネットワーク（NTT フレッツ光ネクスト）側から自動的に取得します。

※ 手動での設定はできません。

●ストレージ使用状況

本装置のストレージ（システム用・用件録音用・通話録音用）の使用状況が表示されます。

●ネットワーク状態

LINE（ONU 側）および TERMINAL（下位端末側）、LAN（クライアント PC 側）のリンク状態とリンク速度が表示されます。

●LINE 接続状況

ONU 側の IP アドレスや契約電話番号などの詳細情報が表示されます。

●Terminal 接続状況

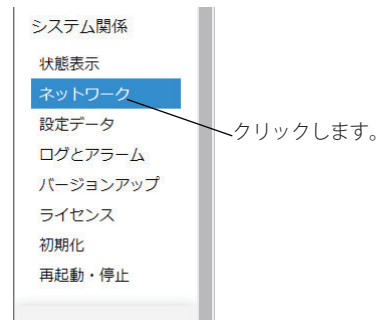
下位端末側の接続状況が表示されます。

2. ネットワーク

本装置の IP アドレスやゲートウェイアドレスなどが設定できます。

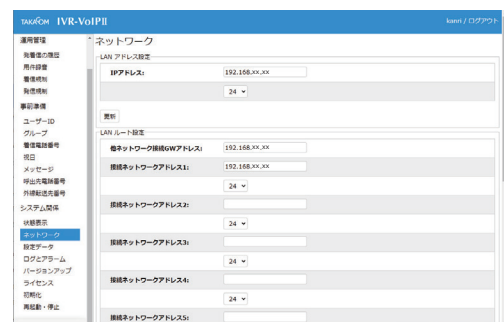
■【ネットワーク】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
 - ・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係ネットワーク」をクリックします。



- ・【ネットワーク】画面が表示されます。

【ネットワーク】画面



■【ネットワーク】画面

●LAN アドレス設定

本装置の IP アドレスを設定します。

●LAN ルート設定

本装置が設定されているネットワークとは別のネットワークから接続する場合、ゲートウェイの IP アドレスと本装置にログインするパソコンのネットワーク IP アドレスを設定します。

・他ネットワーク接続 GW アドレス

他ネットワークに接続するためのゲートウェイの IP アドレスを設定します。

・接続ネットワークアドレス 1～10

ゲートウェイを介して接続するネットワーク IP アドレスを設定します。

※ プライベートアドレス空間のネットワークに限ります。

※ 本装置のネットワークに含まれないアドレスに限ります。

※ ホストアドレスの設定は次ページを参照してください。

＜「接続ネットワークアドレス 1～10」の設定例＞

- ① サブネット プレフィックスの長さ：「24」の場合

接続ネットワークアドレス 1 : 192.168.10.0

ホストアドレス
「0」を設定してください。

- ② サブネット プレフィックスの長さ：「16」の場合

接続ネットワークアドレス 1 : 10.32.0.0

ホストアドレス
「0.0」を設定してください。

- ③ サブネット プレフィックスの長さ：「32」の場合
本装置に接続できるパソコンが限定できます。

接続ネットワークアドレス 1 : 192.168.10.*

ホストアドレス
任意のアドレスを設定してください。

ワンポイント

- 【ネットワーク】画面の設定内容を変更した場合は、必ず[更新]ボタンをクリックしたあとに、通話がない状態で**本装置を再起動してください**。設定内容は再起動後に表示されます。再起動の詳細は「8. 再起動・停止」(67 ページ)を参照してください。

更新

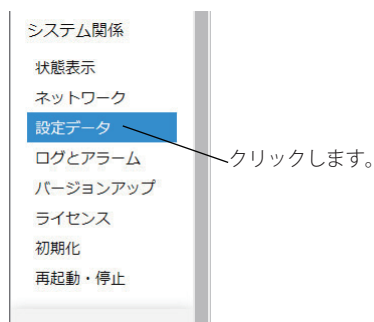
[更新] ボタン

3. 設定データ

本装置の IP アドレスやゲートウェイアドレスなどが設定できます。また、設定データをクライアント PC や USB メモリなどの外部記憶媒体にバックアップデータとして保存したり、バックアップデータを読み込むことができます。

■【設定データ】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
 - ・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係一設定データ」をクリックします。



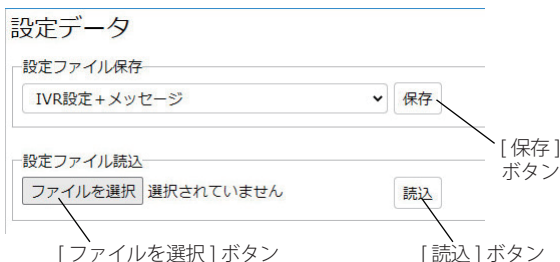
- ・【設定データ】画面が表示されます。
- 【設定データ】画面



ワンポイント

- システムの運用前に、設定データのバックアップとして設定データを保存することを推奨します。

■【設定データ】画面

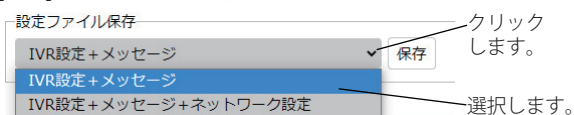


● 設定ファイル保存

保存対象の設定データを選択して保存できます。

- ※ 保存対象：「IVR 設定+メッセージ」
IVR 設定+メッセージ+ネットワーク設定
- ※ 保存項目（管理メニュー）
 - ・ IVR 設定：「運用管理—着信規制／発信規制」
「事前準備—ユーザー ID／グループ／着信電話番号／
祝日／呼出先電話番号／外線転送先番号」
 - ・ メッセージ：「事前準備—メッセージ（名称、ファイル）」
 - ・ ネットワーク設定：「事前準備—ユーザー ID」
「システム関係—ネットワーク」

① [v] をクリックして保存対象を選択します。



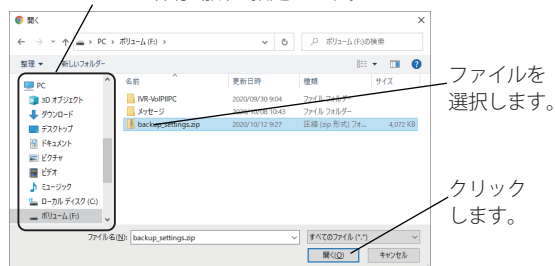
② [保存] ボタンをクリックします。

- ・ 圧縮形式でダウンロードされます。
(ファイル名：backup_settings_ランダムな英数字.zip)

● 設定ファイル読込

バックアップデータとして保存している設定データを本装置に読み込むことができます。

- ① [ファイルを選択] ボタンをクリックします。
- ② ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。
ファイルの保存場所を指定します。



・ 【設定データ】画面が表示されます。

③ [読込] ボタンをクリックします。

- ・ 読込確認画面が表示されます。

④ [OK] ボタンをクリックします。



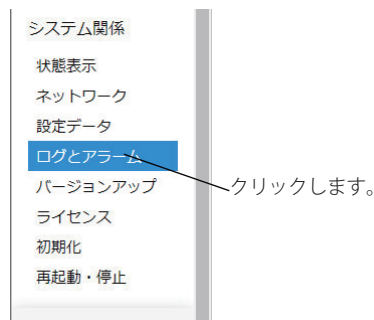
⑤ 設定データが「IVR設定+メッセージ+ネットワーク設定」の場合は、通話がない状態で「8. 再起動・停止」(67ページ)を参照して、本装置を再起動します。

4. ログとアラーム

本装置でアラームが発生したときに、アラームの内容が確認できます。またアラームの解除や本装置の動作ログが保存できます。

■【ログとアラーム】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係—ログとアラーム」をクリックします。



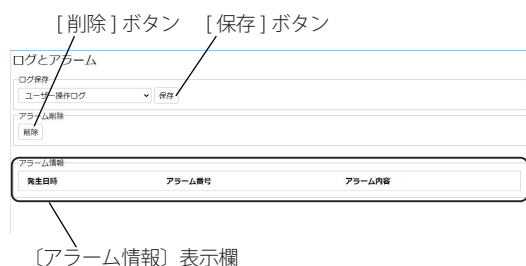
- ・ 【ログとアラーム】画面が表示されます。
【ログとアラーム】画面



ワンポイント

- MR-100VoIP II の場合は、アラーム発生時にディスプレイ画面にアラーム画面が表示されます。

■【ログとアラーム】画面

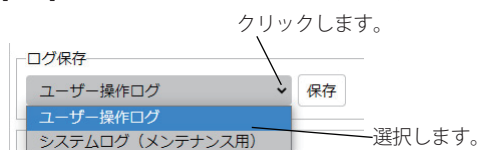


● ログ保存

ログの種類を選択して保存できます。

※ 保存対象：「ユーザー操作ログ/システムログ」

- ① [v] をクリックしてログの種類を選択します。



- ② [保存] ボタンをクリックします。

・圧縮形式でダウンロードされます。

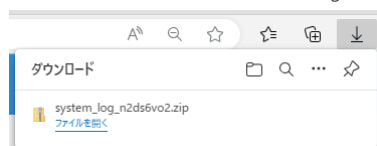
(ファイル名：operation_log_ランダムな英数字.zip)

※ **ダウンロード結果が表示されることを確認してください。ダウンロード結果が表示される前に画面遷移した場合は、ダウンロードが中断される場合があります。**

【ダウンロード結果の例 (Google Chrome)】



【ダウンロード結果の例 (Microsoft Edge)】



ワンポイント

- クライアント PC の性能や本装置との通信環境等により、システムログの保存に時間がかかる場合があります。
- システムログには、パスワードが設定されています。ログの解析やアラームの詳細につきましては、最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

● アラーム削除

[削除] ボタンをクリックすると、表示されているアラーム情報がクリアできます。

【IVR-100VoIP II の場合】

ディスプレイ画面がトップ画面になります。

【IVR-24VoIP II の場合】

ステータスランプが点灯します。

● アラーム情報

【アラーム情報】表示欄にアラーム情報が表示されます。

【アラーム情報】

番号	内容	要因
01	ストレージ使用容量閾値超過	録音ファイルの保存容量オーバー
02	メモリ使用容量閾値超過	使用メモリの閾値オーバー
03	CPU使用率閾値超過	CPU 使用率の閾値オーバー
04	処理遅延による障害発生	内部処理で遅延発生
09	電源異常	UPS の停止

【対処方法】

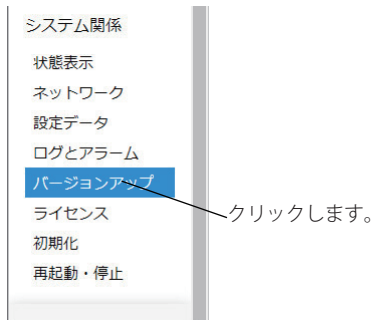
番号	対処方法
01	「運用管理 2. 用件録音 用件録音の削除」(71 ページ) および「運用管理 3. 通話録音 通話録音ファイルの削除」(73 ページ) を参照して不要な録音ファイルや通話録音ファイルを削除してください。
02 03	【ログとアラーム】画面の [削除] ボタンをクリックしてアラーム表示を削除してください。 再度表示される場合は本装置を再起動してください。 再起動しても表示される場合は、最寄りの当社営業所にお問い合わせください。
04	最寄りの当社営業所にお問い合わせください。
09	UPS を起動してください。

5. バージョンアップ

本操作はメンテナンス用です。障害発生時に本装置の更新が必要な場合に操作します。

■【バージョンアップ】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係バージョンアップ」をクリックします。



- ・【バージョンアップ】画面が表示されます。

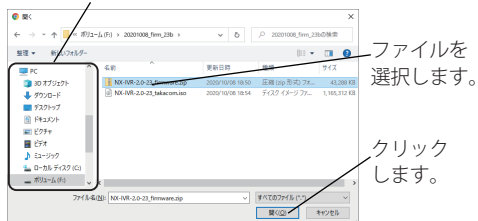


● ファイル読込

バージョンアップファイルを本装置に読み込み、本装置を再起動することで本装置が更新できます。

- ① [ファイルを選択] ボタンをクリックします。
- ② ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。

ファイルの保存場所を指定します。



- ・【バージョンアップ】画面が表示されます。

- ③ [読込] ボタンをクリックします。

- ・読込確認画面が表示されます。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。



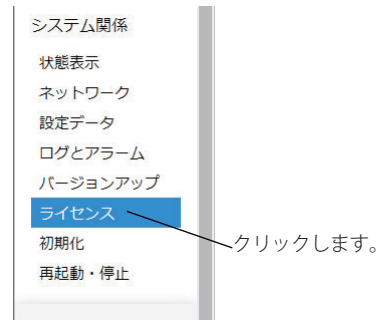
- ⑤ 通話がない状態で「8. 再起動・停止」(67 ページ) を参照して、本装置を再起動します。

6. ライセンス

本操作はメンテナンス用です。本装置に組み込まれたライセンスの確認や更新ができます。

■【ライセンス】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係ライセンス」をクリックします。

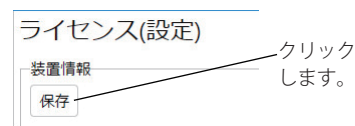


- ・【ライセンス】画面が表示されます。



● 装置情報

[保存] ボタンをクリックして装置情報を保存します。



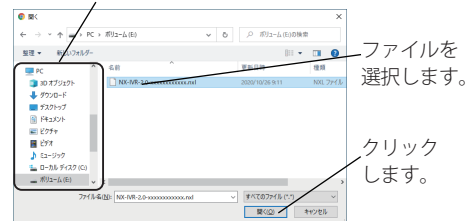
- ・テキスト形式でダウンロードされます。

● ライセンスファイル

選択したライセンスファイルを読み込み、再起動後に適用します。

- ① [ファイルを選択] ボタンをクリックします。
- ② ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。

ファイルの保存場所を指定します。



- ・【ライセンス】画面が表示されます。

- ③ [読込] ボタンをクリックします。

- ・読込確認画面が表示されます。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。



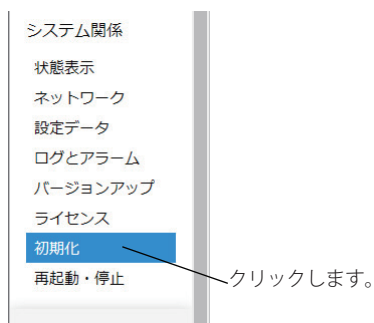
- ⑤ 通話がない状態で「8. 再起動・停止」(67 ページ) を参照して、本装置を再起動します。

7. 初期化

本装置の設定データを初期化します。

■【初期化】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係－初期化」をクリックします。



- ・【初期化】画面が表示されます。

【初期化】画面



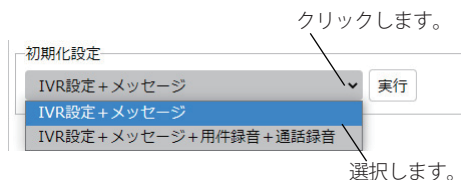
● 初期化設定

初期化対象の設定データを選択して初期化できます。

- ※ 初期化対象：「IVR 設定＋メッセージ／
IVR 設定＋メッセージ＋用件録音＋通話録音」
- ※ 初期化項目（管理メニュー）
 - ・ IVR 設定：「運用管理－着信規制／発信規制」
「事前準備－ユーザー ID（注）／グループ／
着信電話番号／祝日／呼出先電話番号／
外線転送先番号」
 - ・ メッセージ：「事前準備－メッセージ（名称、ファイル）」
 - ・ 用件録音：「運用管理－用件録音」
 - ・ 通話録音：「運用管理－通話録音」

（注）「事前準備－ユーザー ID」は、初期化対象が「IVR 設定＋メッセージ＋用件録音＋通話録音」の場合にのみ初期化されます。
また、初期化後は強制的にログアウトされます。

- ① [v] をクリックして初期化対象を選択します。



- ② [実行] ボタンをクリックします。

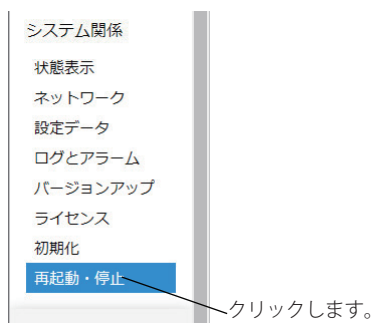
- ・ 初期化対象の設定データが初期化されます。

8. 再起動・停止

本装置を停止したり再起動できます。

■【再起動・停止】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に管理者権限または工事者権限のユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「システム関係－再起動・停止」をクリックします。



- ・【再起動・停止】画面が表示されます。

【再起動・停止】画面



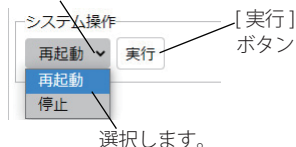
● システム操作

操作内容を選択して再起動や停止ができます。

- ※ 操作内容：「再起動／停止」

- ① [v] をクリックして操作内容を選択します。

クリックします。



- ② [実行] ボタンをクリックします。

- ・ 確認メッセージが表示されます。

- ③ [OK] ボタンをクリックします。

【再起動の場合】



- ・ 本装置が再起動され、約 3 分後にログイン画面が表示されます。

【停止の場合】



- ・ 電源ランプが消灯します。

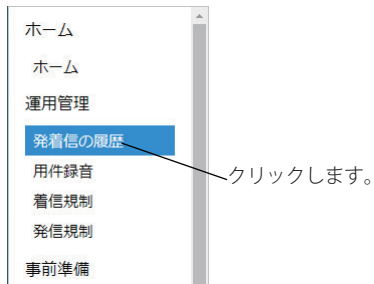
運用管理

1. 発着信の履歴

本装置に対する発着信の情報や相手番号・自番号などの情報を履歴表示します。この履歴表示の中から、検索開始日や終了日、電話番号などの条件を指定して絞り込むことができます。また、発着信履歴を保存する月数を最大 12 か月で指定することができます。

■【発着信履歴】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置にログインします。
 - ・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「運用管理－発着信の履歴」をクリックします。



- ・【発着信履歴】画面が表示されます。

【発着信履歴】画面



ワンポイント

- 【発着信履歴】画面の呼出結果については、次のようになります。

呼出結果	説明
応答	呼出相手が応答して通話が開始された場合
未応答	呼出相手が応答しなかった場合
話中	呼出相手が話中の場合
放棄呼	呼出相手が応答する前に発信側が切断した場合
着信規制	着信規制により通話を切断した場合
発信規制	発信規制により発信を終了した場合
着信数超過	着信数超過した場合
接続異常	下位端末との接続に異常がある場合
* (アスタリスク)	ライセンス不足により着信不可となった場合
切断	動作モード「再生&切断」や「切断」により通話が切断した場合（注1）
用件録音	動作モード「用件録音」により用件録音をした場合（注1）（注2）
呼出不可 / 障害 / (空欄)	本装置の原因により呼出ができなかった場合（注3）

（注1）動作モードの詳細は 8 ページを参照してください。
（注2）録音されていない場合は、「放棄呼」となります。
（注3）多発着の場合は、最寄りの当社営業所へご連絡ください。

■【発着信履歴】画面

●検索

開始日・終了日・発着・電話番号を入力した後に、[検索] ボタンをクリックすると絞り込んで検索された結果が【発着信履歴】画面に表示されます。



※ 電話番号は半角数字で入力してください。全角数字では検索できません。

●故障回復検出

故障回復検出(※)の対象として登録されている電話番号の【発着信履歴】画面への表示有無が選択できます。

※ ひかり電話オフィス A（エース）の「故障・回復通知機能」「一括転送機能」サービスに契約している必要があります。詳細は NTT 窓口にお問い合わせください。



[更新] ボタン

[v] をクリックして表示有無を選択した後に、[更新] ボタンをクリックします。

●発着信履歴保存

発着信履歴を保存する月数が最大 12 か月で登録できます。

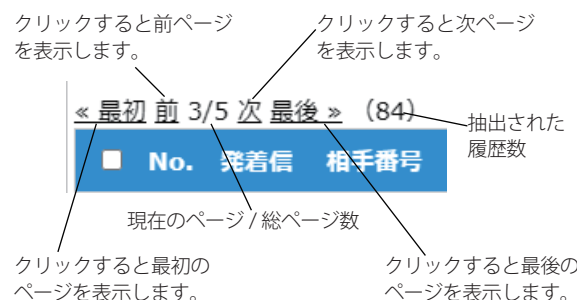


[更新] ボタン

[v] をクリックして月数を選択した後に、[更新] ボタンをクリックします。

■ページの切り替え操作

【発着信履歴】画面には 1 ページ 20 件の発着信情報が表示されます。21 件以上の発着信情報を表示する場合は、分割されたページを切り替えて表示できます。



■ 着信規制登録

【発着信履歴】画面に表示されている履歴から相手番号を着信規制リストに登録することができます。

1. 着信規制の対象とする相手番号の履歴にチェックを付けます。

1/5 次 最後 >> (84)

☐	No.	発着信	相手番号	自番号	発着信日時
☐	1	着信	0xxxxx1001	0xxxxx2001	2020/10/07 20:19:17
☒	2	着信	0xxxxx2001	0xxxxx2001	2020/10/05 18:42:50
☐	3	着信	0xxxxx2001	0xxxxx2001	2020/10/05 18:42:19
☐	4	着信	0xxxxx2001	0xxxxx2001	2020/10/05 18:40:43

クリックしてチェックを付けます。

2. [着信規制登録] ボタンをクリックします。

着信規制登録 発信規制登録 すべて保存 すべて削除

IVR応答日時	通話開始日時	終了日時	呼出結果
		2020/10/07 20:19:17	接続異常
2020/10/05 18:42:55		2020/10/05 18:43:33	放棄呼
2020/10/05 18:42:24		2020/10/05 18:42:42	放棄呼
2020/10/05 18:40:48		2020/10/05 18:41:58	呼出不可

- ・【着信規制】画面が表示されます。「4. 着信規制」(74 ページ)を参照して電話番号を登録してください。

※ 登録する番号は十分な注意をしてください。

STOP お願い

- 着信検索された【発着信履歴】画面において、[発信規制登録] ボタンをクリックしないでください。

■ 発信規制登録

【発着信履歴】画面に表示されている履歴から相手番号を発信規制リストに登録することができます。

1. 発信規制の対象とする相手番号の履歴にチェックを付けます。

1/2 次 最後 >> (39)

☐	No.	発信	相手番号	自番号	発信日時
☐	1	発信	0xxxxx1001	0xxxxx2001	2020/10/05 18:42:50
☒	2	発信	0xxxxx2001	0xxxxx2001	2020/10/05 18:42:19
☐	3	発信	0xxxxx2001	0xxxxx2001	2020/10/05 18:40:43
☐	4	発信	0xxxxx2001	0xxxxx2001	2020/10/05 18:38:43

クリックしてチェックを付けます。

2. [発信規制登録] ボタンをクリックします。

着信規制登録 発信規制登録 すべて保存 すべて削除

通話開始日時	終了日時	呼出結果
2020/10/05 18:42:55	2020/10/05 18:43:33	応答
2020/10/05 18:42:24	2020/10/05 18:42:42	応答
2020/10/05 18:40:48	2020/10/05 18:41:58	応答
2020/10/05 18:38:48	2020/10/05 18:39:55	応答

- ・【発信規制】画面が表示されます。「5. 発信規制」(76 ページ)を参照して電話番号を登録してください。

※ 登録する番号は十分な注意をしてください。

STOP お願い

- 発信検索された【発着信履歴】画面において、[着信規制登録] ボタンをクリックしないでください。

■ 発着信履歴の保存

すべての発着信履歴や、検索結果で抽出された発着信履歴を csv 形式でダウンロードできます。

1. 保存対象とする発着信履歴がある場合は、検索条件を入力して [検索] ボタンをクリックします。

検索

開始日 2020/10/01

終了日 2020/10/30

発着 着信

電話番号 0572*****

[検索] ボタン

2. 【発着信履歴】画面の [すべて保存] ボタンをクリックします。

着信規制登録 発信規制登録 すべて保存 すべて削除

IVR応答日時	通話開始日時	終了日時	呼出結果
		2020/10/07 20:19:17	接続異常
2020/10/05 18:42:55		2020/10/05 18:43:33	放棄呼
2020/10/05 18:42:24		2020/10/05 18:42:42	放棄呼
2020/10/05 18:40:48		2020/10/05 18:41:58	呼出不可

- ・ csv 形式でダウンロードされます。
(ファイル名: cdr_年月日_時分秒.csv)
ファイルはメモ帳などのテキストエディタで確認できます。

■ 発着信履歴の削除

管理者権限のユーザー ID でログインした場合、すべての発着信履歴を削除できます。

1. 【発着信履歴】画面の [すべて削除] ボタンをクリックします。

着信規制登録 発信規制登録 すべて保存 すべて削除

IVR応答日時	通話開始日時	終了日時	呼出結果
		2020/10/07 20:19:17	接続異常
2020/10/05 18:42:55		2020/10/05 18:43:33	放棄呼
2020/10/05 18:42:24		2020/10/05 18:42:42	放棄呼
2020/10/05 18:40:48		2020/10/05 18:41:58	呼出不可

- ・ 削除確認画面が表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。

192.168.xx.xx の内容
発着信履歴をすべて削除しますか?

OK キャンセル

クリックします。

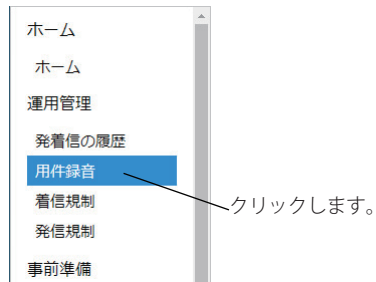
- ・ 対象の発着信履歴が削除されます。

2. 用件録音

用件録音機能の使用が許可されたユーザー ID で本装置にログインした場合、録音された録音ファイルが再生できます。録音ファイルは最大 60 時間分保存されています。また、管理者権限のユーザー ID でログインした場合は、録音ファイルが削除できます。

■【用件録音】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置にログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「運用管理－用件録音」をクリックします。



- ・【用件録音】画面が表示されます。



■【用件録音】画面

● 検索

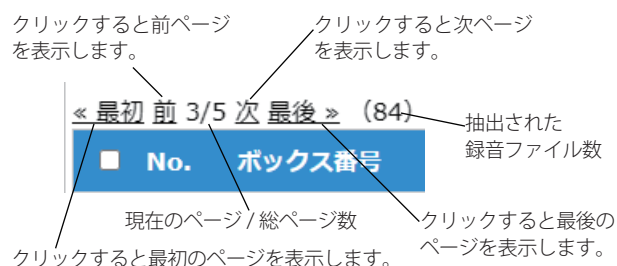
用件録音が保存されているボックス番号を指定して検索すると、絞り込んで検索された結果が【用件録音】画面に表示されます。



[v] をクリックして表示される一覧からボックス番号が選択できます。

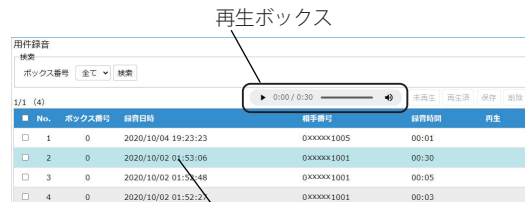
■ ページの切り替え操作

【用件録音】画面には 1 ページ 20 件の録音ファイルが表示されます。21 件以上の録音ファイルを表示する場合は、分割されたページを切り替えて表示できます。



■ 再生ボックスについて

【用件録音】画面において、録音ファイルをクリックして選択すると録音ファイルの再生ボックスが有効になります。

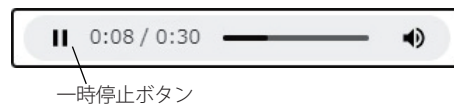


クリックして選択します。

【停止中の再生ボックス】

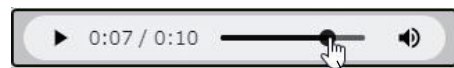


【再生中の再生ボックス】



ワンポイント

- 再生ボックスにカーソルをのせると、再生位置が表示されます。この再生位置をドラッグして任意の場所から再生できます。



再生位置が変更できます。

- 音量ボタンにカーソルをのせると、音量バーが表示され、音量バーにカーソルを乗せると音量レベルが表示されます。



- 用件録音で保存された録音ファイルは、wav ファイル形式で、録音方式は「μ-law 8kHz 8bit モノラル」で作成されます。
- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべての録音ファイルのチェックボックスにチェックが付き、クリックするとすべての録音ファイルが対象になります。

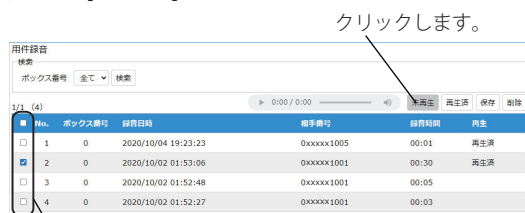
クリックするとすべての録音ファイルが対象になります。



■ 未再生

再生済の録音ファイルを、未再生の扱いにできます。

1. 再生済の録音ファイルのチェックボックスにチェックを付けて、[未再生] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

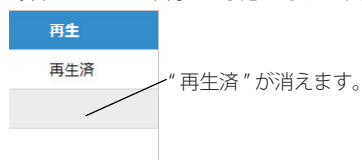
※ 複数の録音ファイルのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- 未再生確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



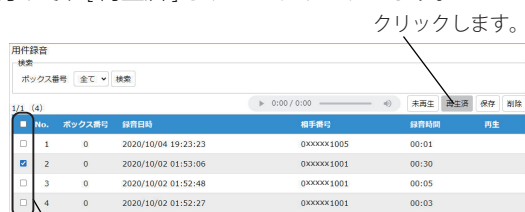
- 録音ファイルが未再生の状態になります。



■ 再生済

選択した録音ファイルを再生せずに、再生済みの扱いにすることができます。

1. 未再生の録音ファイルのチェックボックスにチェックを付けて、[再生済] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

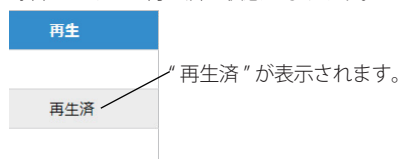
※ 複数の録音ファイルのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- 再生済確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



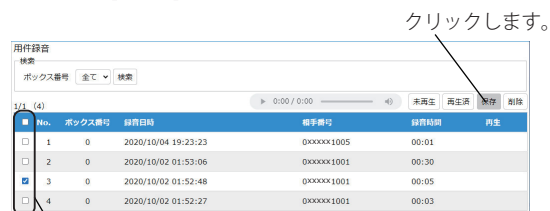
- 録音ファイルが再生済の状態になります。



■ 用件録音の保存

管理者権限、または保存権限が「あり」に設定された一般権限のユーザー ID でログインした場合は、本装置に保存されている録音ファイルをクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに保存することができます。

1. 保存対象の録音ファイルのチェックボックスにチェックを付けて、[保存] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

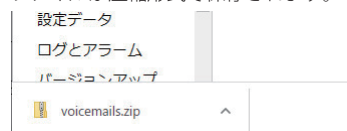
※ 複数の録音ファイルのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- 保存確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



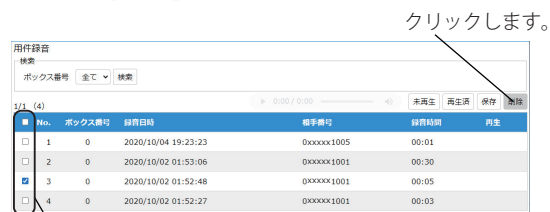
- ファイルが圧縮形式で保存されます。



■ 用件録音の削除

管理者権限のユーザー ID でログインした場合は、用件録音が削除できます。

1. 削除対象の録音ファイルのチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

※ 複数の録音ファイルのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- 削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



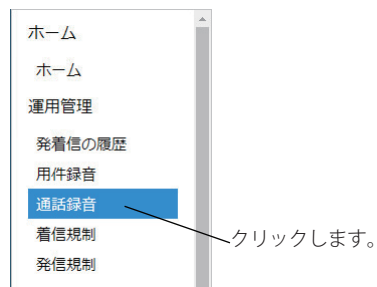
- 対象の録音ファイルが削除されます。

3. 通話録音

通話録音ライセンスを購入している場合に本装置の通話録音機能が使用できます。通話録音ファイルの保存日数は最大 999 日で設定でき、1200 時間の通話録音が可能です。保存日数を経過した場合、通話録音ファイルは自動的に削除されます。また、保存されている通話録音ファイルは、クライアント PC や USB メモリなどの外部記憶装置に保存することができます。

■【通話録音】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置に通話録音が許可されているユーザー ID でログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「運用管理」通話録音」をクリックします。



- ・【通話録音】画面が表示されます。

【通話録音】画面



ワンポイント

- 本装置に録音保存できる通話録音ファイルの録音件数は、最大 3 万件（※）です。
（※一時的に 3 万件を超えて保存される場合があります）
- 毎日 4:00 にディスクの使用容量を確認して、90% を超えている場合は 80% 以下になるまで古い日付のフォルダから順番に通話録音ファイルと録音件数を削除します。
- 録音された通話録音ファイルは、wav ファイル形式で、録音方式は「μ-law 8kHz 8bit ステレオ」で作成されます。
- 通話録音ライセンスありの場合、すべての通話を録音します。このとき、着信電話番号（自番号）ごとに録音「する/しない」が選択できます。詳細は、「第 3 章 設定編 事前準備 3. 着信電話番号」（50 ページ）を参照してください。
- 通話録音ファイルには本装置から送出するメッセージ（呼出音、保留音を含む）は録音されません。

■【通話録音】画面

● 検索

開始日・終了日・発信・電話番号を入力した後に、[検索] ボタンをクリックすると絞り込んで検索された結果が【通話録音】画面に表示されます。



● 通話録音保存

通話録音ファイルを保存する日数が最大 999 日で登録できます。管理者権限のユーザー ID でログインした場合に表示されます。



日数を入力します。

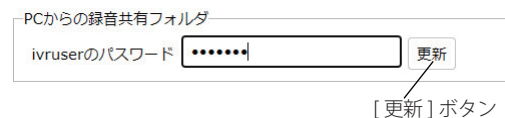
キーボードから時間を入力するか、[▲/▼] をクリックして時間を設定した後に、[更新] ボタンをクリックします。

STOP お願い

- 「通話録音保存」で設定する日数は、1 日の録音時間を考慮して設定してください。（1 日 200 時間録音した場合、約 4 日で通話録音ファイルの保存容量が限界になります）定期的に古い通話録音ファイルを削除しますが、通話録音保存を保存容量の限界を超えた日数に設定している場合、新しい通話が録音できない場合があります。

● PC からの録音共有フォルダ

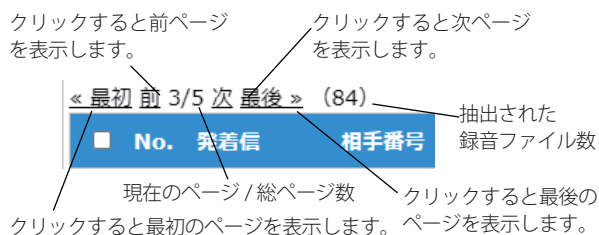
ファイル共有のためのログインパスワードが設定できます。管理者権限のユーザー ID でログインした場合に表示されます。



キーボードからパスワードを入力して、[更新] ボタンをクリックします。空白で設定した場合は、ファイル共有機能は無効になります。通話録音ファイルの参照方法は、「資料編 参考資料 通話録音ファイルの参照」（88 ページ）を参照してください。

■ ページの切り替え操作

【通話録音】画面には1ページ20件の録音ファイルが表示されます。21件以上の録音ファイルを表示する場合は、分割されたページを切り替えて表示できます。



■ 再生ボックスについて

【通話録音】画面において、通話録音ファイルをクリックして選択すると通話録音ファイルの再生ボックスが有効になります。



【停止中の再生ボックス】

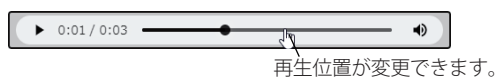


【再生中の再生ボックス】

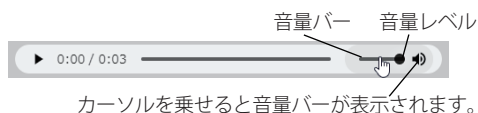


ワンポイント

- 再生ボックスにカーソルをのせると、再生位置が表示されます。この再生位置をドラッグして任意の場所から再生できます。



- 音量ボタンにカーソルをのせると、音量バーが表示され、音量バーにカーソルを乗せると音量レベルが表示されます。



- 項目一覧のチェックボックスにチェックを付けると、すべてのメッセージのチェックボックスにチェックが付きます。

クリックするとすべてのメッセージが対象になります。



■ 通話録音ファイルの保存

管理者権限、または保存権限が「あり」に設定された一般権限のユーザー ID でログインした場合は、本装置に保存されている通話録音ファイルをクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに保存することができます。

1. 保存対象の通話録音ファイルのチェックボックスにチェックを付けて、[保存] ボタンをクリックします。



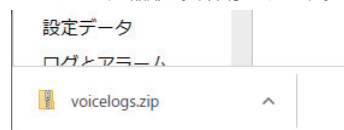
※ 複数の通話録音ファイルのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・ 保存確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



- ・ ファイルが圧縮形式で保存されます。



■ 通話録音ファイルの削除

管理者権限のユーザー ID でログインした場合は、通話録音ファイルが削除できます。

1. 削除対象の通話録音ファイルのチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



※ 複数のメッセージのチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・ 削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



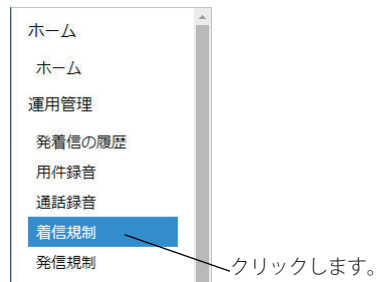
- ・ 対象の通話録音ファイルが削除されます。

4. 着信規制

着信規制の対象として電話番号を登録することで、対象の電話番号から着信があった場合、下位端末を呼び出さずに切断することができます。登録できる電話番号は最大 30 万件です。電話番号は半角数字で入力してください。

■【着信規制】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置にログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「運用管理－着信規制」をクリックします。



- ・【着信規制】画面が表示されます。



■【着信規制】画面

● 検索

相手番号や名称を入力した後に、[検索] ボタンをクリックすると絞り込んで検索された結果が【着信規制】画面に表示されます。

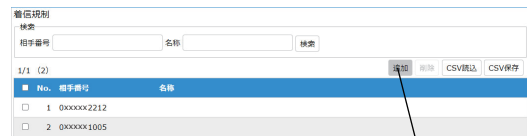


[検索] ボタン

■ 着信規制番号の追加

1 回の追加で最大 3 件の電話番号が登録できます。

1. 【着信規制】画面で [追加] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・【着信規制追加】画面が表示されます。

2. 各種の情報を入力して [登録] ボタンをクリックします。



各情報を入力します。

- ・着信規制番号が追加されます。

ワンポイント

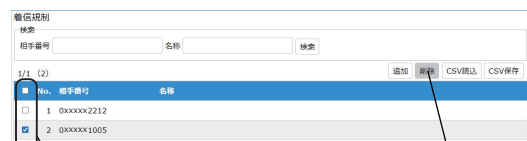
- 国際電話を登録する場合は、(+) (国番号) (電話番号) で登録できます。

※ (+) は半角文字です。

※ 国ごとの一括規制の登録はできません。

■ 着信規制番号の削除

1. 削除対象の着信規制番号のチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

クリックします。

※ 複数の着信規制番号のチェックボックスにチェックをつけることができます。

- ・削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



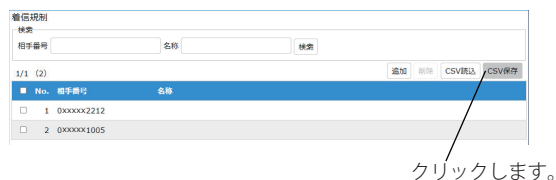
クリックします。

- ・対象の着信規制番号が削除されます。

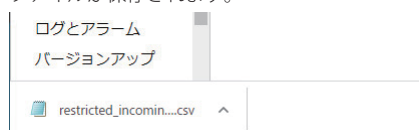
■ 着信規制番号のエクスポート

登録済みの着信規制番号をクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに CSV ファイル形式でエクスポートすることができます。

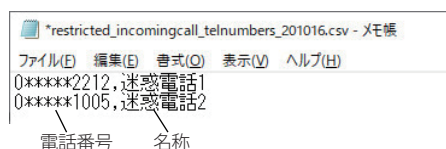
1. 【着信規制】画面で [CSV 保存] ボタンをクリックします。



- ・ファイルが保存されます。



2. メモ帳などでファイルが編集できます。



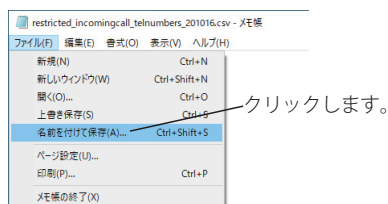
STOP お願い

- エクスポートした CSV ファイルを編集する場合は、次のことにご注意ください。
 - ① 文字コードは Shift_JIS を使用してください。
 - ② 電話番号・名称に以下の文字は使用できません。
「,」(カンマ)、「'」(シングルクォーテーション)、「"」(ダブルクォーテーション)、「¥」(円マーク)

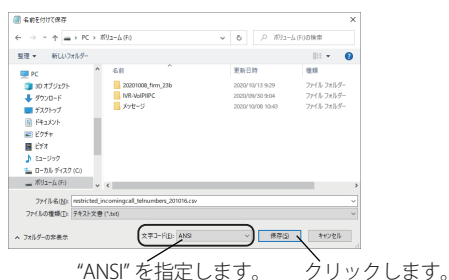
● ファイルを編集する場合

文字コードを Shift_JIS で保存するため次のように保存してください。

- ① メモ帳のツールバーから「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックします。



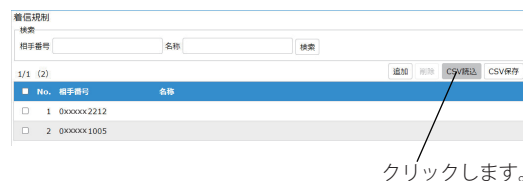
- ② 文字コードに「ANSI」を指定して [保存] ボタンをクリックします。



■ 着信規制番号のインポート

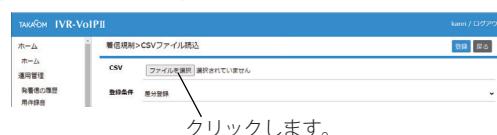
エクスポートされた着信規制番号に追加や変更を行った CSV ファイルをインポートすることができます。

1. 【着信規制】画面で [CSV 読込] ボタンをクリックします。



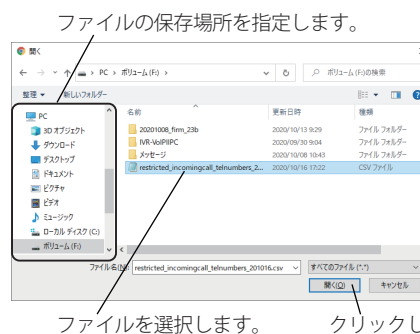
- ・【着信規制 CSV ファイル読込】画面が表示されます。

2. [ファイルを選択] ボタンをクリックします。



- ・ファイル選択画面が表示されます。

3. インポートするファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。



- ・ファイルを選択します。

4. 登録条件を「差分登録 / 全件登録」から選択して、[登録] ボタンをクリックします。



- ・登録確認画面が表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。



- ・【着信規制】画面が表示されます。このとき、相手番号でソートされて表示されます。

STOP お願い

- 環境依存文字を使用した CSV ファイルをインポートしないでください。本装置が認識する文字は Shift_JIS です。

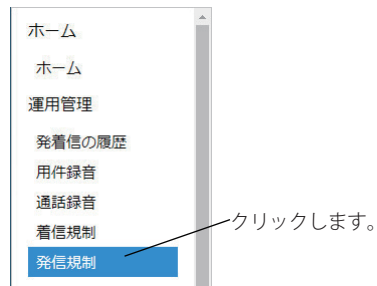
5. 発信規制

発信規制ライセンスを購入している場合に、発信規制の対象として電話番号を登録することで、対象の電話番号に発信したときに、発信規制メッセージ（※）を2回送出して切断することができます。登録できる電話番号は最大30万件です。電話番号は半角数字で入力してください。

※ 発信規制メッセージ：「この番号への発信はできません」

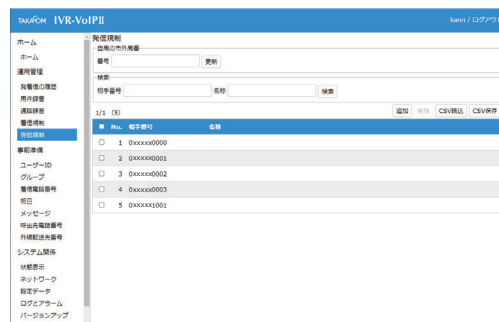
■【発信規制】画面の表示

1. WEB ブラウザから本装置にログインします。
・【メニュー】画面が表示されます。
2. 【メニュー】画面の管理メニューから、「運用管理－発信規制」をクリックします。



・【発信規制】画面が表示されます。

【発信規制】画面



■【発信規制】画面

● 自局の市外局番

相手番号が2～9で始まる場合に、自局の市外局番に設定されている番号を相手番号の先頭に付与して、発信規制の対象となる電話番号を判定します。



キーボードから番号を入力して、[更新] ボタンをクリックします。

※ 自局の市外局番が設定されていない場合、市内発信（市内局番からの発信）は規制できません。

※ 電話番号の先頭に184や186が付与されている場合は、184や186は削除されて判定されます。

● 検索

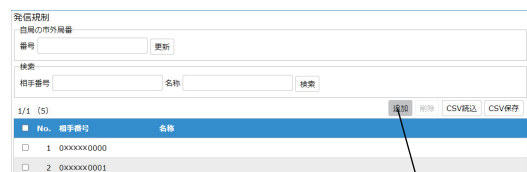
相手番号や名称を入力した後に、[検索] ボタンをクリックすると絞り込んで検索された結果が【発信規制】画面に表示されます。



■ 発信規制番号の追加

1回の追加で最大3件の電話番号が登録できます。

1. 【発信規制】画面で[追加] ボタンをクリックします。



クリックします。

・【発信規制追加】画面が表示されます。

2. 各種の情報を入力して[登録] ボタンをクリックします。



各情報を入力します。

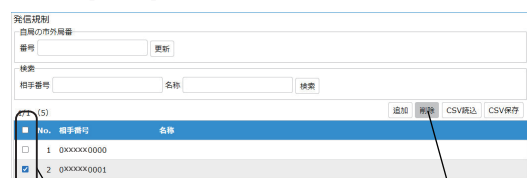
・発信規制番号が追加されます。

ワンポイント

- 国際電話を登録する場合は、(010) (国番号) (電話番号) で登録できます。
※ 国ごとの一括規制の登録はできません。

■ 発信規制番号の削除

1. 削除対象の発信規制番号のチェックボックスにチェックを付けて、[削除] ボタンをクリックします。



クリックしてチェックを付けます。

クリックします。

※ 複数の発信規制番号のチェックボックスにチェックをつけることができます。

・削除確認画面が表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



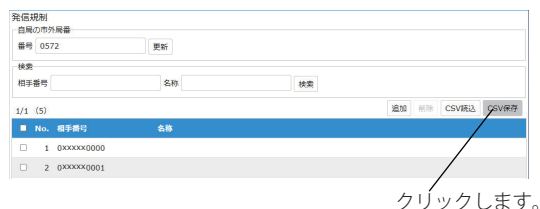
クリックします。

・対象の発信規制番号が削除されます。

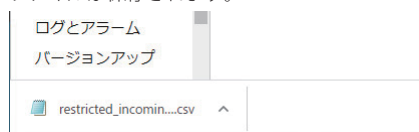
■ 発信規制番号のエクスポート

登録済みの発信規制番号をクライアント PC のダウンロードフォルダや任意のフォルダに CSV ファイル形式でエクスポートすることができます。

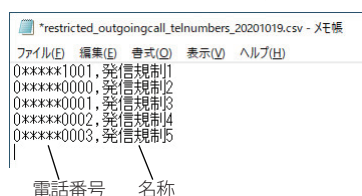
1. 【発信規制】画面で [CSV 保存] ボタンをクリックします。



- ・ファイルが保存されます。



2. メモ帳などでファイルが編集できます。



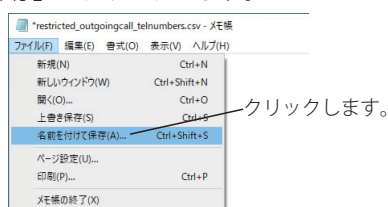
STOP お願い

- エクスポートした CSV ファイルを編集する場合は、次のことにご注意ください。
 - ① 文字コードは Shift_JIS を使用してください。
 - ② 電話番号・名称に以下の文字は使用できません。
「,」(カンマ)、「'」(シングルクォーテーション)、「"」(ダブルクォーテーション)、「¥」(円マーク)

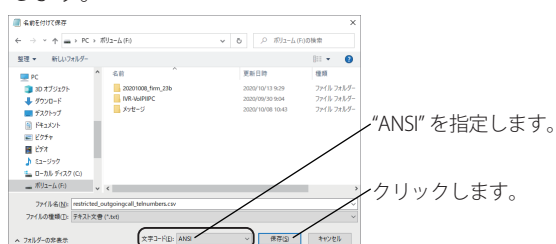
● ファイルを編集する場合

文字コードを Shift_JIS で保存するため次のように保存してください。

- ① メモ帳のツールバーから「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックします。



- ② 文字コードに「ANSI」を指定して [保存] ボタンをクリックします。



■ 発信規制番号のインポート

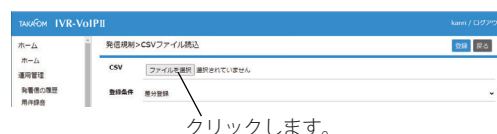
エクスポートされた発信規制番号に追加や変更を行った CSV ファイルをインポートすることができます。

1. 【発信規制】画面で [CSV 読み込] ボタンをクリックします。



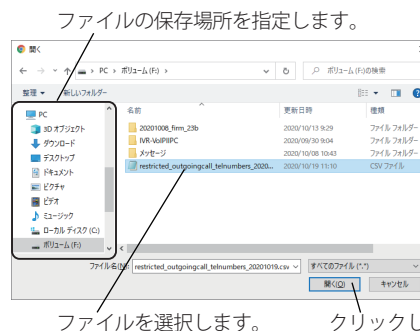
- ・【発信規制 CSV ファイル読み込】画面が表示されます。

2. [ファイルを選択] ボタンをクリックします。



- ・ファイル選択画面が表示されます。

3. インポートするファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。



4. 登録条件を「差分登録 / 全件登録」から選択して、[登録] ボタンをクリックします。



- ・登録確認画面が表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。



- ・【発信規制】画面が表示されます。このとき、相手番号でソートされて表示されます。

STOP お願い

- 環境依存文字を使用した CSV ファイルをインポートしないでください。本装置が認識する文字は Shift_JIS です。

第 4 章 資料編

転送の流れ（フローチャート）

1. メッセージの種類

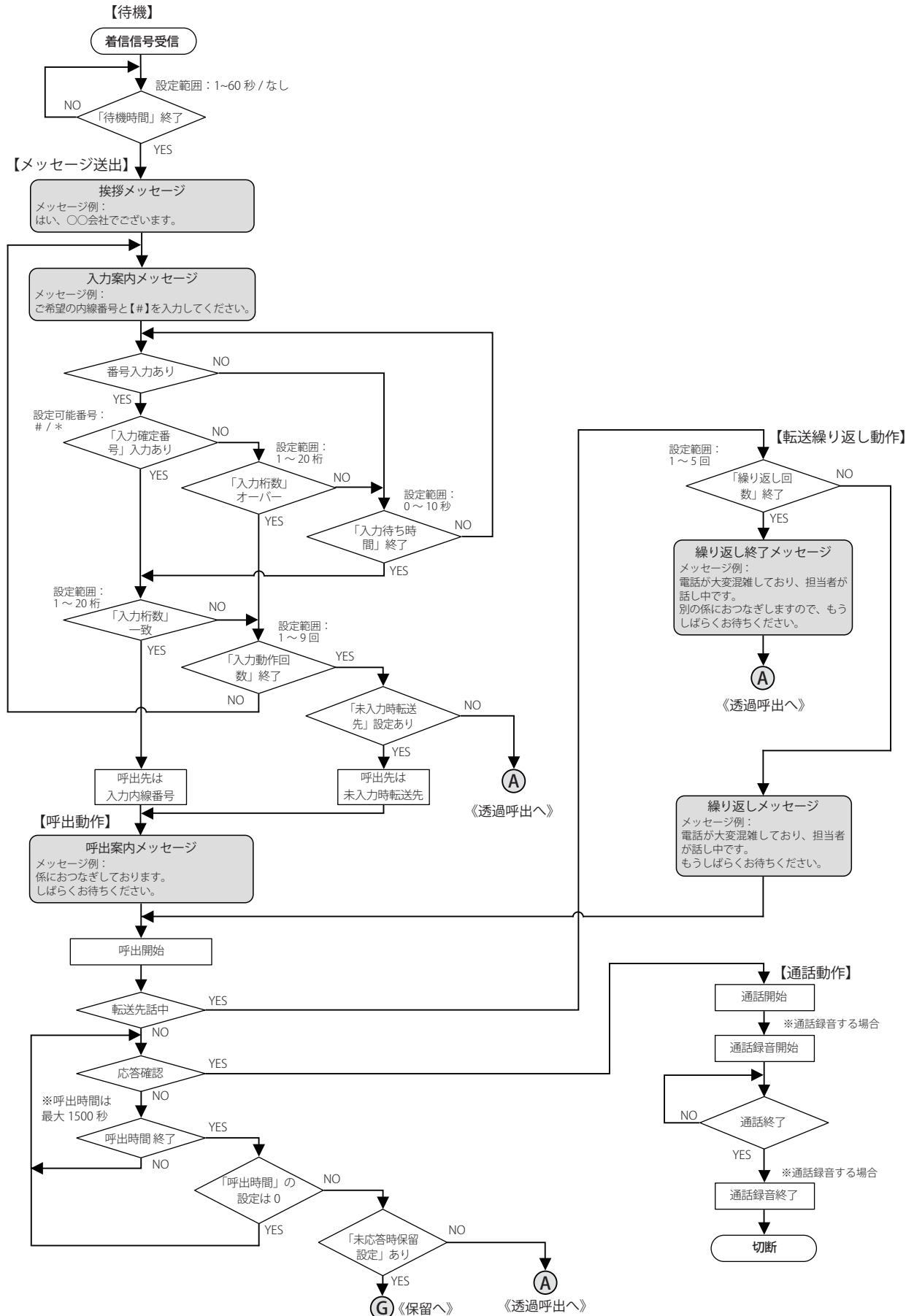
本装置で使用する案内メッセージと使用する動作モード、およびメッセージ例などの一覧は、次のとおりです。

動作モード	メッセージ名	メッセージ例
用件録音	応答	ただいまの時間は、留守番電話がご用件を承ります。 ピッという信号音のあとに、お名前とご用件をお話ください。
	終了	ご用件を承りました。お電話ありがとうございました。
	満杯	誠に恐れ入りますが、ご用件を承ることができません。 業務時間内に、改めてお電話をいただきますようお願いいたします。 お電話ありがとうございました。
外線転送	転送前 ※	担当の係におつなぎします。しばらくお待ちください。
	転送失敗時	担当者が話し中です。 申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。
	転送終了	電話が大変混雑しております。 恐れ入りますが、改めてお電話をいただきますようお願いいたします。
ダイレクト 転送	挨拶	はい、〇〇会社でございます。
	入力案内	ご希望の相手先内線番号と〇〇を入力してください。
	呼出案内	係におつなぎしております。 しばらくお待ちください。
	繰り返し	電話が大変混雑しており、担当者が話し中です。 もうしばらくお待ちください。
	繰り返し終了	電話が大変混雑しており、担当者が話し中です。 別の係におつなぎしますので、もうしばらくお待ちください。
端末呼出	呼出前	担当の係におつなぎしますので、しばらくお待ちください。
ツリー転送	挨拶	はい、〇〇会社でございます。
	総合案内	恐れ入りますが、担当者におつなぎしますので、 今からご案内する内容に従い、番号を入力してください。
	階層 1 案内	総務部は「1」を、営業部は「2」を、技術部は「3」を、部署が不明な時は「9」をどうぞ。
	階層 2 案内	営業部の担当部署を選択してください。営業 1 課は「1」を、営業 2 課は「2」を、部署が不明な時は「9」をどうぞ。
	階層 3 案内	営業 1 課の担当者を選択してください。伊藤は「1」を、鈴木は「2」を、担当者が不明な時は「9」をどうぞ。
再生 & 呼出	再生 & 呼出	はい、〇〇会社でございます。 この通話は、サービス向上のため録音させていただきます。
再生 & 切断	再生 & 切断	はい、〇〇会社でございます。 折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。 恐れ入りますが、業務時間内に、改めてお電話をいただきますようお願いいたします。 お電話ありがとうございました。
保留	お待たせ第 1	ただいま、電話が込み合っております。このまましばらくお待ちください。
	お待たせ第 2	申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。

※ 転送前メッセージは必ず設定して使用してください。

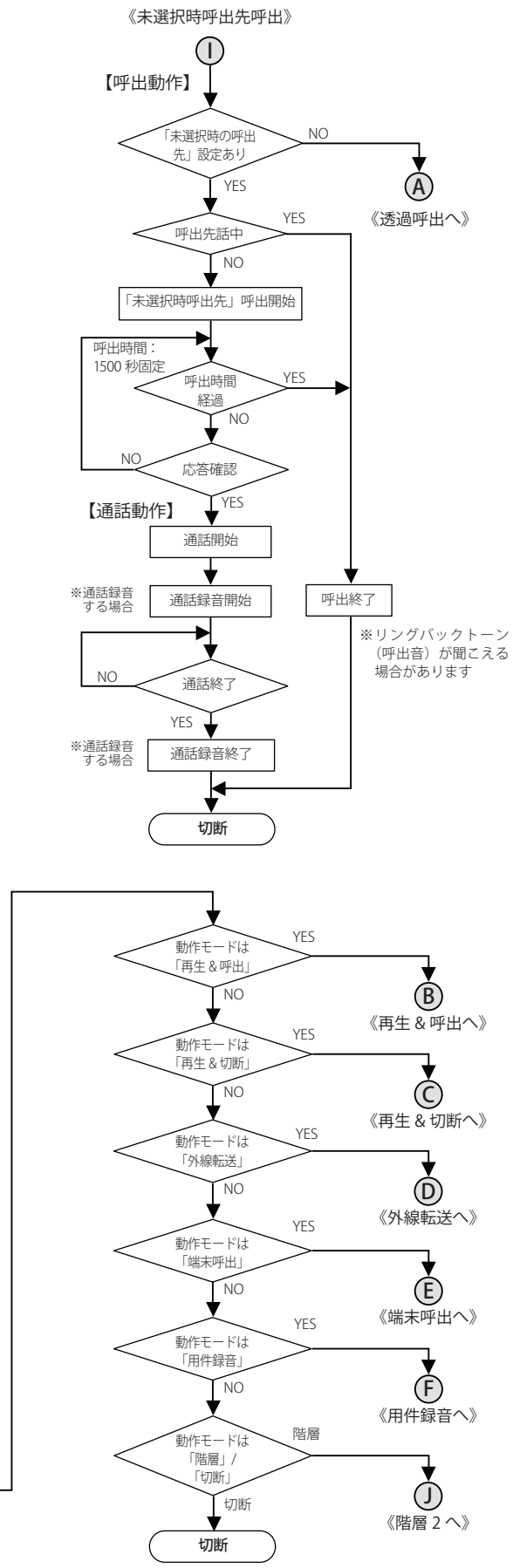
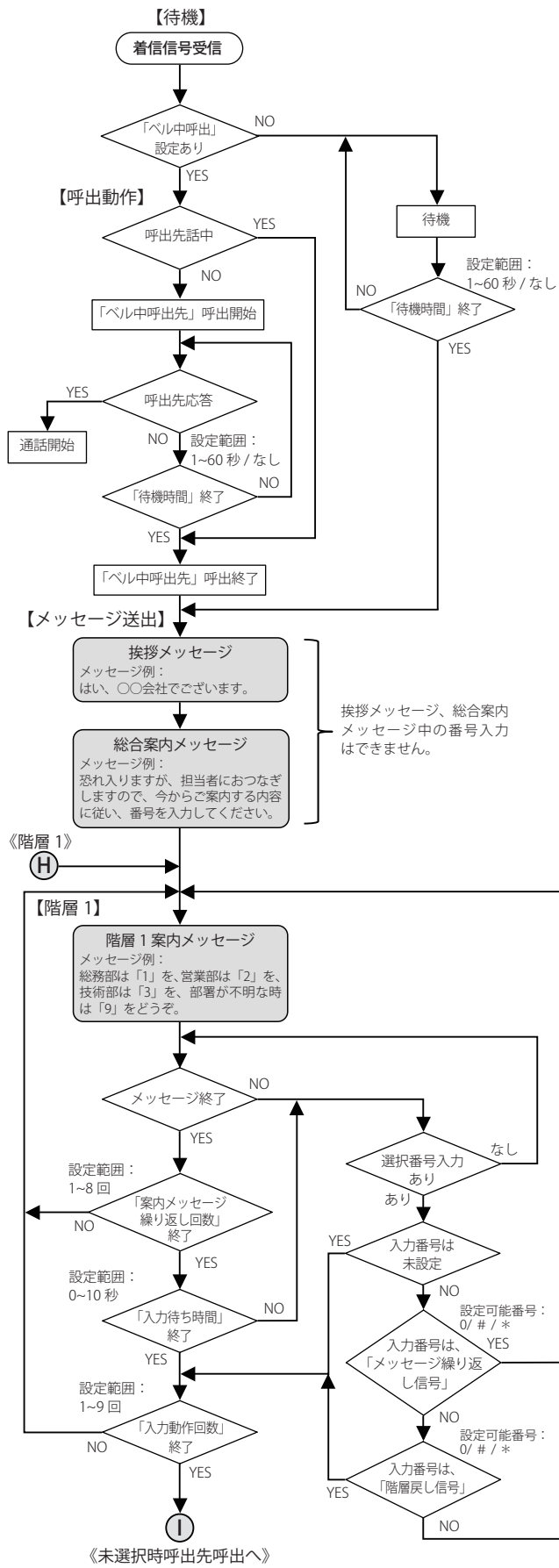
2. フローチャート

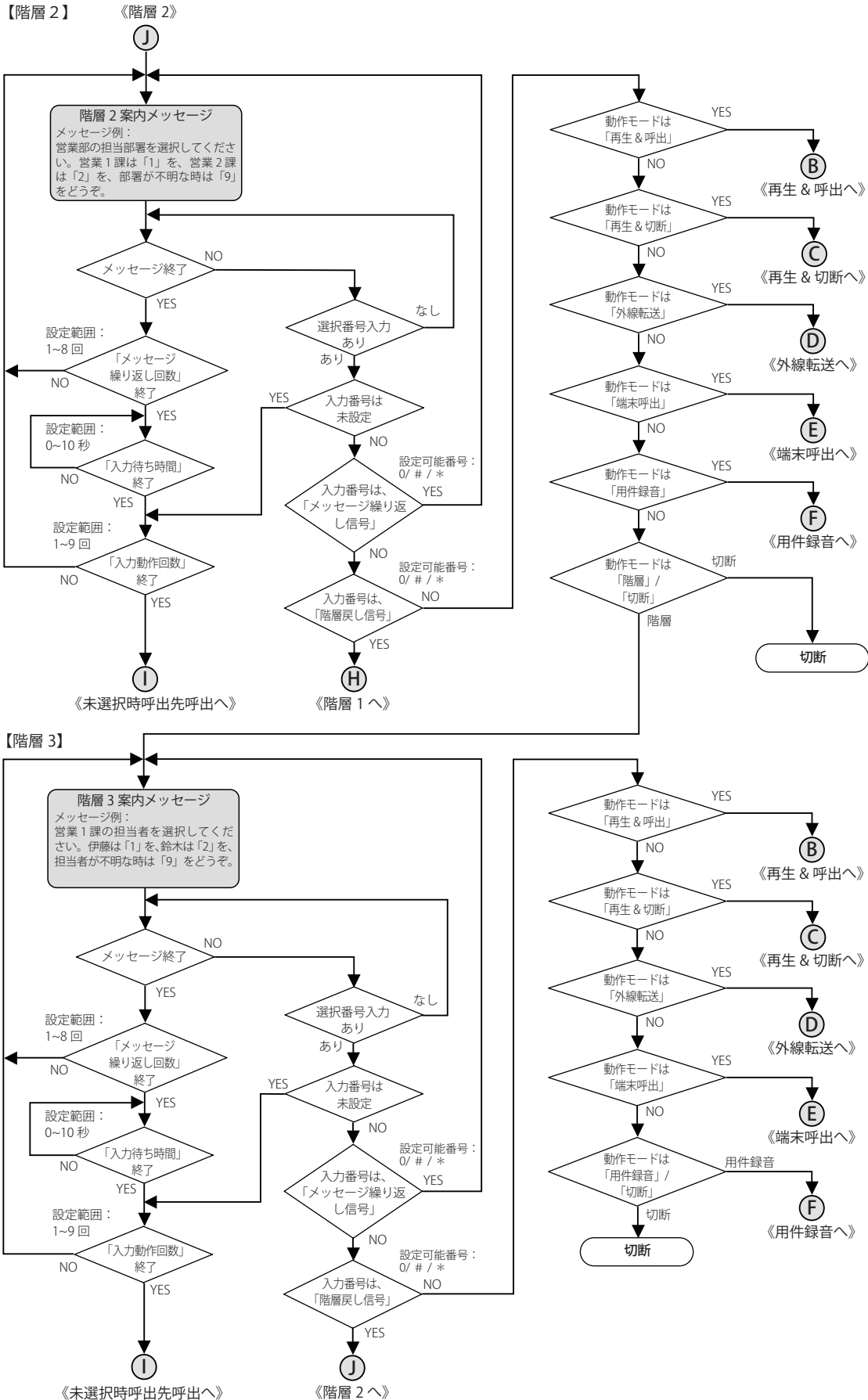
① ダイレクト転送の流れ



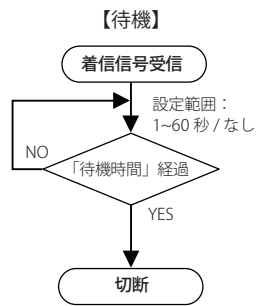
② ツリー転送の流れ

ツリー転送 (1/2)

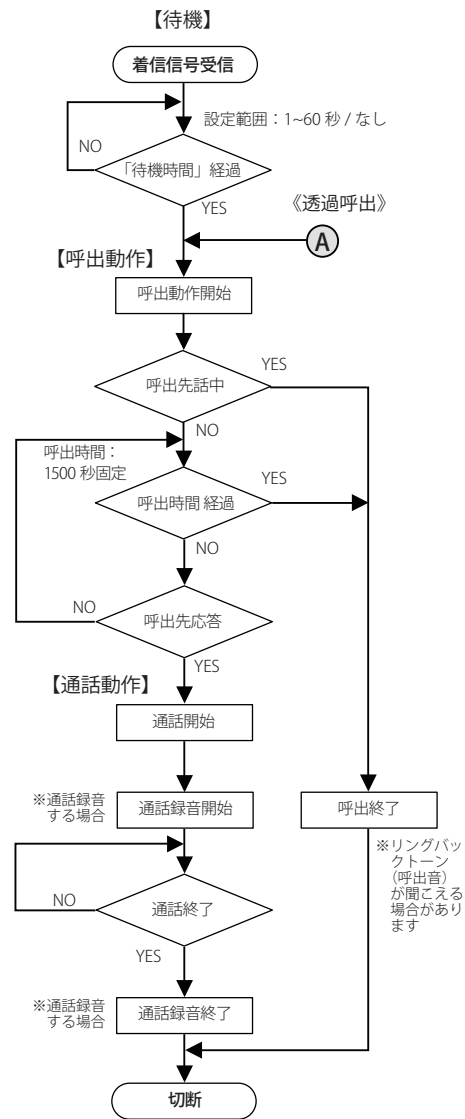




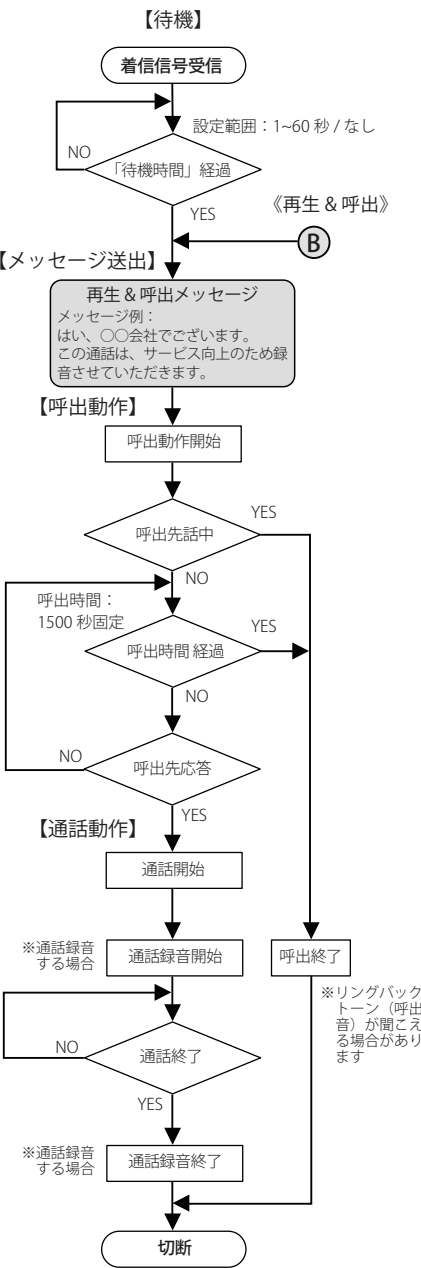
③ 切断の流れ



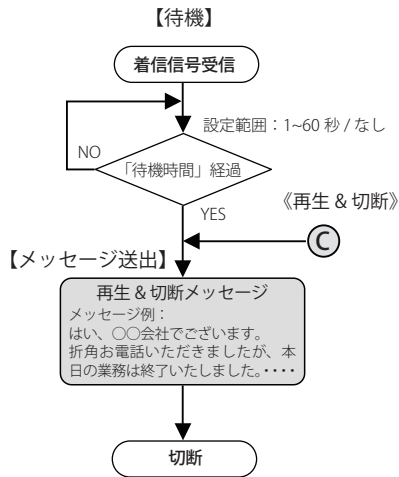
④ 透過呼出の流れ



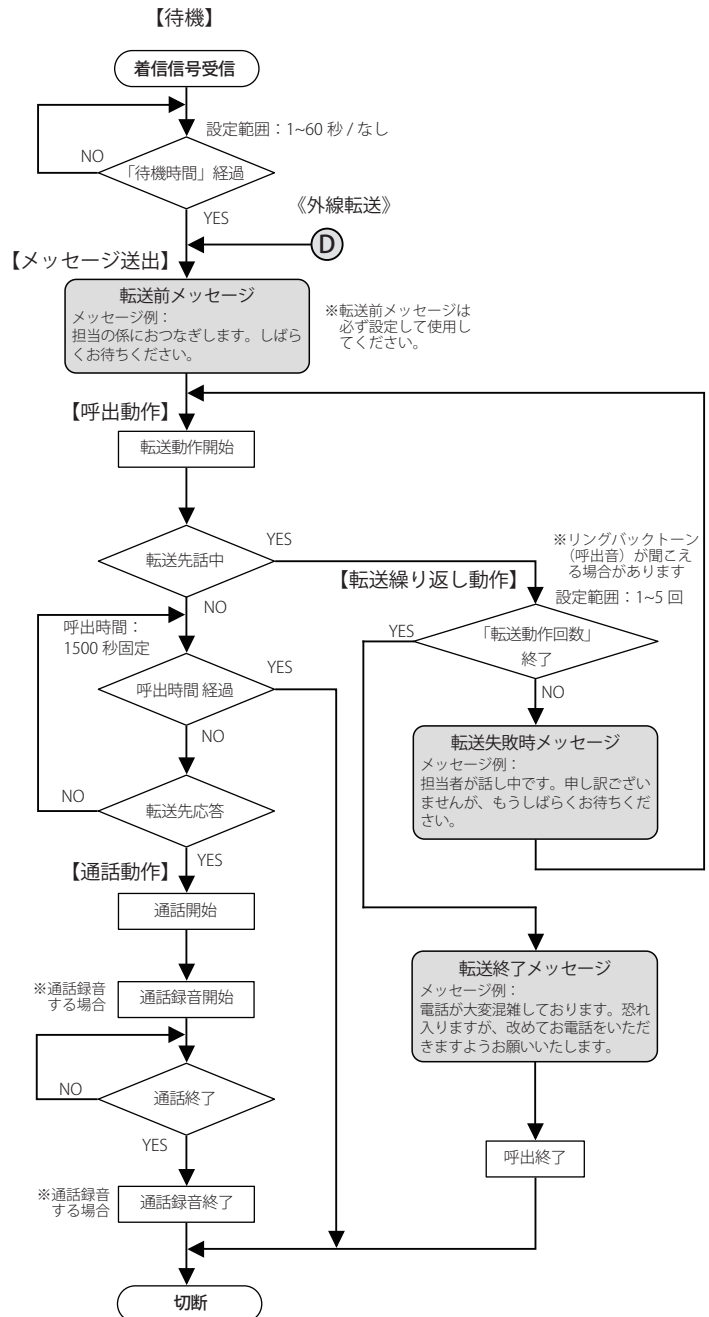
⑤ 再生 & 呼出の流れ



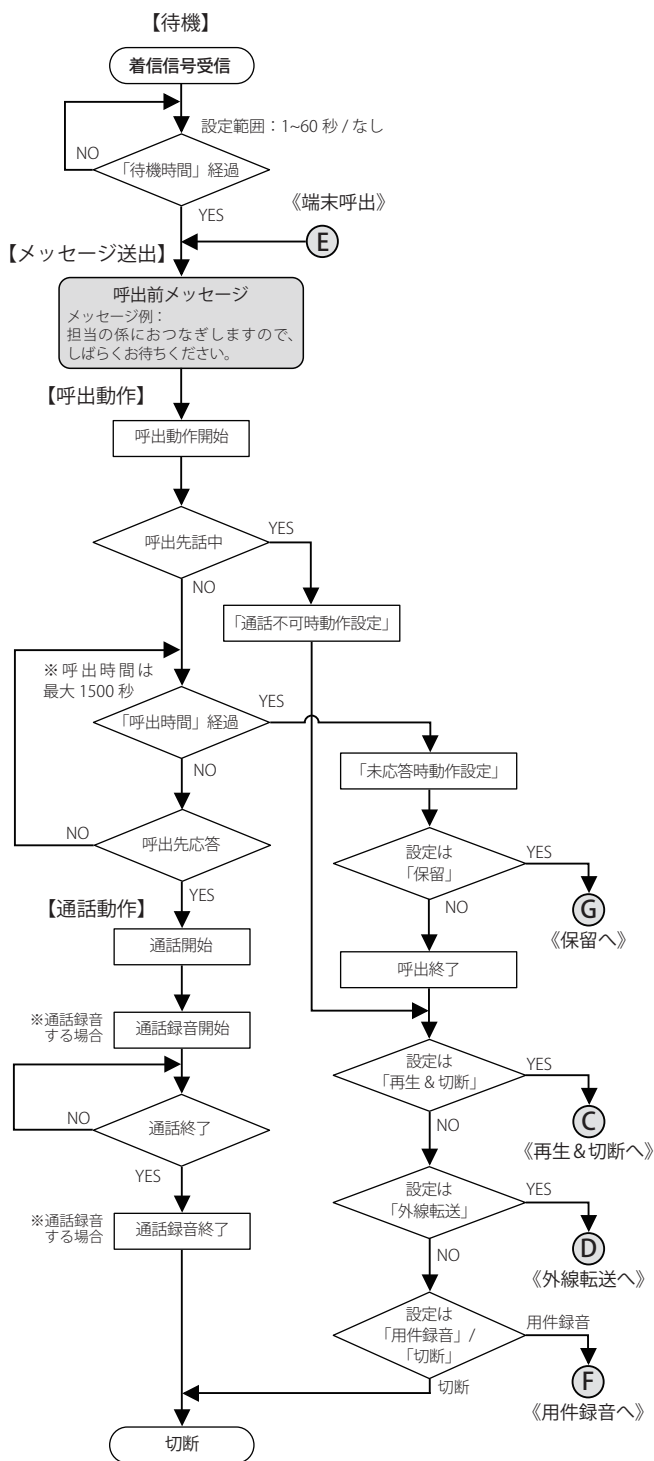
⑥ 再生 & 切断の流れ



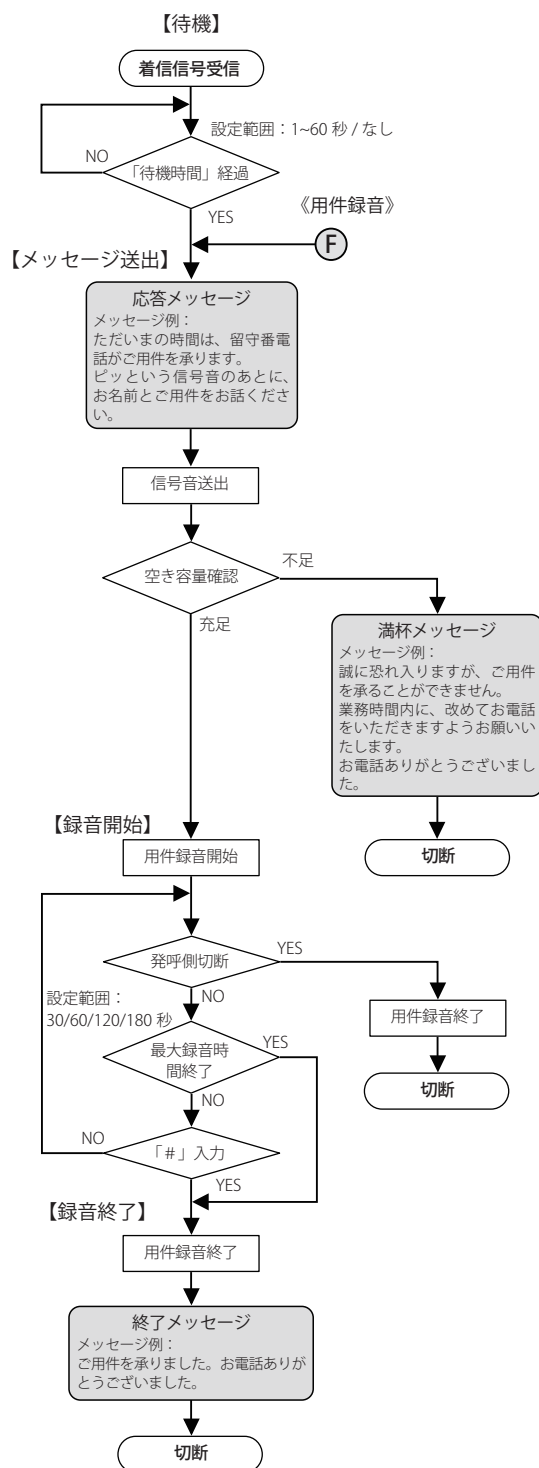
⑦ 外線転送の流れ



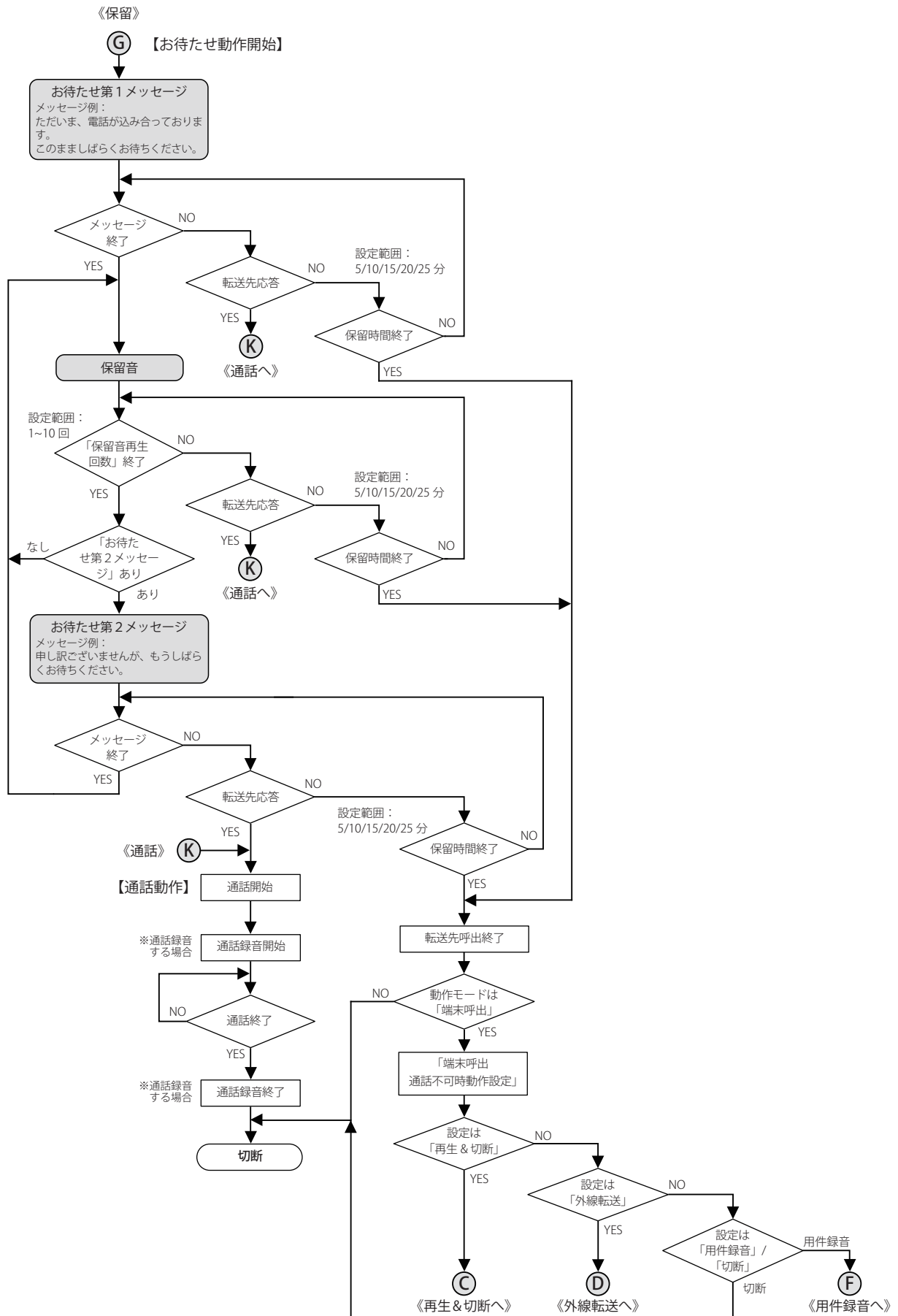
⑧ 端末呼出の流れ



⑨ 用件録音の流れ



⑩ 保留の流れ



参考資料

■ 録音デバイスの設定

パソコンのマイク入力端子にマイクなどを接続して音源からの音声を録音する際に、Windows のサウンド機能を使用することで、入力する音源の音量が変更できます。

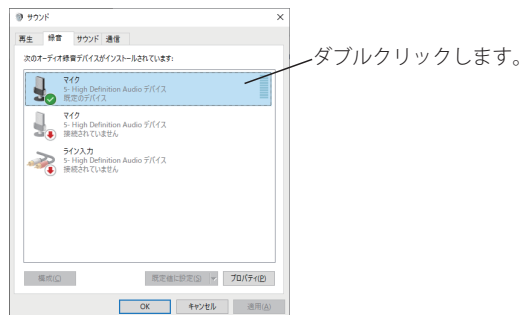
(Windows 10 の操作例)

- ① メイン画面（音声録音）（35 ページ）における [録音デバイス設定] ボタンをクリックします。



- ・ Windows のサウンド画面が表示されます。

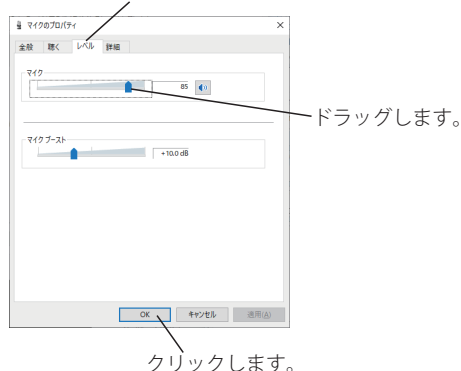
- ② 録音対象のデバイスを選択してダブルクリックします。
※ 必ずデバイスを接続してください。



- ・ デバイスのプロパティ画面が表示されます。

- ③ [レベル] タブをクリックして表示される画面において、スライダーをドラッグして音量を調整します。

- ④ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。



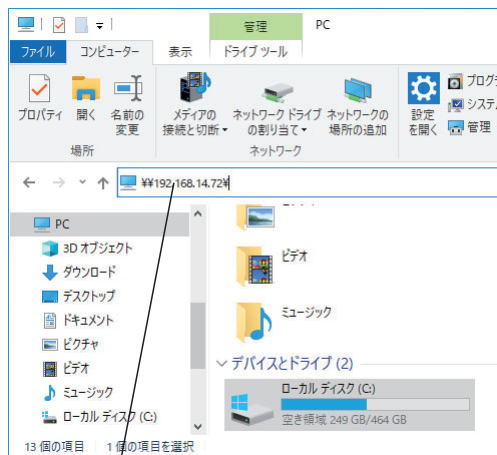
■ 通話録音ファイルの参照

本装置のファイル共有機能が有効の場合に、本装置に保存されている通話録音ファイルをクライアント PC や外部メディアに保存できます。

(Windows 10 の操作例)

- ① Windows のエクスプローラーなどで、「¥¥本装置の IP アドレス（初期値 192.168.0.101）¥¥」を入力して、キーボードの [Enter] キーを押します。

【本装置の IP アドレスが「192.168.14.72」の例】

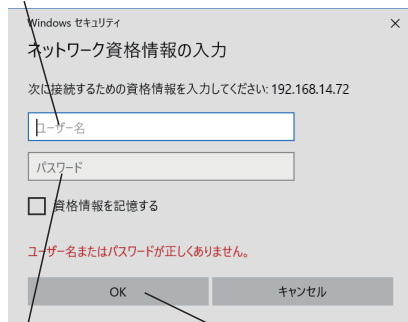


IP アドレスを入力します。

- ・ Windows のセキュリティ画面が表示されます。

- ② 既定のユーザー ID 「ivruser」（変更不可）とファイル共有のためのログインパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

「ivruser」を入力します。



ファイル共有のためのログインパスワードを入力します。

- ・ 共有フォルダが表示されます。

 ワンポイント

- 本装置の共有フォルダは読み取り専用になっています。
クライアント PC や外部メディアに保存した録音ファイルを共有フォルダへ保存することはできません。
 - 通話録音ファイル名は、「< 録音開始日時 >~< 相手番号 >~< 自番号 >~<FileID>~<index>.wav」になります。
 - ・ 録音開始日時：YYYYMMDDhhmmss の形式で表示されます。
 - ・ 相手番号：発信者番号が表示されます。※
 - ・ 自番号：着信者番号が表示されます。
 - ・ FileID：内部の管理番号が表示されます。
 - ・ index：ファイルを分割するごとに加算される index（0 ~）で表示されます。
- ※ 発信者番号が非通知の場合、相手番号は「anonymous」と表示されます。

主な仕様

■ IVR-100VoIP II /IVR-24VoIP II 共通仕様

項 目		仕 様	備 考
電話回線	キャリア	NTT	
	対応サービス	ひかり電話 / ひかり電話オフィスタイプ / ひかり電話オフィス A (フレッツ光ネクスト)	
	着信電話番号	最大 100 件	
	着信グループ	最大 100 グループ	
音声ガイダンス	音声ガイダンス数	最大 100 種類	
	録音時間	最大 5 時間	1 メッセージ最大 180 秒
	作成方法	音声ファイル取込	
	取込音声形式	μ-law 8kHz/16kHz 8ビット モノラル (wavファイル) PCM 8kHz/16kHz 16ビット モノラル (wavファイル) IVR-VoIP II 音声編集ソフト保存形式 (DATファイル)	
カレンダー機能	スケジュール数	最大 20 スケジュール	グループ毎
	曜日スケジュール	日～土の曜日指定 / 月～金の期間指定 / 月～土の期間指定	
	祝日スケジュール	国民の祝日、国民の休日、振替休日、固定日	
	特定日スケジュール	年月日指定 (指定日限り) / 月日指定 (毎年)	
用件録音	録音時間	最大約 60 時間	1 メッセージ最大 180 秒
	録音方式	μ-law 8kHz 8ビット モノラル (wavファイル)	保存期間の制限はありません
通話録音 (オプション) ※1	録音時間	最大約 1,200 時間	1 ファイル最大 2 時間 最大 999 日間保存できます
	録音件数	最大 3 万件	
	録音方式	μ-law 8kHz 8ビット ステレオ (wavファイル)	
着信規制		最大 30 万件	
発信規制 (オプション) ※2		最大 30 万件	
プッシュボタン入力		1 桁 (ツリー転送、用件録音) / 1 ～ 20 桁 (ダイレクト転送)	
呼出先電話番号		最大 100 件	
外線転送先番号		最大 100 件	
着信チャンネル制限		可能	
発着信履歴管理		可能	最大 12 ヶ月保存できます
日付・時刻		網側より自動取得	手動による設定変更不可
システムセキュリティ		管理者 : 最大 20 件 工事者 : 最大 1 件 一般 : 最大 100 件	
管理画面同時アクセス		最大 100 クライアント※3	
接続 インター フェース	網側接続ポート / LAN ポート / 端末側接続ポート	100/1000Mbps Ethernet (10Mbps は動作保証外)	コネクタ形状 : RJ-45
	UPS 用 USB ポート	USB	当社指定 UPS 製品に限る
環境条件	動作時	温度条件 5 ～ 40℃、湿度条件 20 ～ 85%	結露なきこと
	保管時	温度条件 -10 ～ 50℃、湿度条件 20 ～ 85%	結露なきこと
VCCI		クラス A	
RoHS 指令		対応	
電源		AC100V ± 10V、50/60Hz	

※1 「IVR-BR II -CL4」ライセンス利用時

※2 「IVR-C II -CL」ライセンス利用時

※3 同時再生も最大 100 クライアント

■ IVR-100VoIP II 主な仕様

項 目	仕 様	備 考
収容可能チャンネル数	最大 100ch ※ 1	4ch 単位で増設
ディスプレイ	16 文字 × 2 行	バックライト付き LCD
消費電力	最大 180W	
寸法	430mm (幅) × 450mm (奥行き) × 44mm (高さ)	突起物含まず
質量	約 6kg	

※ 1 最大 ch を越える環境では、通話自体も動作保証外となります

■ IVR-24VoIP II 主な仕様

項 目	仕 様	備 考
収容可能チャンネル数	最大 24ch ※ 1	4ch 単位で増設
消費電力	最大 50W	
寸法	232mm (幅) × 152mm (奥行き) × 44mm (高さ)	突起物含まず
質量	約 1.3kg	

※ 1 最大 ch を越える環境では、通話自体も動作保証外となります

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書	型名 / 保証期間	音声応答転送装置 IVR-24VoIP II・IVR-100VoIP II / お買い上げから 1 年間		
	お買い上げ日	年 月 日		
	お客様	お名前		
		ご住所	〒	
		電話番号		
	販売店	名前		
		住所	〒	
		電話番号		

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。

2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。なお、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客様のご負担となります。

3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。

① 保証書の提示がない場合

② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合

③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合

④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合

⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合

⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合

⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合

⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合

⑨ 消耗品を交換した場合

4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

●お電話から
お客様相談センター
 **0570-03-8811**
受付時間：月～金 9：00～17：30
(土・日曜日、祝日、当社指定休日除く)

●ホームページから
「よくあるご質問」をご覧ください。
「お問い合わせ」のフォームよりご相談ください。
<https://www.takacom.co.jp>

タカコム よくあるご質問

修理に関するご相談

お買い上げの販売店様または
当社「修理センター」へお問い合わせください。
当社へのお問い合わせ先はホームページ「修理センター」をご覧ください。
<https://www.takacom.co.jp>

タカコム 修理センター